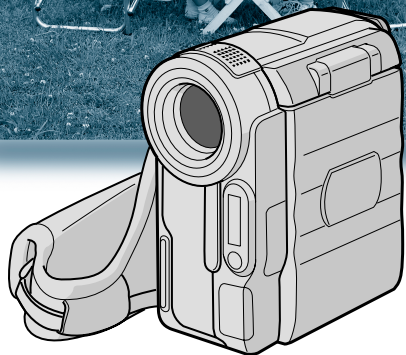
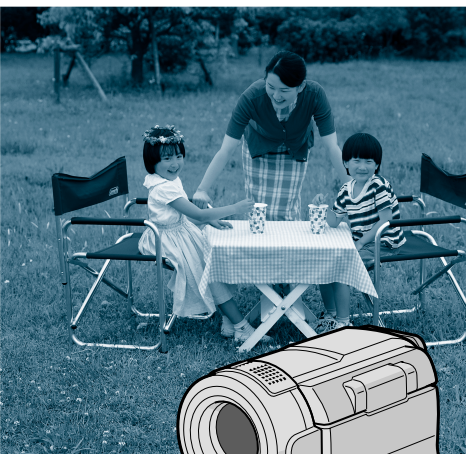
# 取扱説明書

デジタルビデオカメラ
## 型名 GR-DX95K

Mini DV NTSC i. DSC DIGITAL STILL CAMERA



e-movie!

お買い上げありがとうございます。

## ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**特に「安全上のご注意」（18～27ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT1126-001C

# 目 次

はじめに



これだけは知っておこう編

撮影・初級
テクニック編



撮影・上級
テクニック編



再生を
工夫しよう編

# 目次

**ビデオを編集してみよう編**



**設定を変えて使いこなそう編**

## その他



## 索引

# はじめに

## 本書の読みかた

取扱説明書は、デジタルビデオカメラの使いかたに応じて８つの編に分かれています。

**■ これだけは知っておこう編**

ビデオカメラの各部の名前から、はじめて使うときの準備、ビデオの撮影や再生の基本的な手順を説明します。お買い上げ後にはじめて使うときは、必ずお読みください。

**■ 撮影・初級テクニック編**

操作は簡単でも効果が大きい、知っていると便利な機能について説明します。『これだけは知っておこう編』の操作に慣れてから、お読みください。

**■ 撮影・上級テクニック編**

画像の明るさや画面の色のバランスを手動で調節する方法や、ビデオ撮影中にさまざまな効果を挿入する方法などを説明します。

**■ 再生を工夫しよう編**

静止画の一覧表示の方法や、テープからメモリーカードへの画像のコピーを説明します。また、再生時の映像に変化をつける方法を説明します。

**■ ビデオを編集してみよう編**

撮影したビデオを編集して、個性的な作品に仕上げるための機能について説明します。

**■ 設定を変えて使いこなそう編**

ビデオカメラには、上記の編では説明しきれない数多くの機能があります。この編では、各種機能の設定について説明します。

**■ その他**

故障かなと思ったときの対処方法や、使用上のご注意、日常のお手入れ、主な仕様などについて記載しています。

**■ 索引**

五十音順索引のほか、メニュー一覧、画面表示の見かたを記載しています。

## 著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

## 記号の意味

本文中には、次の記号が使われています。

ご注意　操作上の注意などが書かれています。

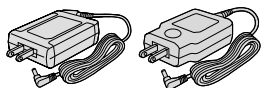
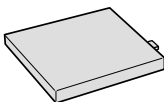
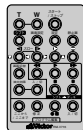
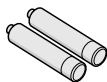
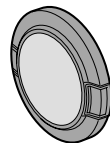
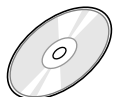
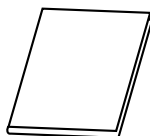
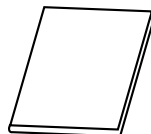
使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。

使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。

☞ 関連するページを示しています。

次へ続く　次のページに説明が続きます。

# 付属品について

付属品をお確かめください。万が一、不足品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

**その他の別売アクセサリー：**

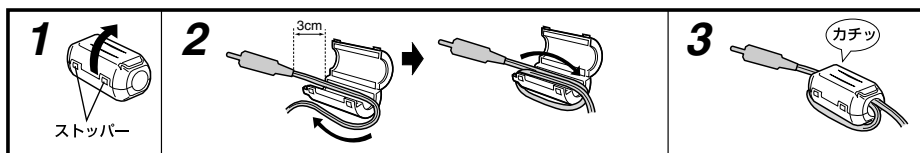
| | | | |
|---|---|---|---|
| バッテリーパック | BN-V107-S | DV ビデオナビゲーターパック | GV-DV1000 |
| バッテリーパック | BN-V114-S | DV 動画編集パック | GV-DV1500 |
| バッテリーキット | VU-V856KIT | PC カードアダプター | CU-V51 |
| バッテリーキット | VU-V840KIT | フロッピーディスクアダプター | CU-V41 |
| DV ケーブル | VC-VDV204 | USB リーダー／ライター | CU-V70 |
| マルチメディアカード（8 MB） | CU-MMC08 | マルチメディアプリンター | GV-DT5 |
| マルチメディアカード（16MB） | CU-MMC16 | | |

コードやケーブルをお使いになるときは、フェライトコアを必ず取り付けてください。
ビデオカメラと外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減することができます。

## ◆コード（ケーブル）別使用フェライトコア

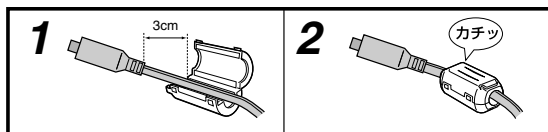
| 使用コード | 使用フェライトコア |
|---|---|
| USBケーブル | （中） |
| S／AV／編集コード<br>ACアダプター | （小） |

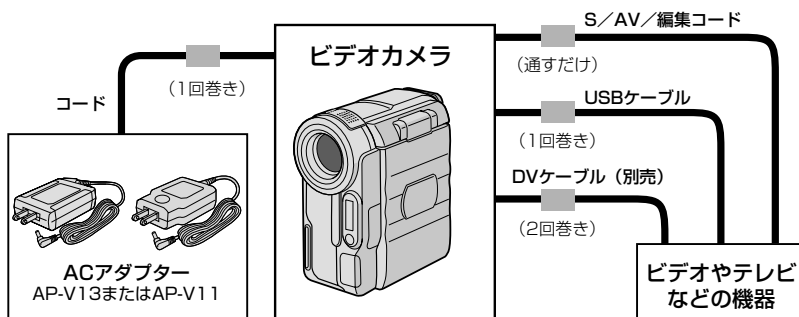
| 使用コード | 使用フェライトコア |
|---|---|
| DVケーブル（別売） | （大） |

## ◆フェライトコアの取り付けかた（イラストは１回巻きの説明です。）

**1** 両端のストッパーをはずして開く

**2** フェライトコアにコードを指示された回数巻く（位置と回数は下図を参照）
●端子から約 3cm の位置にフェライトコアを取り付けます。

**3** コードをはさみ､カチッと音がするまで閉じる

## ◆Ｓ／ AV ／編集コードにフェライトコアを取り付ける

「◆フェライトコアの取り付けかた」の手順２で、コードを巻かずに通すだけにして、カチッと音がするまで閉じる

## ◆フェライトコアの取り付け位置

フェライトコアの付いている側の端子をビデオカメラ側に接続してください。

# こんなことができます

## 照明を消した部屋で、赤ちゃんの寝顔を撮影したい。

「ナイトアイ」ボタンを使えば、暗い場所で撮影するときでもカラー映像で撮影できます（☞P.79）。

## 日射しのあたる窓際にいる人を撮影したい。

太陽などの強い光を背景にして人物を撮影するときは、人物が真っ黒になってしまいます。
こんなときには「逆光補正」ボタンを使えば、人物を明るく撮影できます（☞P.75）。

## 学芸会の舞台上で、スポットライトの中にいる子供を撮影したい。

強い光が当たっている被写体を撮影すると、真っ白に写ってしまいます。
こんなときでもプログラムAEメニューの「スポットライト」を使えば、自然な画像を撮影することができます（☞P.112）。

## 走っている車のような動きの速いものをブレさせずに撮影したい。

プログラムAEメニューの「スポーツ」を使えば、ブレをおさえて、きれいに撮影することができます（☞P.76）。

## 目的の場面をすばやく探し出して、再生したい。

何度も巻戻しや早送りをするのは面倒なものです。
こんなときには、ナビ機能を使って再生したい場面をあらかじめ頭出しデータとして記録しておきます（☞P.91、119）。画像を確認しながら場面を指定できるので、すばやく簡単に頭出しができます。

## いろいろな音声を入れて楽しみたい。

撮影したあとに音声を追加すること（アフレコ編集）ができます（☞P.152）。

## 撮影した映像をパソコンでも利用したい。

カメラが捉えている映像やテープに記録した映像を、メモリーカードに記録できます。記録した映像をパソコンに取り込んで音声やBGMを追加して、オリジナルムービー作りを楽しみましょう（☞P.156）。

## 見たい場面だけをすぐに楽しみたい。

たくさん映像を撮るほど、編集にも手間と時間がかかってしまうものです。こんなときには、自動編集機能を使うと、気に入った場面だけを集めたテープを簡単に作成できます。さらに「アフレコ編集」「場面切替効果」「プログラムAE」機能を合わせて使えば、テレビドラマや映画のような効果を付けることもできます（☞P.140）。

## いろいろな機器と接続して活用できます

フロッピーアダプター
USB リーダー／ライター
PC カードアダプター

### パソコンで加工する

- リアルタイムに動画を取り込む
- テープから動画を取り込む
- 動画や静止画をメールに添付する

※ 詳しくは、ソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

USB ケーブル
DV ケーブル

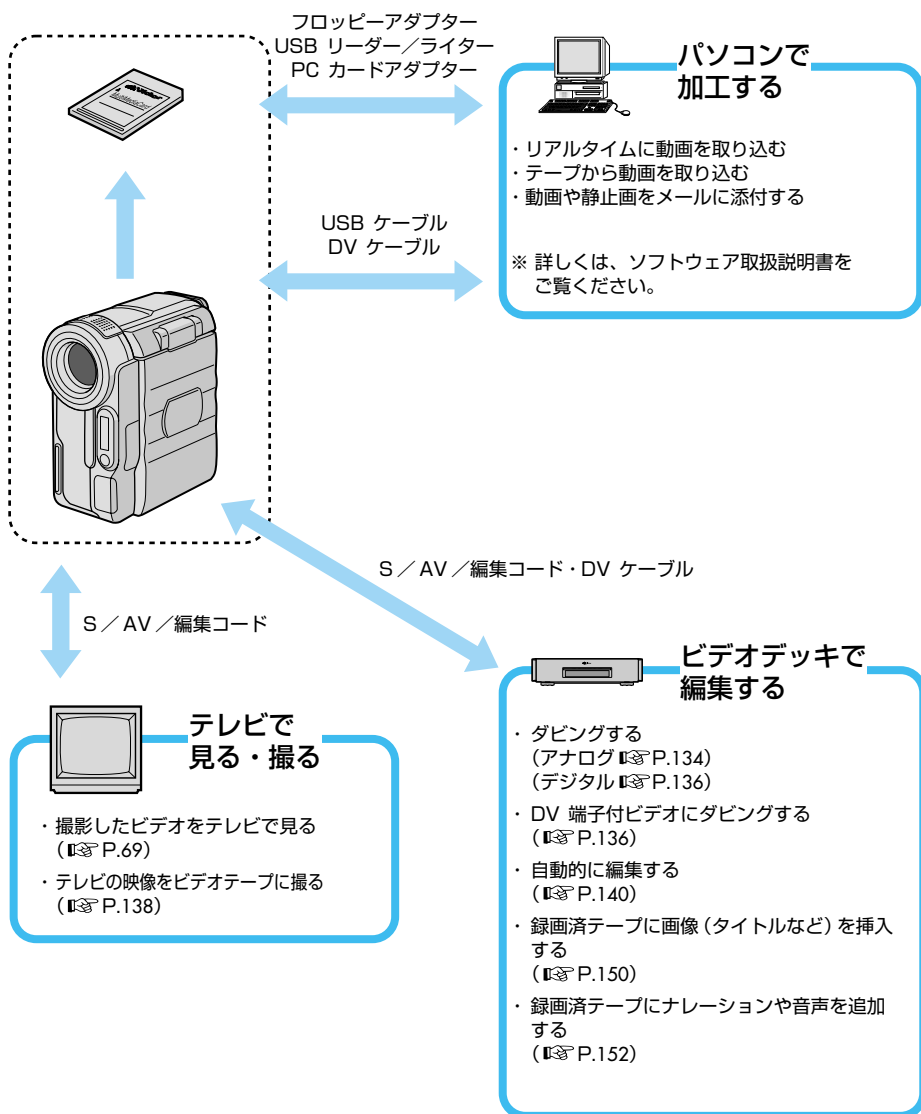
S／AV／編集コード・DV ケーブル

S／AV／編集コード

### テレビで見る・撮る

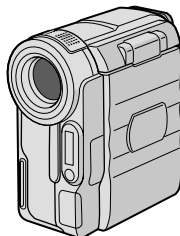
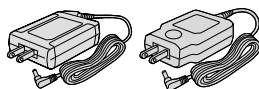
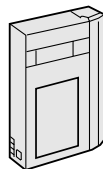
- 撮影したビデオをテレビで見る（☞ P.69）
- テレビの映像をビデオテープに撮る（☞ P.138）

### ビデオデッキで編集する

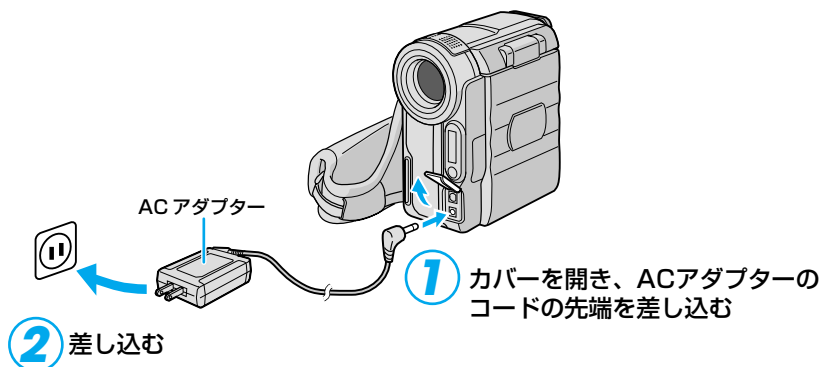
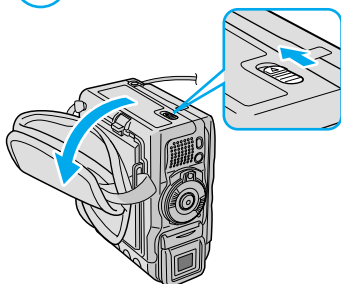
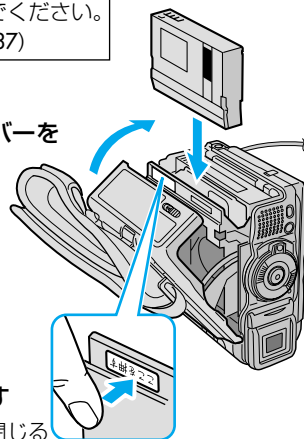
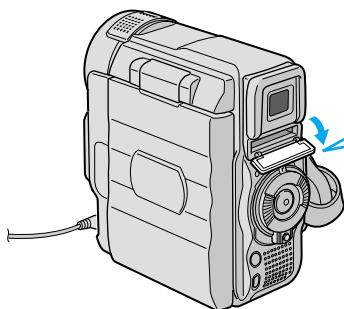
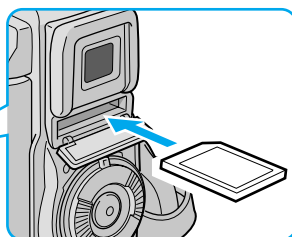
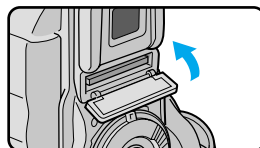
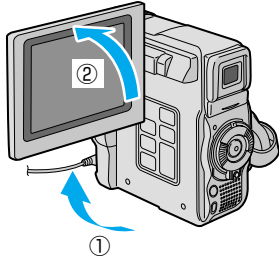
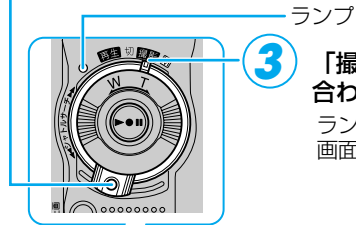
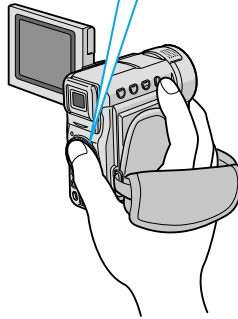
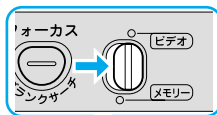
- ダビングする
  （アナログ ☞P.134）
  （デジタル ☞P.136）
- DV 端子付ビデオにダビングする（☞ P.136）
- 自動的に編集する（☞ P.140）
- 録画済テープに画像（タイトルなど）を挿入する（☞ P.150）
- 録画済テープにナレーションや音声を追加する（☞ P.152）

ここに紹介したものは、ほんの一例。ほかにも、いろいろな使いかた・楽しみかたがあります。「設定を変えて使いこなそう編」（☞P.161～P.171）をご覧ください。

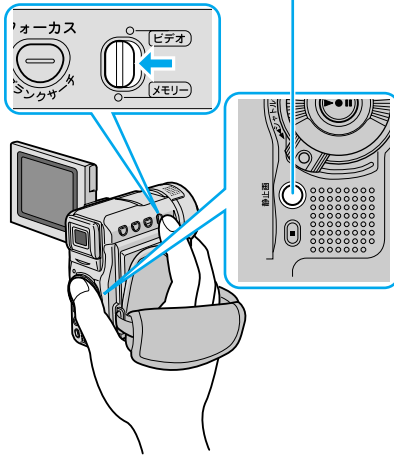
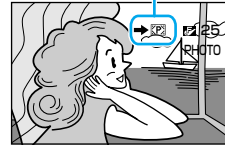
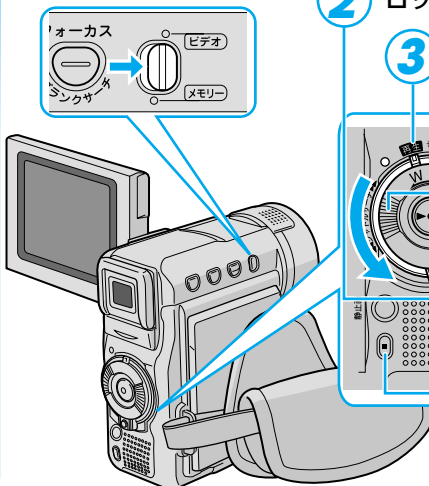
# いますぐ ビデオと静止画を撮影してみよう

箱を開けたら、何はともあれビデオを撮影してみましょう！
最初はバッテリーが充電されていないので、コンセントにつないで撮影し、再生してみます。ボタンやランプの名前なんて知らなくても大丈夫。ともかく、この通り操作すれば撮影できます。

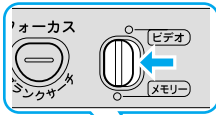
## 用意するもの

ビデオカメラ

ACアダプター
AP-V13またはAP-V11

ミニDV
カセットテープ（別売）

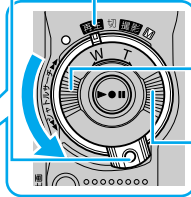
メモリーカード（8MB）

## コンセントにつなぐ

## カセットテープを入れる

## メモリーカードを入れる

## 撮影できる状態にする

## ビデオを撮影する

## 静止画を撮影する

1. スイッチを「メモリー」の位置に合わせる
2. 「静止画」ボタンを押す
   画面表示：➡P
3. 手順2を繰り返す

## 撮ったビデオを見る

1. スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる
2. ロック解除ボタンを押したまま
3. 「再生」の位置に合わせる
4. ◀◀側に回して巻き戻す
   画面表示：◀◀
   テープの先頭まで巻き戻ると、停止する
5. ▶/II を押して再生する
   画面表示：▶
6. ■を押して停止する

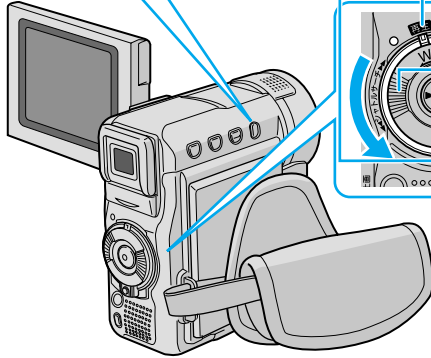
## 撮った静止画を見る

1 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

2 ロック解除ボタンを押したまま

3 「再生」の位置に合わせる
静止画が表示される

4 ◀◀ 側に回して1枚前の静止画を再生する

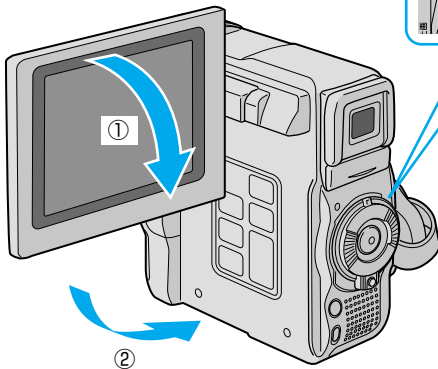
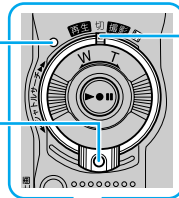
5 ▶▶ 側に回して次の静止画を再生する

## 電源を切る

ランプ

1 ロック解除ボタンを押したまま

2 「切」の位置に合わせる
ランプが消灯し、画面が消える

①

②

3 液晶画面を閉じる
① 90度回転させる
② 閉じる

## 機能デモを見てみよう

本機には、場面切替（☞ P.108)やプログラム AE（☞ P.112)などの機能を確認するためのデモモードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。

**機能デモを表示させるには**

カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせてから３分経つと、液晶画面にビデオカメラの機能デモが自動的に表示されます。
機能デモを途中でやめるには、電源を切ってください。

**機能デモを表示しないようにすることもできます** ☞ P. 170 ～ 171

## ビデオ撮影、本番へ GO!

とにかくすぐに撮影をしてみるステップはこれで終了。次は、いよいよ撮影本番！
バッテリーを使い、いろいろなシーンを撮影しましょう。
バッテリーの充電には約 90 分（BN-V107-S の場合）かかります。この待ち時間を利用して、まず「これだけは知っておこう」編のページに目を通してみてください。きっと撮影のときに役立ちます。

**「これだけは知っておこう」編** ☞ P. 28 ～ 71

**バッテリーで撮影する** ☞ P. 33

**上手に撮るコツ** ☞ P. 60

# 安全上のご注意

## 安全のために必ずお守りください

### 絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

**危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の説明

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

# ⚠危険

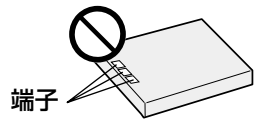
■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

■高温の場所（60℃以上）にバッテリーを置かない

・発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させせない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取り付けて、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池の端子部（⊕ と⊖ ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させせない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。

■AC アダプターは指定以外のビデオカメラやバッテリーに使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、ビデオカメラの取扱説明書もよくお読みください。

■AC アダプターの分解や改造をしない

・火災や感電の原因になります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■AC アダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意

## ⚠警告

■液漏れを起こしたバッテリーを使わない

・液漏れを起こしたバッテリーはショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・バッテリーの液が漏れたときは、バッテリー取り付け部の液をよく拭き取ってから新しいバッテリーを取り付けてください。
・バッテリーの液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

■煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。

# ⚠警告

## ■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こした乾電池を使わない

・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

## ■乾電池は幼児の手の届かない所に置く

・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

## ■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、 けがの原因となります。

## ■不安定な場所に置かない

・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

## ■指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

## ■電源コードを傷つけない

・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、熱器具に近づける。

# 安全上のご注意

## 警告

### ■内部に物を入れない

・カセットテープの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

### ■内部の部品に触らない

・カセットテープの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

### ■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

### ■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### ■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
交通事故の原因になります。

### ■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

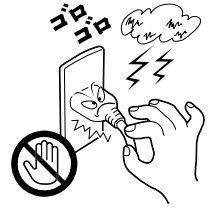
・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

### ■ぬらさない

・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

# ⚠警告

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない

・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■上に乗らない

・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

# 安全上のご注意

## ⚠注意

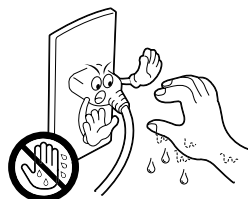
### ■充電中のバッテリーに長時間触れない

・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### ■電源コードはコードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・プラグの部分を持って抜いてください。

### ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

### ■次のような場所には置かない、使わない

・砂浜などの砂ぼこりのある所
・湿気やほこりの多い所
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・熱器具の近くなど
・真夏の車内など高温になる所
・直射日光の強い所
火災や感電、故障の原因となることがあります。

### ■上に重い物を置かない

・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

### ■カセットの出し入れ口に手を入れない、ファインダーの取り付け部に指を入れない

・手や指をはさまれてけがをする原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

# ⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕ と⊖ ）の向きに注意する

・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中の AC アダプターに長時間触れない

・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

■本体に衝撃を与えない

・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

■指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめてください。

■別売の照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する

・ AC アダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずし､電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

## ⚠注意

### ■別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

### ■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

### ■バッテリーやグリップベルトは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

### ■お手入れするときは、バッテリーをはずし、電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

### ■５年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

### ■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

### ■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

# ⚠注意

■CD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

・オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセでソフトウェアCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

■CD-ROMの鏡面（文字などが印刷されている面と反対の面）を汚したり、傷を付けない

・汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。

■CD-ROMに従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わない

・変形の原因となります。

■CD-ROMの裏表どちらの面にも文字を書いたり、シールなどを貼らない

・読みとりができなくなる原因となります。

■CD-ROMディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしない

・読みとりができなくなる原因となります。

■CD-ROMを次のような場所に長時間置かない

・湿気やほこりが多い所
・直射日光の当たる所

■リモコンを高温になる場所に置かない

・晴天の閉めきった車内など、高温になる場所に放置しないでください。

■リモコンを次のような場所に長時間置かない

・直射日光などにさらされる場所
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

# 各部の名前とはたらき

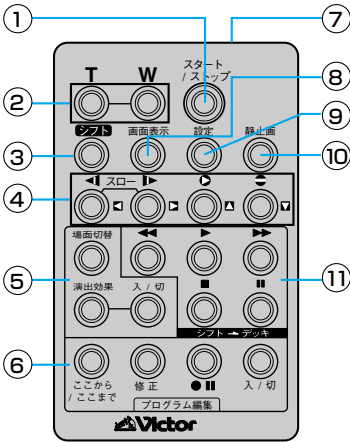
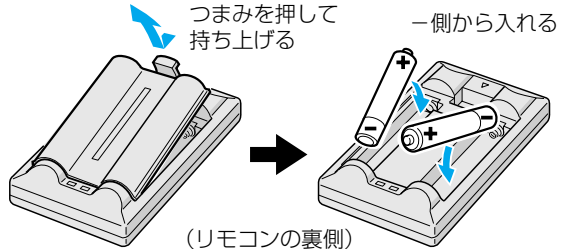
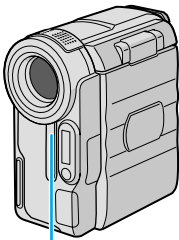
フラッシュ
静止画を撮影するときに、
周囲が暗いと自動的に発光します。
ステレオマイク
撮影時とアフレコ編集時に
音声を吹き込みます。
リモコン受光部
ここに向けてリモコンを
操作してください。
撮影ランプ
撮影中は点灯します。
端子カバー
なかの端子を利用する
ときには開いて使用します。
S／AV入／出力端子
S／AV／編集コードで
テレビやビデオデッキを
接続します。
DC入力端子
ACアダプターのコードの先端を取り付けます。
フラッシュ調光センサー
フラッシュ撮影に必要なセ
ンサーです。指などでふさ
がないようにしてください。
端子カバー
なかの端子を利用する
ときには開いて使用します。
DV入力／出力端子
（i-LINK*）
DV端子付きのビデオ機器と
接続します。
*：i-LINKは、IEEE1394-1995
仕様およびその拡張仕様です。
はi-LINKに準拠した商品に
つけられるロゴマークです。
USB端子
USBケーブルを接続します。
三脚取り付け穴
三脚を取り付けます。
カセットカバー
バッテリー取りはずし
スイッチ
バッテリーの取りはずしに
使用します。
カセット取出しスイッチ
カセットテープの出し入れに
使用します。
グリップベルト
（底面）

ファインダー
撮影するときに引き出します。
撮影中、再生中に映像が映ります。
メモリーカードカバー
メモリーカードを出し入れします。
スピーカー
再生時にここから音が出ます。
液晶画面
撮影中、再生中に映像が映ります。また、メニューもここに表示されます。
インデックス／ナビボタン
メモリーカード内の静止画・動画を一覧表示します。
また、あらかじめ設定した場面を頭出しするときにも使用します。
ナビ書込み
ナビ書込みボタン
頭出しするためのデータを記録するときに使用します。
インデックス
ナビ
動画メモリー
インフォ
動画メモリー／インフォボタン
メモリーカードに動画を撮影するときに使用します。
また、静止画、動画の情報を表示するときにも使用します。
選 択▲
決 定▶
＋
－
モニター明るさ
決定／選択ボタン
メモリー内で項目を決定します。
また、静止画・動画を選択するときにも使用します。
メニュー
メニューボタン
メニューを表示します。
「+」・「−」ボタン
メニューなどを操作します。
画面の明るさの調節にも使用します。

# 各部の名前とはたらき

ナイトアイ／音量+ボタン
暗い場所で撮影するときに使用します。
また、音量を上げるときにも
使用します。
逆光補正／音量−ボタン
逆光補正に使用します。
また、音量を下げるときにも
使用します。
フォーカス／ブランクサーチ
ボタン
ピント合わせに使用します。
また、ビデオテープの中にある
無記録部分を探します。
モード選択スイッチ
ビデオテープへの撮影・再生と
メモリーカードへの撮影・再生を
切り替えます。
バッテリー取り付け部
レンズキャップ
撮影しないときは
レンズ部に取り付けて
ください。
撮影中はパッドに
取り付けてください。
パッド
電源ランプ
電源が入っている
ときに点灯し、充
電中に点滅します。
撮影／再生・一時停止ボタン
ビデオの撮影を開始または
終了します。
再生時には、ビデオや静止画の
再生操作に使用します。
静止画ボタン
メモリーカードに静止画を
撮影する、またはテープに
静止画を撮影します。
停止ボタン
ビデオの再生や静止画の
連続再生を停止します。
ズーム／シャトルサーチダイヤル
撮影中、映像のズームを行います。
再生中は、ビデオの早送り・
巻き戻しや静止画の再生操作に
使用します。
ロック解除ボタン
電源ダイヤルを切り替えるときに
押します。
電源ダイヤル
電源の入切、撮影と再生などを
切り替えます。
撮影 ･････････全自動で撮影できます。
M ･･････････撮影方法を細かく
設定して、撮影できます。
切 ･･････････電源が切れます。
再生 ･････････ビデオや静止画を
見るときに切り替えます。
再生
切
撮影
W
T
静止画

# リモコン

付属品のリモコンを使うと、ビデオカメラをはなれたところから操作できます。

次へ続く

## リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、ビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

## ビクターのデジタルビデオカメラを使う人が近くにいるときは

運動会など、半径５ｍ以内にビクターのデジタルビデオカメラをリモコンで操作する人がいる場合、ビデオカメラがつられて動作してしまうことがあります。このようなときは、システム設定メニューの「リモコン」（☞P.170）を「切」に設定することをお勧めします。

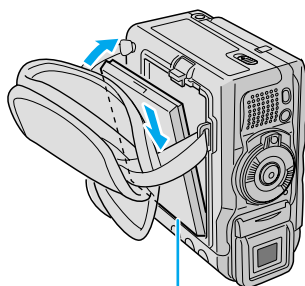
# 各部の名前とはたらき

| ボタン名 | | | ボタンの機能 | 参 照 |
|---|---|---|---|---|
| ① | | スタート/ストップボタン | 撮影をスタートまたはストップする。<br>動画メモリーをスタートまたはストップする。 | P.55, 85 |
| ② | T | ズームボタン | 静止画や映像が大きくなる。 | P.54, 127 |
| | W | ズームボタン | 大きくした静止画や映像が元に戻る。 | |
| ③ | | シフトボタン | 拡大した静止画や再生映像を上下左右に動かす。 | P.127, 141 |
| ④ | ◀❙ | スロー(逆転)ボタン/左ボタン | テープをスローで巻き戻し再生する*。<br>再生ズームした静止画や映像を左に動かす。 | P.63, 127 |
| | ❙▶ | スロー(正転)ボタン/右ボタン | テープをスローで再生する*。<br>再生ズームした静止画や映像を右に動かす。 | P.63, 127 |
| | ▶ | インサートボタン/上ボタン | インサート編集を行う。<br>再生ズームした静止画や映像を上に動かす。 | P.127, 150 |
| | ⊖ | アフレコボタン/下ボタン | アフレコ編集を行う。<br>再生ズームした静止画や映像を下に動かす。 | P.127, 152 |
| ⑤ | | 場面切替ボタン | 自動編集中、場面切替効果を選択する。 | P.143 |
| | | 演出効果ボタン | 再生中や自動編集中、プログラムAEの効果を選択する。 | P.129 |
| | | 演出効果<br>入/切ボタン | 再生映像にプログラムAEの効果を加える。 | P.129, 143 |
| ⑥ | | ここから/ここまでボタン | 自動編集の開始と終了を指定する。 | P.143 |
| | | 修正ボタン | 自動編集を修正する。 | P.143 |
| | ●❙❙ | ビデオ準備ボタン | 自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。 | P.143 |
| | | 入/切ボタン | 自動編集表示画面を表示する。 | P.143 |
| ⑦ | | リモートポーズ（入力）端子 | 編集コードを接続する。 | P.143 |
| ⑧ | | 画面表示ボタン | テレビに出てくる日時表示を出したり、消したりする。 | P.143, 161 |
| ⑨ | | 設定ボタン | 編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。 | P.141 |
| ⑩ | | 静止画ボタン | 静止画を撮影する。<br>動画メモリーをスタートまたはストップする。 | P.58, 85 |
| ⑪ | ◀◀ | 巻戻しボタン | テープを巻き戻す。<br>前の静止画を再生する。 | P.63<br>P.67 |
| | ▶ | 再生ボタン | テープを再生する。<br>静止画を連続再生で再生する。 | P.62<br>P.67 |
| | ▶▶ | 早送りボタン | テープを早送りする。<br>次の静止画を再生する。 | P.63<br>P.67 |
| | ■ | 停止ボタン | テープを停止する。<br>連続再生をやめる。 | P.62<br>P.67 |
| | ❙❙ | 一時停止ボタン | テープを一時停止する。 | P.63 |

＊1回ずつ押すことでコマ送り再生になります。スロー再生するには、約2秒間押し続けます。

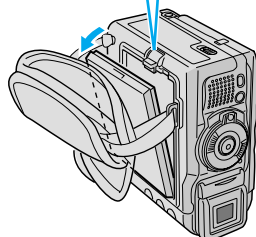
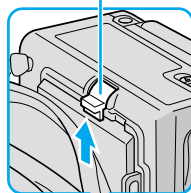
# 準備する

## Step1　バッテリーを取り付ける

バッテリーは出荷時には充電されていません。ACアダプターで充電してからお使いください。充電が終わっていない場合など、必要に応じてACアダプターを取り付けて使用することもできます（☞P.68）。
バッテリーを取り付けるときは、バッテリーのキャップを取りはずしてください。

### バッテリーを取りはずすには

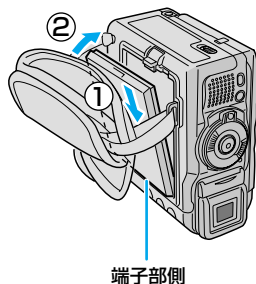
ビデオカメラには、出荷時にバッテリーケースが取り付けられています。

**1** 「バッテリー」ボタンを押して、バッテリーケースを取りはずす

これだけは知っておこう編

## バッテリーを取り付けるには

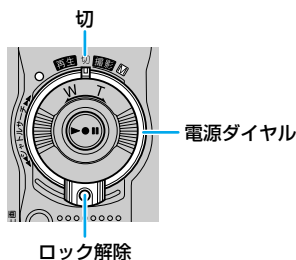
### 1 グリップベルトをゆるめて、バッテリーを取り付ける

①端子部側を奥にしてビデオカメラに差し込みます。

②カチッと音がするまでビデオカメラに押しつけて取り付けてください。

- バッテリーはカチッと音がするまで確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、使用中にバッテリーが落下することがあります。

## バッテリーを取りはずすには

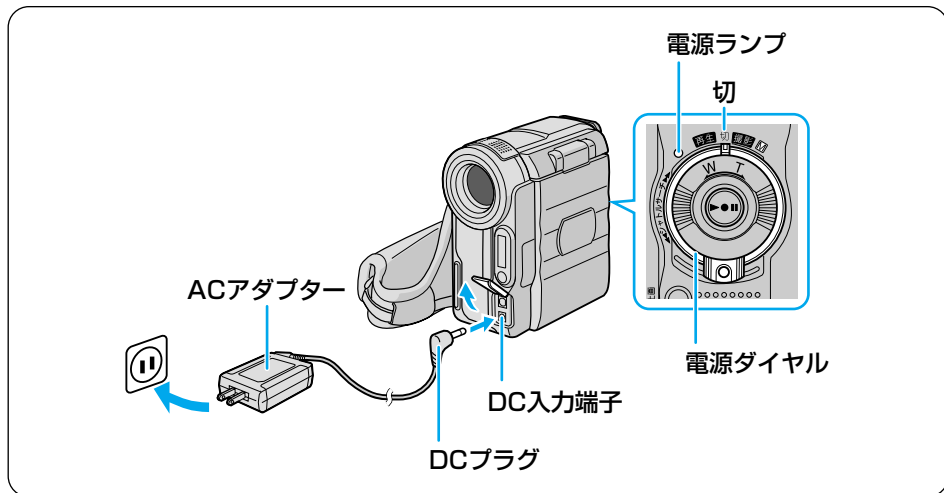
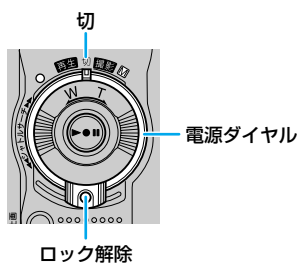
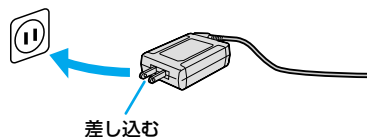
### 1 電源ダイヤルが「切」の位置に合っていることを確認する

- 合っていないときは、ロック解除ボタンを押しながら、「切」の位置に合わせてください。

- 電源を切らずにバッテリーを出し入れすると、故障する恐れがあります。

### 2 「バッテリー」ボタンを押して、バッテリーを取りはずす

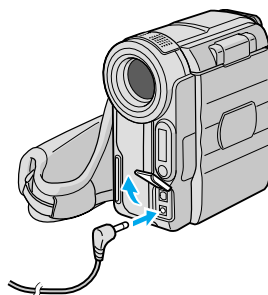
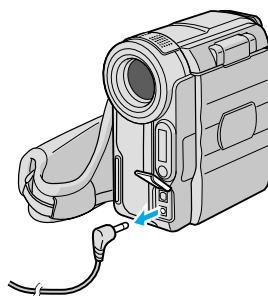
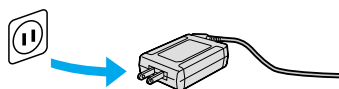
- 取りはずしたバッテリーを持ち運んだり、保管したりするときには、キャップを取り付けてください。

# Step2　バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取り付け、AC アダプターを使用して充電します。

**1** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

**2** AC アダプターをコンセントに差し込む

これだけは知っておこう編

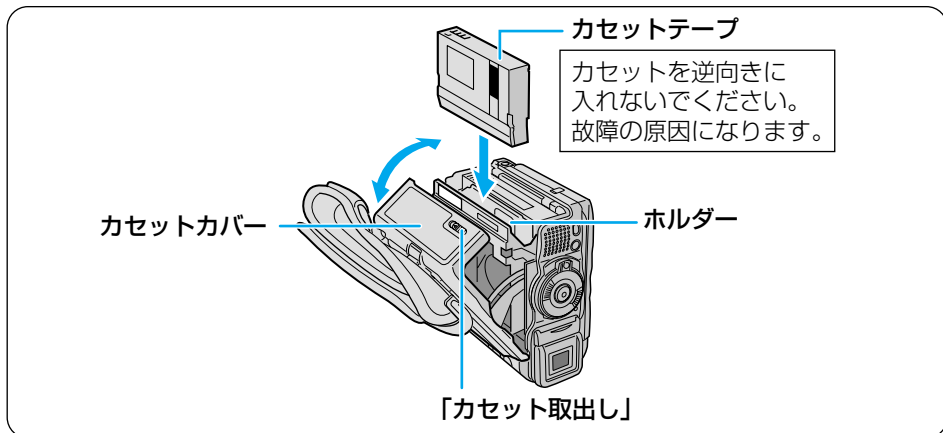
次へ続く

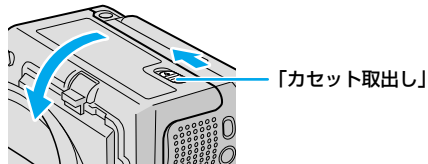
**3** **ACアダプターのDCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む**

電源ランプが点滅します。

**4** **電源ランプの点滅が終わり消灯したら、DCプラグをビデオカメラから抜く**

**5** **ACアダプターをコンセントから抜く**

- 充電時間の目安（室温10℃～35℃）：標準バッテリー(BN-V107-S)で約90分、
  長時間バッテリー(BN-V114-S)で約180分。
- 海外でもバッテリーを充電できます（☞P.196）。

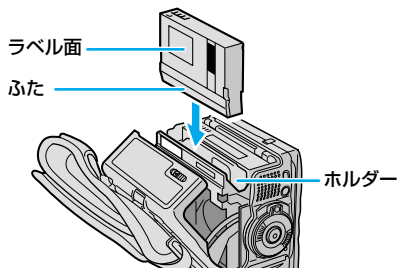
- 十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください（☞P.8、190）。

# Step3　カセットテープを入れる

ビデオを撮影するには、ミニDVカセットテープを使用します。

## 1 「カセット取出し」スイッチを矢印の方向にスライドさせたまま、カセットカバーを手で開ける

ビデオカメラ内部のホルダーが自動的に開きます。

## 2 カセットテープをホルダーに入れる

- カセットテープのラベル面をカセットカバー側に、カセットテープのふたの部分を奥にして入れます。

  カセットテープを指で軽く押して、ホルダーの奥まで確実に入れてください。

ご注意

- テープがからまるなど、一度トラブルのあったカセットテープは使用しないでください。故障の原因となります。

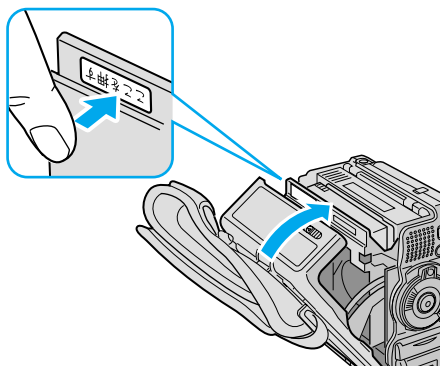
次へ続く

## 3 ホルダーの「ここを押す」を押す

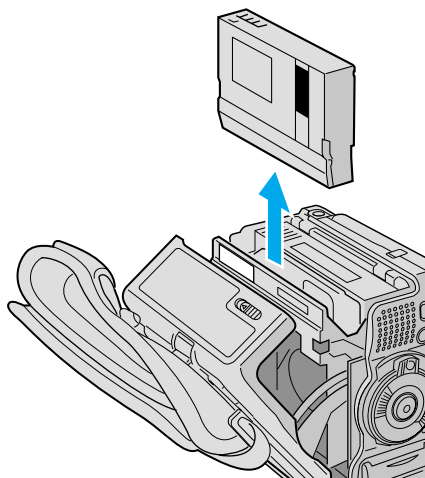
ホルダーが自動的に収納されます。

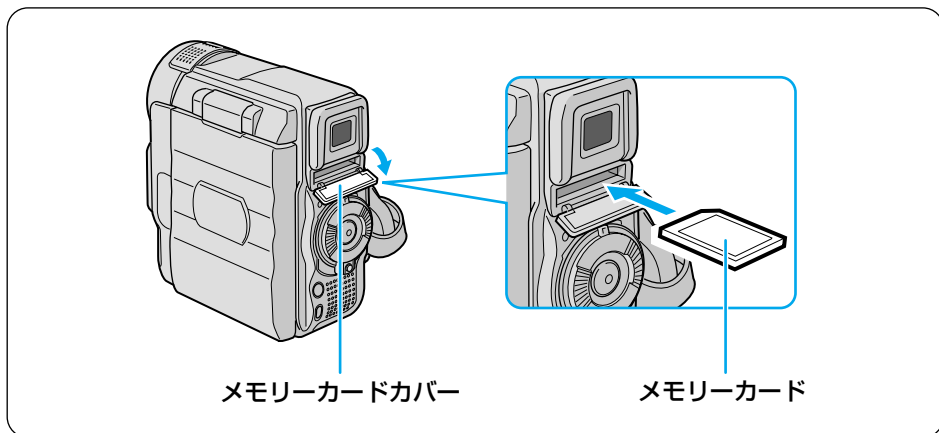
- ホルダーが収納されない場合、カセットカバーを完全に開いてカセットテープを取り出し、少し待ってから入れ直してください。

ご注意

- 指などをはさまれないようにご注意ください。

## 4 カセットカバーをカチッと音がするまで押して閉める

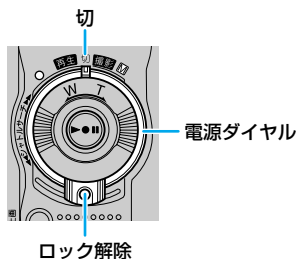
## カセットテープを取り出すには

## 1 前ページの手順２で、カセットテープを引き出す

# Step4　メモリーカードを入れる

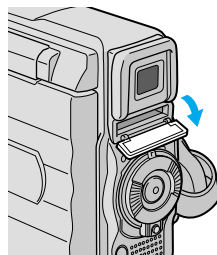
静止画を撮影するには、メモリーカード（SD Memory Card、またはマルチメディアカード）を使用します。

## 1 電源ダイヤルが「切」の位置に合っていることを確認する

- 合っていないときは、ロック解除ボタンを押しながら、「切」の位置に合わせてください。

**ご注意**

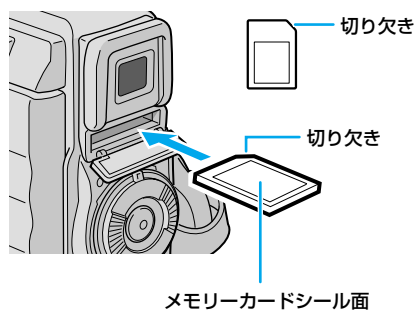
- 電源を切らずにメモリーカードを出し入れすると、故障する恐れがあります。

## 2 メモリーカードカバーを開ける

次へ続く

これだけは知っておこう編

## 3 メモリーカードの切り欠き部分を奥にして図の方向に差し込む

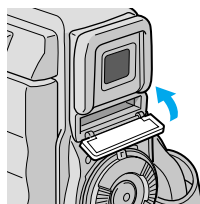
- 奥までしっかりと、まっすぐ差し込んでください。

ご注意

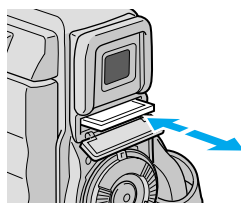
- メモリーカードの金属部分を触らないでください。

## 4 メモリーカードカバーを閉める

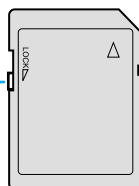
- メモリーカードカバーを上げてから、カチッと音がするまで押し込んでください。

ご注意

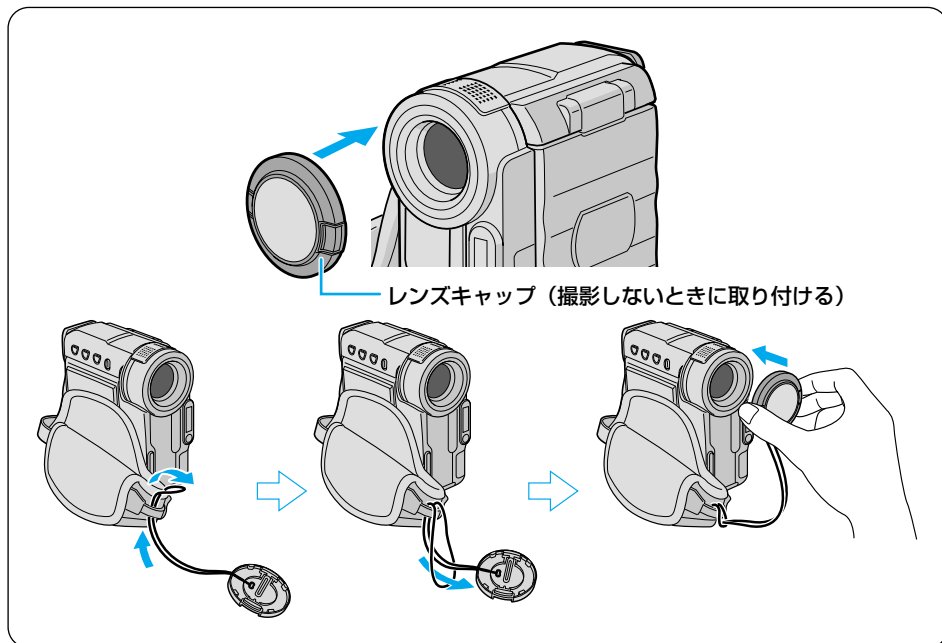
- 新たに購入したメモリーカードを使用するときは、ビデオカメラで初期化（フォーマット）してください（☞P.179）。
- 付属品のメモリーカードは、初期化されています。

## メモリーカードを取り出すには

**1** **前ページの手順３でメモリーカードを押す**

メモリーカードが少し出てきます。

**2** **出てきたメモリーカードを引き抜く**

● **SDメモリーカードについて**
大切な画像を消してしまわないように、メモリーカードへ記録できなくすること（ライトプロテクト）ができます。ライトプロテクトをかけるには、メモリーカード側面のスイッチを「LOCK」の位置に合わせてください（スイッチを戻すと、再び記録できるようになります）。

## Step5　レンズキャップを取り付ける

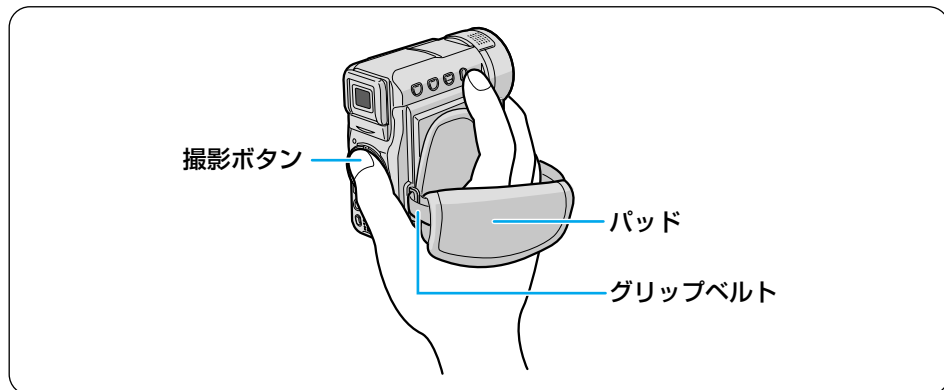
撮影しないときは、レンズキャップを取り付けます。

レンズキャップ（撮影しないときに取り付ける）

**1** レンズキャップをグリップベルトに取り付ける

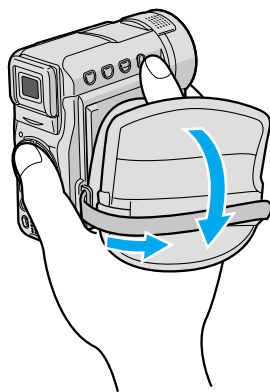
**2** レンズキャップを取り付ける

● 撮影中は、レンズキャップをパッドに取り付けてください。（☞P.30）

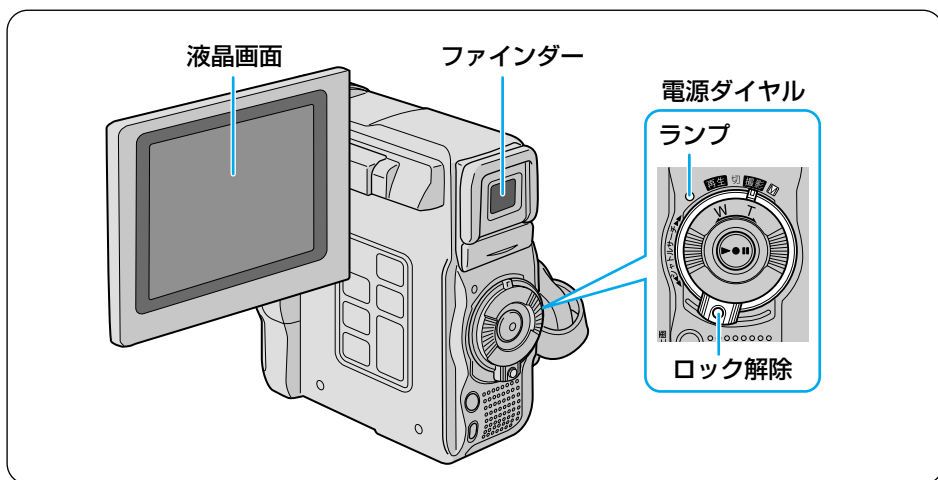
# Step6　グリップベルトを調節する

付属品のグリップベルトを調節すると、長時間でも楽に撮影ができます。

**1** パッドをはがす

**2** グリップベルトの長さを調節する

- 親指を撮影ボタンの位置に合わせて構えたときに、ビデオカメラがぐらつかない程度にベルトを締めてください。

**3** パッドを貼り付ける

## Step7　電源を入れる

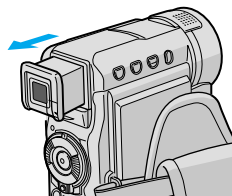
電源は液晶画面やファインダーと連動しています（クイックパワーオフ機能）。
液晶画面を開く（またはファインダーを引き出す）とすぐに撮影を始められ、液晶画面とファインダーを元に戻すだけで電源が切れます。

## 電源を入れるには

撮影する前にレンズキャップを取りはずしてください。
つぎの 2 つの条件が揃ったときに電源が入り、ランプが点灯します。どちらを先にしても構いません。

### ■電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる。

### ■液晶画面とファインダー

液晶画面を開く（☞ P.14）、またはファインダーを引き出す（レンズキャップが付いているときは、液晶画面またはファインダーに「レンズキャップ」と表示されます）。

### 電源を切るには

ロック解除ボタンを押したまま、電源ダイヤルを「切」に合わせ、ランプの消灯を確認する。
または、液晶画面とファインダーを元に戻し、ランプの消灯を確認する。

- 液晶画面を開いて、ファインダーも引き出している場合、液晶画面とファインダーのどちらに映像や文字、記号を表示させるかを選ぶことができます（☞P.170）。
  お買い上げ時には、液晶画面が優先されるように設定されています。

ご注意

- ファインダーを元に戻すときは、指をはさまないようにご注意ください。
- ファインダーを元に戻すときは、奥まで戻してください。気づかずにバッテリーを消費します。必ずランプが消灯していることを確認してください。
- 長期間使わないときは、電源ダイヤルを「切」に合わせ、バッテリーまたはACアダプターを取りはずしてください（☞P.34、35）。
- ビデオカメラをカバンにしまうときや使わないときには、レンズ保護のためにレンズキャップを取り付けてください。



## 再生するには

撮影とは異なり、次の操作だけで電源が入り、ランプが点灯します。

### ■電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる。

### 電源を切るには

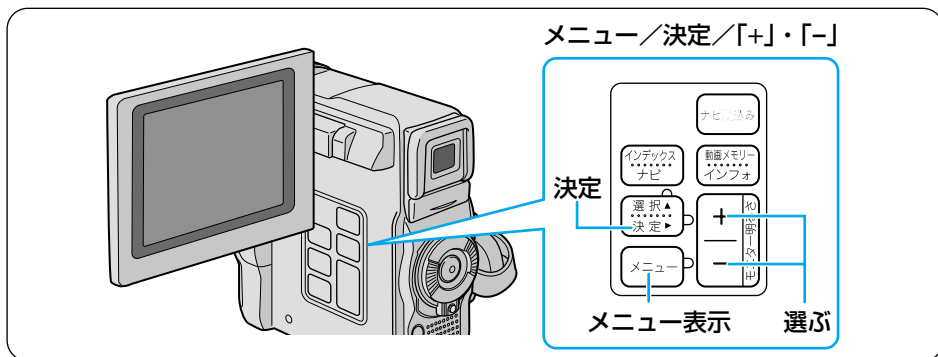
ロック解除ボタンを押したまま、電源ダイヤルを「切」に合わせ、ランプの消灯を確認する。

ご注意

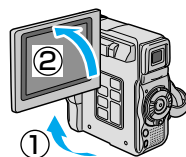
- 液晶画面を閉じていても電源が入ります。気づかずにバッテリーを消費します。必ずランプが消灯していることを確認してください。
- 長期間使わないときは、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください（☞P.34、35）。

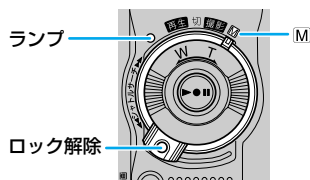
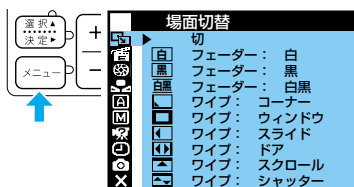
# 準備する

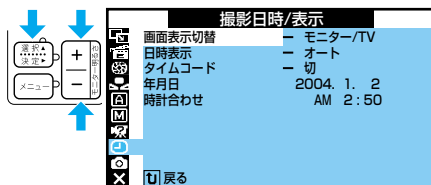
## 日付・時刻を合わせるには

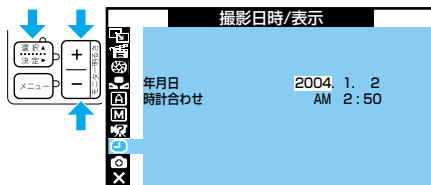
ビデオカメラには出荷時に日時を設定してありますが、お客様のお手元に届くまでに時刻がずれたり、設定が消えていることがあります。お使いになる前に、正しい日時を設定しなおしてください。また、日時が異なる国へ旅行するときも、日時設定を変更してください。
画面に「日時を設定して下さい」とメッセージが表示されたときは、時計用の内蔵電池が空になっています。内蔵電池を充電するため、AC アダプターを 24 時間以上接続してから日時を設定してください。

### 1 液晶画面を開く

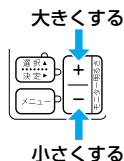
① 上に開く

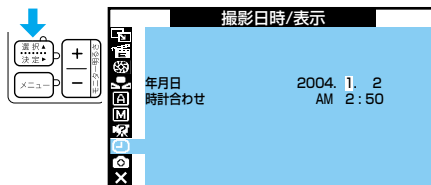
② 90 度回転させる

### 2 ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「Ⓜ」の位置に合わせる

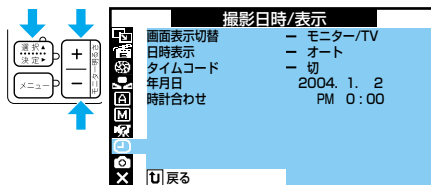
ランプが点灯し、液晶画面に映像が表示されます。

### 3 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

## 4 「+」・「–」ボタンを押して「」を選び、「決定」ボタンを押す

撮影日時／表示設定メニューが表示されます。

## 5 「+」・「–」ボタンを押して「年月日時計合わせ」を選び、「決定」ボタンを押す

年が変更できるようになります。

## 6 「+」・「–」ボタンを押して正しい年に合わせる

- 数値を大きくする→「+」ボタン
- 数値を小さくする→「–」ボタン

## 7 「決定」ボタンを押して年を決定する

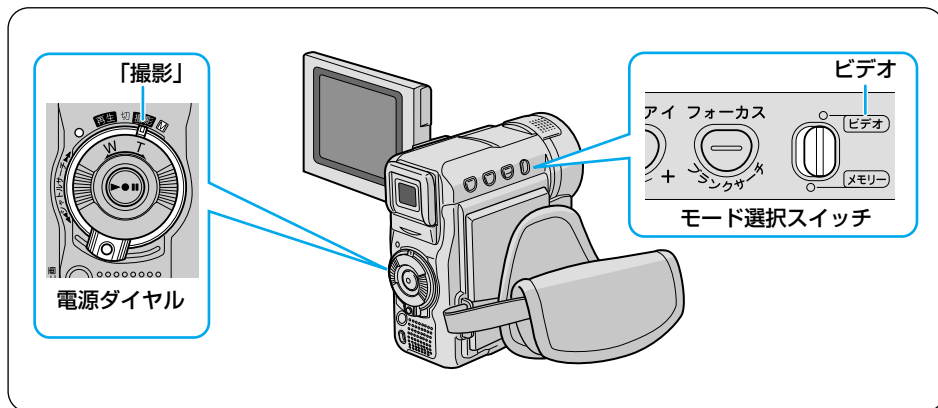
月が変更できるようになります。

## 8 同様にして、月日と時刻を合わせ、「決定」ボタンを押す

「戻る」が反転します。

## 9 「決定」ボタンを２回押す

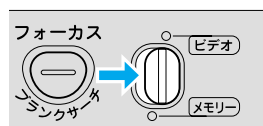
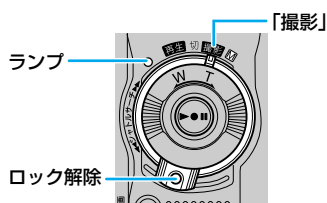
メニューが終了し、撮影画面に戻ります。

# 撮影する

## Act.1　設定を確認する

撮影前に、撮影モードなどの設定とテープやメモリーカード、バッテリーの残量を確認します。まず、電源ダイヤルとモード選択スイッチの設定を確認します。

上図のように設定されていないときは、下記の手順で設定してください。この取扱説明書では、特に断りがないときは上図の設定で操作しています。

### 1 モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

- モードについては、次ページの「モードごとの特徴」で説明します。

### 2 ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮影」の位置に合わせる

## モードごとの特徴

### ビデオ

**特徴：ビデオを撮影し、テープに記録します。**

- ビデオ映像の中に、写真のような場面（静止画）を約6秒間挿入することもできます（☞P.82）。
- メニューで設定を変更すると、静止画をビデオテープに挿入するのと同時に、メモリーカードにも記録することができます（☞P.166）。このときの静止画の画像サイズは、640×480ドットになります。

### メモリー

**特徴：静止画や動画を撮影し、メモリーカードに記録します（☞P.58、85）。**

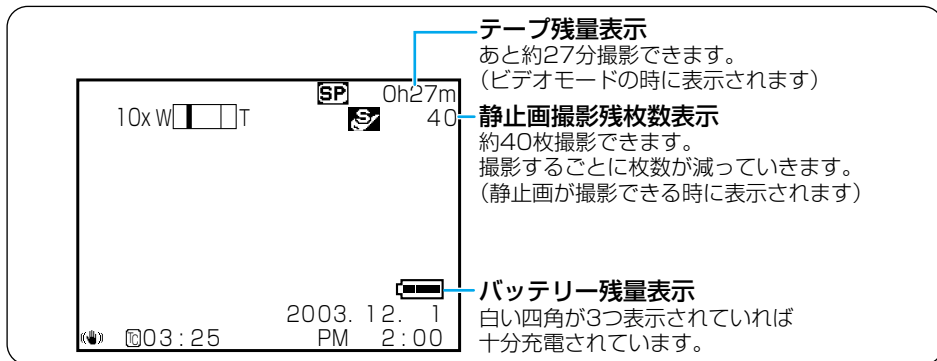
- 静止画では2種類、動画では1種類の画像サイズがあります。

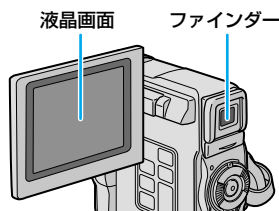


- メモリーカードに記録される静止画には、画質の良いファイン（F）とたくさん撮れるスタンダード（S）の2種類があります（☞P.97、166）。
- 静止画の画像サイズには、640×480ドット、1024×768ドットの2種類があり、数字が大きなものほどサイズが大きいことを表します（☞P.97、166）。一般に画像サイズが大きくなるほどきれいに印刷できますが、メモリーカードに記録できる枚数は少なくなります。印刷を目的としない場合には、小さな画像サイズに設定しておけば、より多くの枚数を撮ることができます。
- 動画の画像サイズは160×120ドットです。

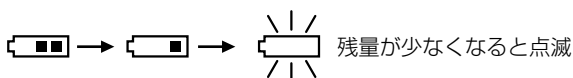
# 撮影する

## 画面表示を確認する

テープ、メモリーカード、バッテリーの残量を確認します。

### 1 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出す

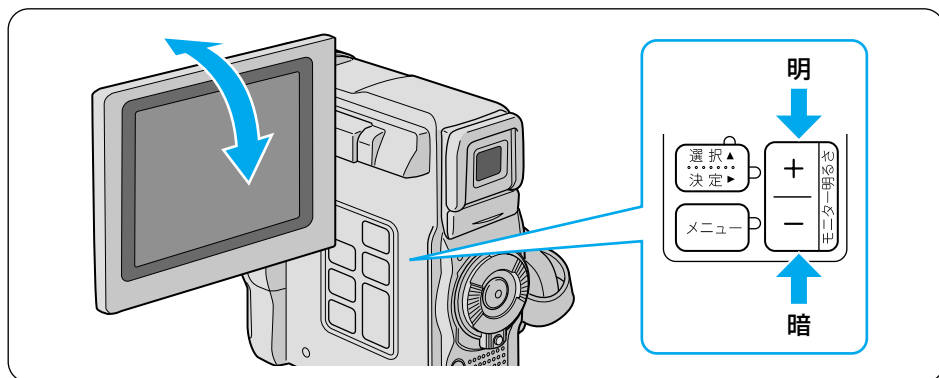
撮影画面が表示されます。

### 2 画面表示を確認する

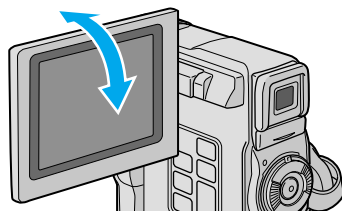
- バッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してください（☞P.35）。

残量が少なくなると点滅

- テープ残量が足りない場合は、テープを交換するか、または録画モードをLPにしてください（☞P.37、164）。
- メモリーカードの静止画撮影可能枚数が足りない場合は、メモリーカードを交換してください。または、不要な静止画を削除してください（☞P.39、71）。
- 静止画撮影可能枚数は、撮影画像、画像サイズ、画質モードの変更などによって増減します（☞P.59）。
- 入れたばかりのテープでは、テープ残量は表示されません。テープを10秒間ほど走行させて表示してください。
- テープ残量は目安としてお使いください。
  使用するカセットテープによっては、正しく表示されない場合があります。80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示が出るまでに多少時間のかかることがあります。

# Act.2　液晶画面やファインダーを調整する

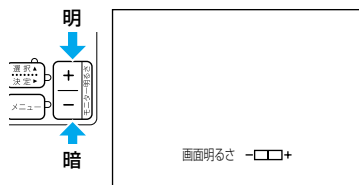
## 液晶画面を使うとき

画面表示や映像を見やすいように、液晶画面を調節します。

### 1 液晶画面の角度を調節する

- 液晶画面枠の上下に手を添えて、見やすい角度に傾けてください。

### 2 明るさを調節するには、「+」・「–」ボタンを押す

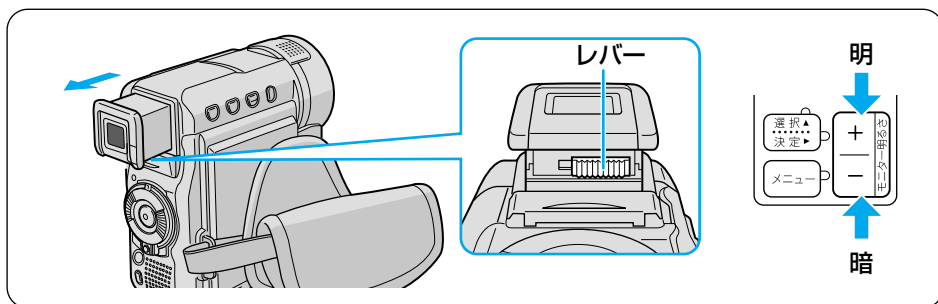
- 見やすい明るさに調節してください。

明るくする　→　「+」ボタン

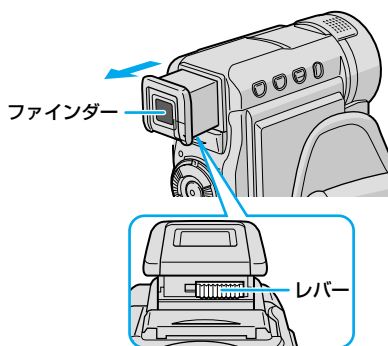
暗くする　　→　「–」ボタン

### 液晶画面とファインダー

液晶画面の表示とファインダー画面の表示は同じです。この取扱説明書では、液晶画面を使う場合を例にとって説明します。ファインダーを使用する場合は、液晶画面を開く代わりにファインダーを引き出してください（☞ 次ページ）。

## ファインダーを使うとき

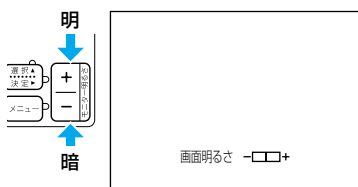
周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーで長時間撮影したいときは、ファインダーを使って撮影することをお勧めします。

### 1 ファインダーを引き出す

### 2 ファインダー内の画面の見え方を調節する

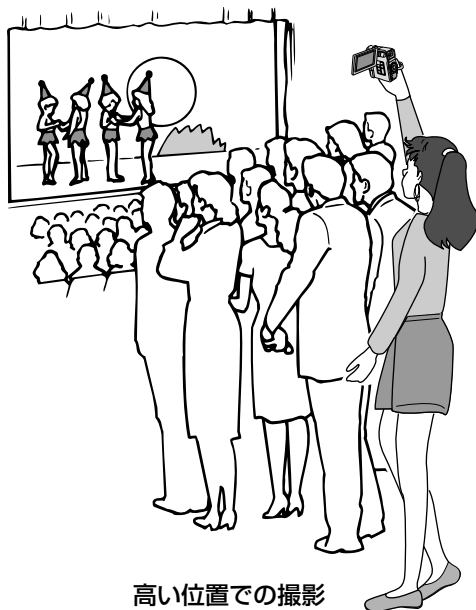
- ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止めてください。

### 3 明るさを調節するには、液晶画面を開いて「+」・「–」ボタンを押す

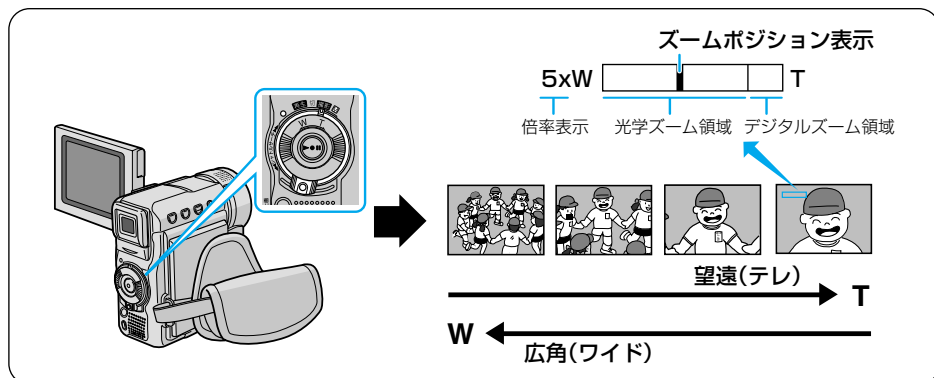
- システム設定メニュー（☞P.170）で、「優先設定」の設定を「ファインダー」に変更してから操作します。
- 見やすい明るさに調節してください。

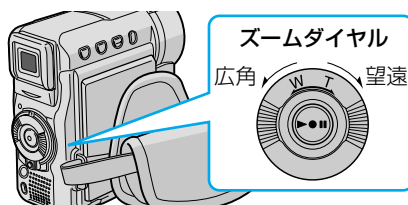
明るくする　→　「+」ボタン

暗くする　　→　「–」ボタン

# Act.3　カメラをかまえる

安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。ビデオカメラがふらつかないように、安定した姿勢をとりましょう。

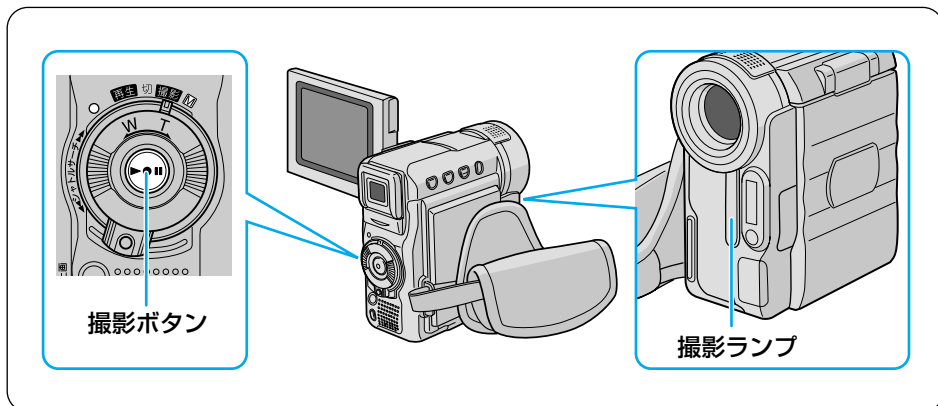
これだけは知っておこう編

# Act.4　撮影する範囲を調整する［ズーム］

ズームダイヤルを使って、撮影する範囲を調整できます。画面に被写体が小さく見えているときは望遠側（T）へ調整し、より広い範囲を画面に収めたいときは広角側（W）へ調整します。

## 1 ズームダイヤルを回す

- 望遠（遠くのものを大きくする）　→「T」
- 広角（撮影範囲を広げる）　→「W」

- 可変速ズーム　：ズームダイヤルは少し回すとゆっくり、いっぱいまで回すと早くズームできます。
- 最大ズーム倍率　：何倍までズーム可能にするかを変更できます。（☞ P.164）。
- 16 倍以上のズーム（デジタルズーム）　：16 倍までの映像に比べて、デジタル処理をするため多少映像品質が劣化します。
- 接写したいとき（マクロ撮影）　：W 側にいっぱいまで回すと、レンズから約 5cm まで被写体に近づいて撮影できます。

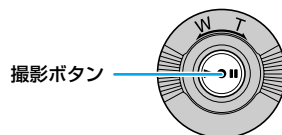
- 16 倍以上のズームが使用できない　：メモリーモードに設定すると使用できません。また、ビデオモードに設定していても、映像をデジタル処理する機能との併用はできません。
- 勝手に広角（W）になる　：T 側にいっぱいまで回すと、レンズから被写体を 1m 以上離さないとピントが合いません。ピントが合わないときは、自動的に W 側に調整されます。
テレマクロ機能を設定すると、T 側で約 60cm まで近づいて撮影できます（☞ P.167）。

# Act.5A　ビデオを撮影する

ボタン１つで、簡単に撮影できます。

## 1 撮影ボタンを押し、撮影をはじめる

- 「ポン」と音がするまで押してください。

画面に「録画」と表示されます。

ビデオカメラ中央部の撮影ランプが点灯します。

## 2 撮影をやめるには、もう一度撮影ボタンを押す

- 「ポポン」と音がするまで押してください。

画面に「ストップ」と表示されます。

撮影を停止した画面

SP 0h17m

ストップ

次へ続く

・ 実撮影時間の目安

| バッテリー | ファインダー使用時 | 液晶画面使用時 |
|---|---|---|
| BN-V107-S | 約40分 | 約30分 |
| BN-V114-S(別売) | 約1時間25分 | 約1時間5分 |
| VU-V840KIT※(別売) | 約3時間55分 | 約2時間55分 |
| VU-V856KIT※(別売) | 約5時間35分 | 約4時間10分 |

・ 連続撮影時間の目安（最大撮影時間）

| バッテリー | ファインダー使用時 | 液晶画面使用時 |
|---|---|---|
| BN-V107-S | 約1時間25分 | 約1時間5分 |
| BN-V114-S(別売) | 約2時間55分 | 約2時間10分 |
| VU-V840KIT※(別売) | 約7時間50分 | 約5時間50分 |
| VU-V856KIT※(別売) | 約11時間10分 | 約8時間20分 |

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード（VC-VBN856）でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使用します。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

撮影時間は、ズームを使ったり、撮影／撮影停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約３倍分ご用意されることをお勧めします。
実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返したときの撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。

● **あとで自動編集するときは**
無記録部分をつくらないように撮影してください。詳しくは「タイムコードと無記録部分」(☞ P.133)をご覧ください。

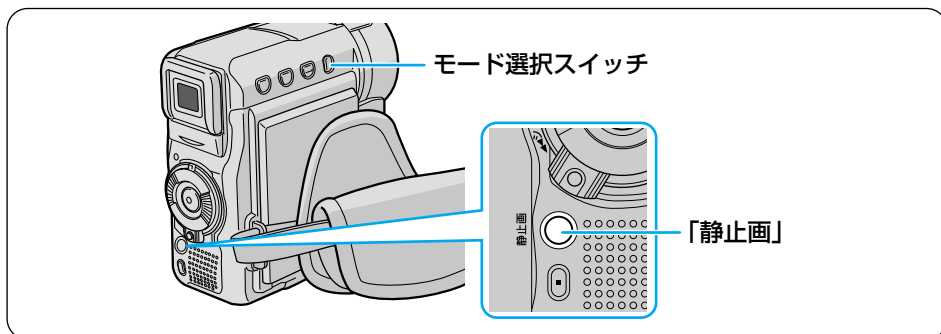
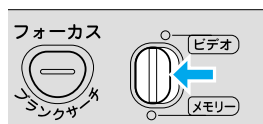
● **あとでインサート編集やアフレコ編集をするときは**
録画モードを SP にして撮影してください（☞ P.164)。
アフレコ編集をするときは、音声モードも 12bit にして撮影してください（☞ P.164)。
お買い上げ時には録画モードは SP、音声モードは 12bit に設定されています。

- **電源が切れてしまったら**
  撮影を停止してから５分経つと、ビデオカメラの節電とテープ保護のため自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。液晶画面をお使いのときは、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

- **バッテリー残量表示（▭が点滅）が出たら**
  バッテリーが少なくなっています。バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます（☞ P.50）。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

- **正常に録画できない**
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞ P.185）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

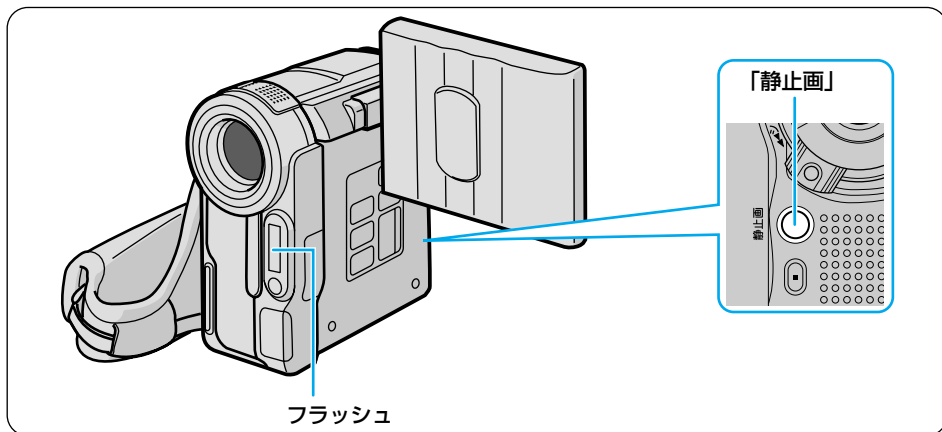
## Act.5B　静止画を撮影する

静止画の撮影も、ボタン１つでできます。

**1** **モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**

**2** **「静止画」ボタンを押す**

シャッター音がして、静止画が記録されます。

➡🄿 の矢印が点滅して静止画をメモリーカードに取り込みます。

## 周囲が暗いとき

周囲が暗いときに「静止画」ボタンを押すと、自動的にフラッシュが発光します。

- フラッシュを必ず発光させたり、発光しないようにしたり、フラッシュの明るさを調節することができます。(☞ P.99)
- ビデオ(動画)撮影中は、フラッシュは発光しません。

**撮影枚数の目安**

| 画像サイズ | 画質モード | マルチメディアカード | | | SD メモリーカード | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 8MB (同梱) | 16MB (別売) | 32MB (市販) | 8MB (市販) | 16MB (市販) | 32MB (市販) | 64MB (市販) |
| 640×480 | ファイン | 約55枚 | 約105枚 | 約215枚 | 約45枚 | 約95枚 | 約205枚 | 約405枚 |
| | スタンダード | 約190枚 | 約320枚 | 約645枚 | 約160枚 | 約295枚 | 約625枚 | 約1215枚 |
| 1024×768 | ファイン | 約24枚 | 約48枚 | 約100枚 | 約20枚 | 約45枚 | 約95枚 | 約190枚 |
| | スタンダード | 約75枚 | 約160枚 | 約320枚 | 約65枚 | 約145枚 | 約310枚 | 約605枚 |

動画をメモリーカードに記録すると、静止画の撮影枚数は少なくなります。

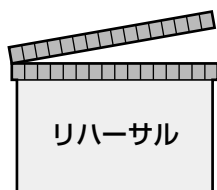
- 画質設定(モード)には、画質の良い順にファイン、スタンダードの２種類があります。画質設定を変更するときには(☞ P.97、166)
- 画像サイズを変更するときには(☞ P.97、166)

- 静止画撮影時は、手ぶれ補正機能が働きません。

# 上手に撮るコツは

## ビデオカメラを動かさない

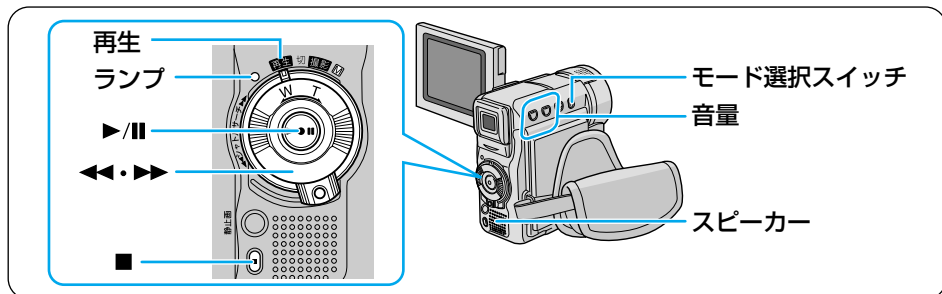
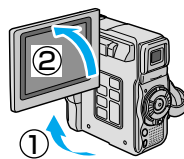
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。
左右に動くものを撮影したいときは水平に、高さのあるものは垂直にゆっくり動かします。そのときのコツは、撮り始めと撮り終わりでカメラをピタッと止めることです。

## カメラリハーサルを行う

撮影を始める前にカメラリハーサルをして、ビデオカメラの操作に慣れておきましょう。どのタイミングでどんな操作をするかシナリオを書いておくことで、本番の撮影がスムーズになります。
また、周りの明るさや被写体との距離なども事前にチェックして、それぞれ適切な状態で撮影できるように準備しておきます。

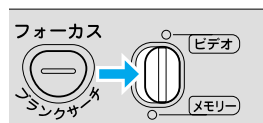
## いろいろなアングルで撮影する

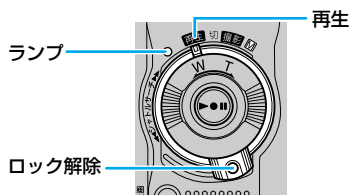
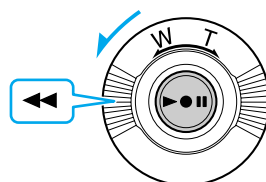
正面からだけでなくいろいろなアングルで撮影すると、同じ被写体でも印象の違う映像を撮影できます。液晶画面の傾きを、見やすいように調節してください。

## ビデオを再生する

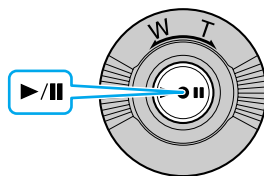
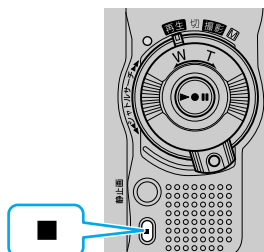
撮影した映像を、ビデオカメラの液晶画面で見ることができます。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

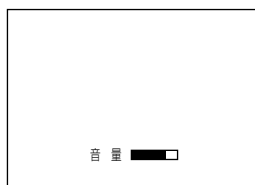
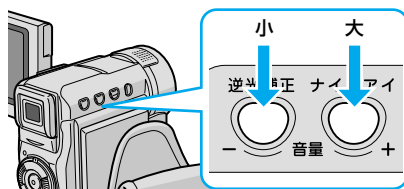
**2** モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ランプが点灯し、液晶画面に青い画面が表示されます。

**4** 「シャトルサーチ」ダイヤルを「◄◄」側に回して、テープを巻戻す

次へ続く

## 5 「▶/II」ボタンを押して、再生する

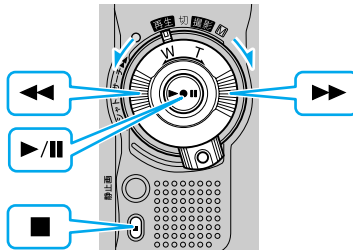
ビデオが再生されます。

## 6 見終わったら「■」ボタンを押して、テープを停止する

### スピーカーの音量を調節するには

ビデオの再生中に「音量＋」・「音量−」ボタンで、スピーカーの音量を調節できます。

- 大きくする → 「音量＋」ボタン
- 小さくする → 「音量−」ボタン

## ビデオの操作方法について

早送り再生やコマ送り再生をするには、再生中に次の操作を行います。

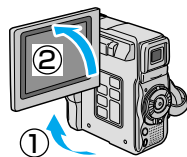
| | |
|---|---|
| 早送り再生 | ▶▶ を回す　または　回し続ける |
| 巻戻し再生 | ◀◀ を回す　または　回し続ける |
| 一時停止 | ▶/Ⅱを押す |
| コマ送り再生 | ▶/Ⅱを押したあとリモコンの◀Ⅰ・Ⅰ▶ボタンを押すと<br>Ⅰ▶ 正転コマ送り<br>◀Ⅰ 逆転コマ送り |

通常の再生に戻すには、「▶/Ⅱ」ボタンを押します。
リモコンでも操作できます（☞ P.31）。
リモコンを使うと、スロー再生もできます（☞ P.32）。

- 早送り再生、巻戻し再生は９倍速で再生します。
- 一時停止の状態が約３分続くと、自動的に停止します。
- 停止の状態が約５分続くと、自動的に電源が切れます（ACアダプターを使用していない場合）。

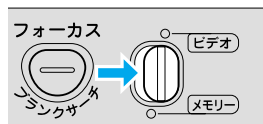
- 早送り／巻戻し再生中やスロー再生中は、映像がみだれることがあります。
- 正転スロー再生を約５分、または逆転スロー再生を約５分（80分テープのときは20秒）続けると自動的に通常再生に戻ります。
- 「▶/Ⅱ」ボタンを押すと、映像が一時停止します。その後、青い画面が表示されることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ビデオカメラのヘッドを清掃してください（☞ P.185）。

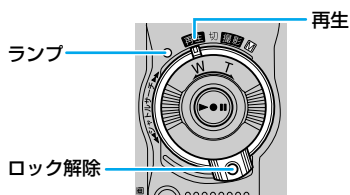
## 無記録部分を探す［ブランクサーチ］

ビデオテープの中にある５秒間以上の無記録部分を探します。
途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生してしまったときなどに、撮影開始点を効率よく見つけることができます。

### 1 液晶画面を開く

① 上に開く

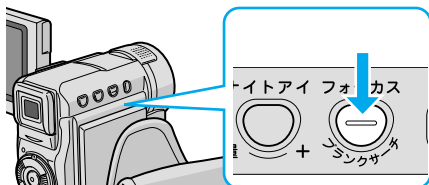
② 90 度回転させる

### 2 モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

### 3 ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

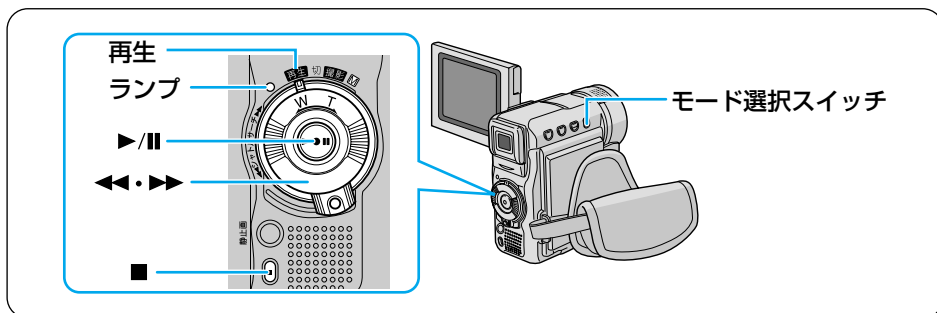
ランプが点灯し、液晶画面に青い画面が表示されます。

### 4 「ブランクサーチ」ボタンを押す

ブランクサーチがスタートします。

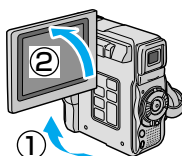
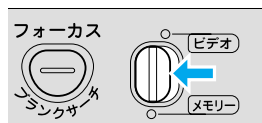
無記録部分を見つけると、約３秒手前で自動的に停止します。

- ブランクサーチを中止するには、「■」ボタンを押します。

- ５秒間以上の無記録部分があると、その先に映像があっても停止します。停止した位置以降に映像が記録されていないか、録画を開始する前によく確認してください。
- ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、無記録部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。
- 無記録部分の約３秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約３秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、録画スタート位置を確認してください。

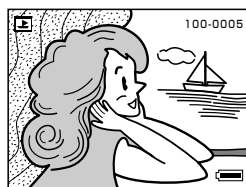
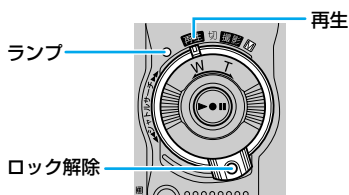
## 静止画を再生する

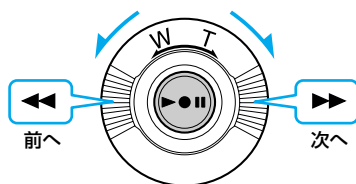
撮ったその場で静止画を確認できます。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ランプが点灯し、液晶画面に最後に撮影した静止画が再生されます。

- 直前に動画などの操作を行ったときは、静止画が再生されません。次ページの「静止画が再生されないときは」の手順を行ってください。

## 4 「シャトルサーチ」ダイヤルを「◀◀」側に回して、前の静止画を再生する

● 次の静止画を再生するには「▶▶」側に回してください。

### 連続再生の操作方法について

静止画を連続して再生するには、手順４で次の操作を行います。

| 連続再生（正方向） | ▶/Ⅱを押す |
|---|---|
| 連続再生（逆方向） | 連続再生（正方向）中に◀◀を押す |
| 停止 | 連続再生中に■を押す |

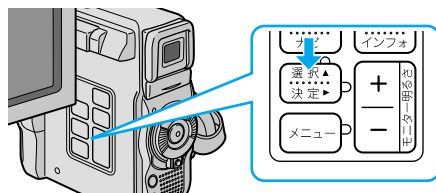
リモコンでも操作できます（☞ P.31）。

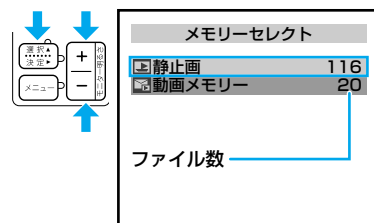
### 静止画が再生されないときは

次の手順で静止画を再生します。

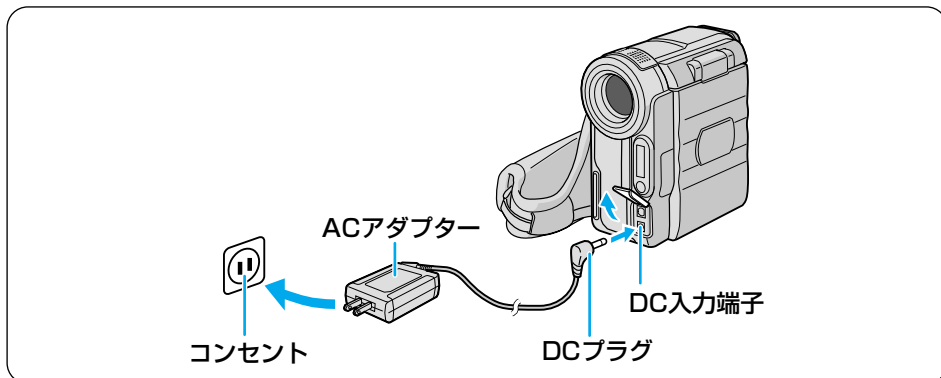
## 1 「選択」ボタンを押す

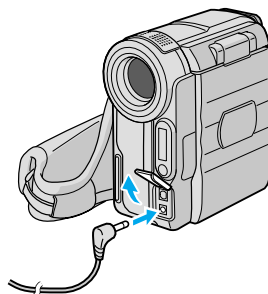
メモリーセレクト画面が表示されます。

画面の数字は、それぞれのファイル数を表しています。

## 2 「＋」・「－」ボタンを押して「静止画」を選び、「決定」ボタンを押す

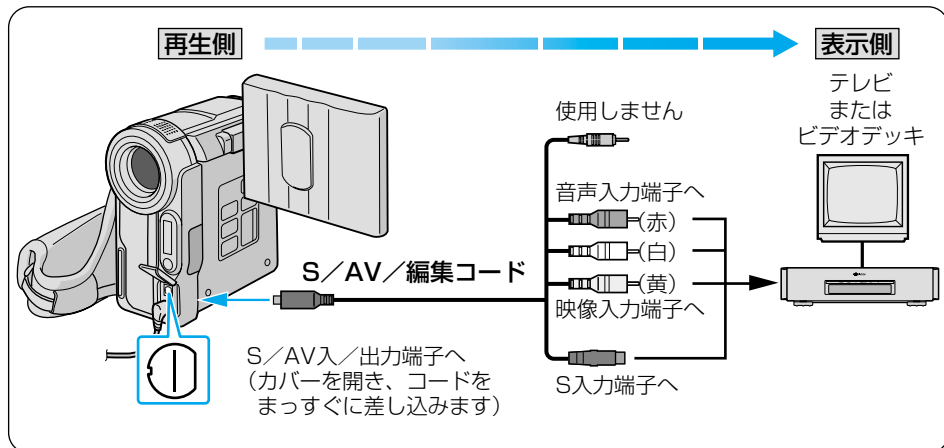
液晶画面に静止画が再生されます。

● 静止画を再生したあとに撮影を行った場合、最後に撮影された画像の次に撮影されます。すでに撮影した画像に上書きされることはありません。
● メモリーカードに記録された静止画像ファイルはDCF（Design rule for Camera File systems）に対応しています。DCF対応していない機器との互換性はありません。

## コンセントの電源で使う

室内で撮影または再生するときは、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ると、バッテリーの消費を気にせず使用できます。

**1** ACアダプターをコンセントに差し込む

**2** ACアダプターのDCプラグをビデオカメラのDC入力端子に差し込む

- ACアダプターは、海外でも使用できます（☞ P.196）。

# テレビで見る

みんな揃ってビデオを見たいときには、ご家庭のテレビなどにビデオカメラを接続すると便利です。

## 接続する

ビデオカメラをテレビやビデオデッキに接続するには、付属品のS／AV／編集コードを使用します。

### 1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する

- ACアダプターの取り付け（☞P.68）

### 2 「S／AV入／出力」端子に、S／AV／編集コードを接続する

### 3 テレビやビデオデッキの映像入力端子と音声入力端子に、S／AV／編集コードを接続する

- テレビやビデオデッキにS入力端子があるときは、S入力端子へも接続します。より高画質の映像をお楽しみいただけます。

## 再生する

**1** **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる**

**2** **テレビの電源を入れる**

- ビデオデッキに接続している場合は、ビデオデッキの電源も入れます。

**3** **テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する**

- テレビに接続したとき
  テレビの入力モードを、ビデオカメラを接続した端子に切り替えます（例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオカメラ」など）。
- ビデオデッキに接続したとき
  テレビを、ビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に設定します。

テレビ画面が青くなります。

**4** **再生する**

- ビデオを再生するには（☞P.61）
- 静止画を再生するには（☞P.66）

## 画面の文字や記号を隠すには

再生日時／表示設定メニューで、次のように設定してください（☞P.163）。

- 画面表示切替 → モニターまたは切
- 日時表示 → 切
- タイムコード → 切

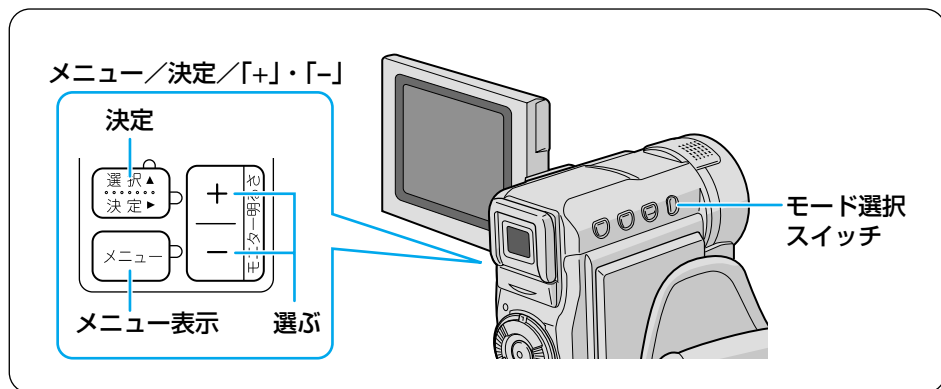
- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生映像をズームしたい（☞P.128）
- 再生映像に変化を付けたい（☞P.129）

- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ビデオカメラのヘッドを清掃してください（☞ P.185）。

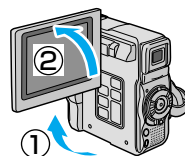
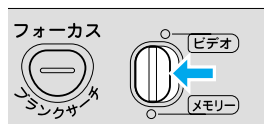
# メモリーカードの静止画を削除する



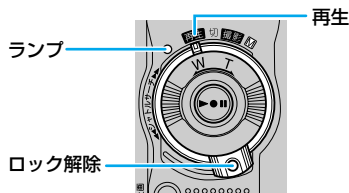
## 静止画を選択して削除する

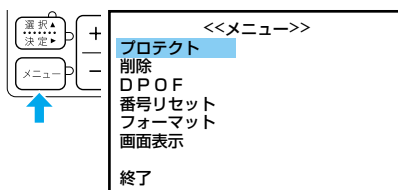
メモリーカードに空きがなくなると静止画を撮れなくなります。新しいメモリーカードと交換するか、不要な静止画を削除してください。
ここでは、静止画を削除してメモリーカードの空きを増やす方法を説明します。

**1** 液晶画面を開く

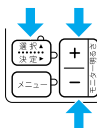
① 上に開く

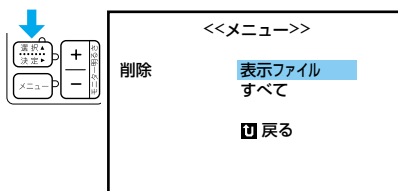
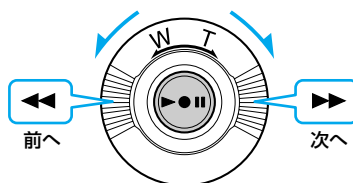
② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

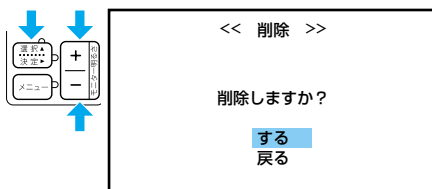
液晶画面に静止画が表示されます。

- 静止画が表示されないときは
  （☞ P.67）

# メモリーカードの静止画を削除する

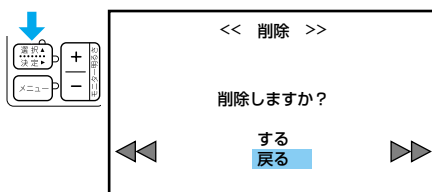
**4** 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

**5** 「+」・「−」ボタンを押して「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「すべて」が表示されます。

**6** 「決定」ボタンをもう一度押す

削除画面が表示されます。

**7** 「シャトルサーチ」ダイヤル「◀◀」または「▶▶」側に回して、削除したい静止画を表示する

**8** 「+」・「−」ボタンを押して「する」を選び、「決定」ボタンを押す

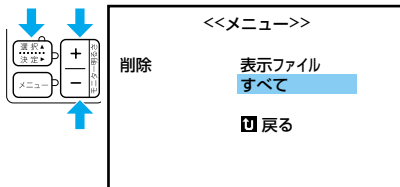
表示されている静止画が削除されます。

**9** 他の静止画も削除したいときは、手順７～８を繰り返す

**10** **静止画の削除を終了するときは、「戻る」が選ばれていることを確認して「決定」ボタンを３回押す**

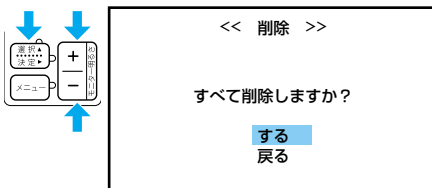
静止画の再生画面に戻ります。

## すべての静止画を削除する

ここでは、すべての静止画を削除してメモリーカードを空にする方法を説明します。

**1** **「静止画を選択して削除する」（☞P.71）の手順６で「+」・「–」ボタンを押して「すべて」を選び、「決定」ボタンを押す**

削除画面が表示されます。

**2** **「+」・「–」ボタンを押して「する」を選び、「決定」ボタンを押す**

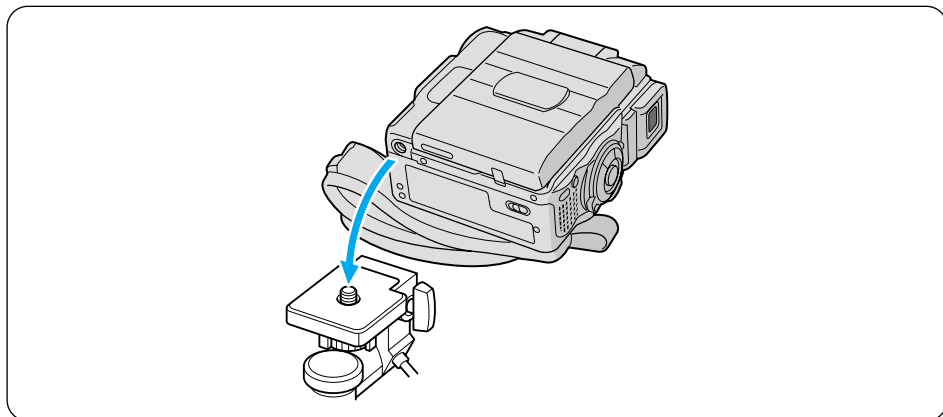
静止画がすべて削除されます。

- 削除をやめるには「戻る」を選びます。

- SD カードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、静止画は削除できません（☞P.41）。
- プロテクトした静止画は、上記の操作で削除されません（☞P.158）。プロテクトした静止画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞P.160）。

**ご注意**

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、AC アダプターをお使いになることをお勧めします。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した静止画は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

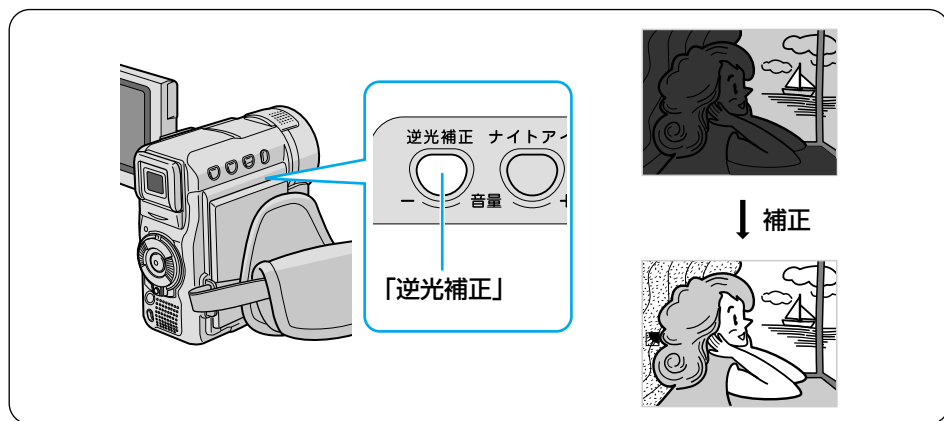
# 三脚を使って撮影する

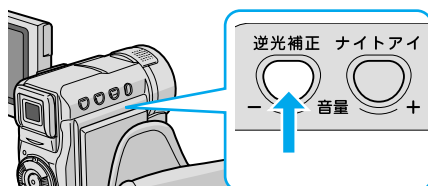
三脚を使用するとビデオカメラが安定し、記念撮影やズーム機能を使った撮影で役立ちます。

**1** 三脚のネジとビデオカメラ底面のネジ穴を合わせる

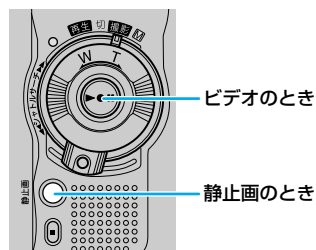
**2** 三脚のネジを回して固定する

- ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。

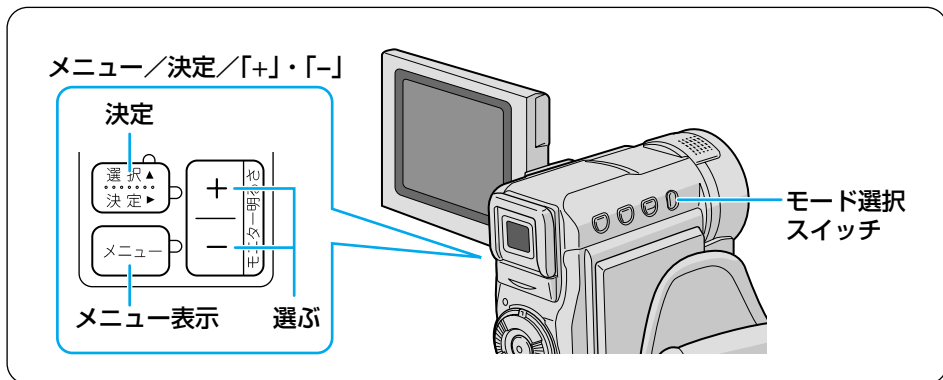
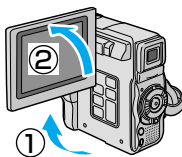
# 被写体の後ろに太陽があるとき［逆光補正］

太陽に向かって撮影すると、太陽を背にした被写体（人物）が暗くなって撮影されます。
このようなときに「逆光補正」ボタンを押すと、被写体が明るく補正されます。

**1** 「逆光補正」ボタンを押す

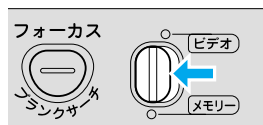
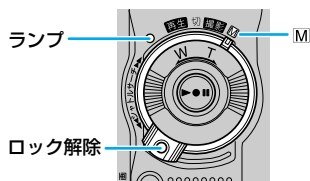
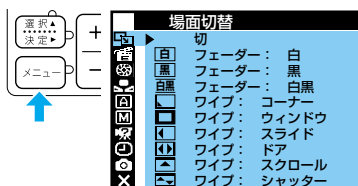
画面に逆光補正マーク（ ）が表示されます。

**2** 撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押して撮影する

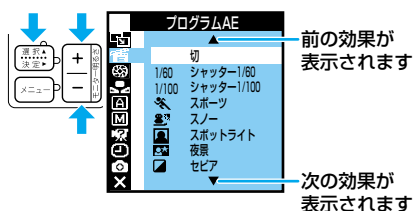
**3** 逆光補正を解除するには、もう一度「逆光補正」ボタンを押す

- 「逆光補正」ボタンを使うと、被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。
- より適切な明るさに調節したいときは、明るさ補正メニューで設定してください（☞P.102）。

# 動きの速いものを撮影する［スポーツモード］

被写体の明るさに合わせてシャッター速度を自動的に調節して、走っている人物など動きの速い被写体をブレなく鮮明に撮る方法を説明します。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「Ⓜ」の位置に合わせる

**4** 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

## 5 「+」・「–」ボタンを押して「 」を選び、「決定」ボタンを押す

プログラム AE メニューが表示されます。

## 6 「+」・「–」ボタンを押して「スポーツ」を選び、「決定」ボタンを押す

## 7 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

画面の左側に「 」と表示されます。

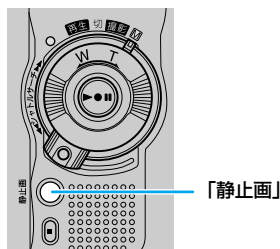
### スポーツモードの設定を解除するには

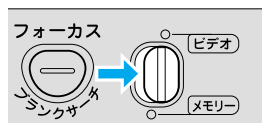
手順６で「切」を選んでください。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、スポーツモードは一時的に解除されます。

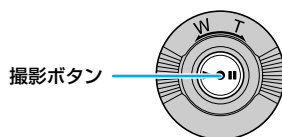
# 動きの速いものを撮影する［スポーツモード］

## 撮影する

### 静止画を撮る

**1** 「静止画」ボタンを押して、静止画を撮影する

### ビデオを撮る

**1** モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**2** 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する

- ビデオの場合は、再生時に一時停止したときのブレが抑えられます。

- スポーツモードを使うには、高速スピードで撮影するために、通常より画面が暗くなります。明るい場所で撮影してください。

# 暗い場所で撮影する［ナイトアイ］

暗い場所で赤ちゃんの寝顔を撮影したいときに効果的です。
シャッタースピードを自動的に調節し、被写体を通常より最大 30 倍（このときのシャッタースピードは 1/2 秒）まで明るく浮かび上がらせて撮影できます。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「Ⓜ」の位置に合わせる

**4** 「ナイトアイ」ボタンを押す

画面にナイトアイマーク（ A ）が表示されます。

- 明るい場所では、一時的に通常の撮影に戻ります（通常の撮影に戻っている間は「 」の横の「A」が消えます）。

撮影・初級テクニック編

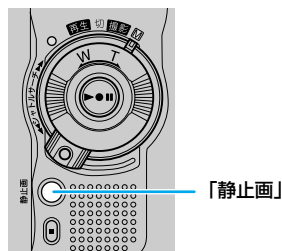
# 暗い場所で撮影する［ナイトアイ］

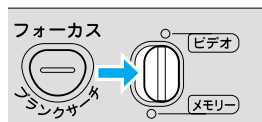
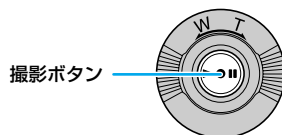
## ナイトアイを解除するには

「ナイトアイ」ボタンを押します。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、ナイトアイは一時的に解除されます。

## 撮影する

### 静止画を撮る

**1** 「静止画」ボタンを押して、静止画を撮影する

### ビデオを撮る

**1** モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**2** 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する

# 暗い場所で撮影する、いろいろな方法

このビデオカメラには、ナイトアイのほかにも暗い場所で撮影するための機能があります。

## 夜景など、遠い場所にある被写体を撮影するときには

プログラム AE の「夜景」メニューを使用すれば、映像がザラザラせず、より自然な感じの映像を記録することができます（☞P.112）。

## 薄暗い場所にある被写体を撮影するときには

フルオート設定メニューの「感度アップ」を使用します（☞P.164）。
「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

## 静止画を撮影するときは

フラッシュを発光させると、被写体を明るく撮影できます。



- ナイトアイ使用中は、フラッシュは使用できません。

- ナイトアイ機能を有効にした場合、暗い場所では被写体がブレて撮影されることがあります。また、ピントが合いにくくなります。ブレを防ぐためにビデオカメラを三脚などで固定し（☞P.74）、ピントを手動で合わせて（☞P.104）撮影してください。
- ナイトアイ使用中に通常の撮影に戻った場合、電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせたときよりも、画面が少し暗くなります。画面を暗くしたくないときは、プログラム AE を「切」にするか、電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせてください。

# ビデオテープに静止画を撮る [記念写真モード]

ビデオの中に写真のような静止画を挿入できます。被写体の表情を印象的に撮影したいときなどに効果的です。
記念写真モードは、次の３種類から選択できます。

フルモード

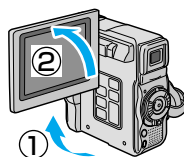
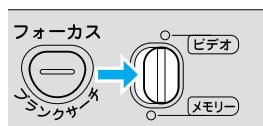
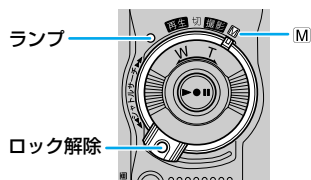
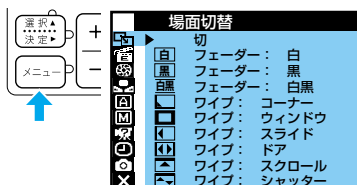
ピンナップモード

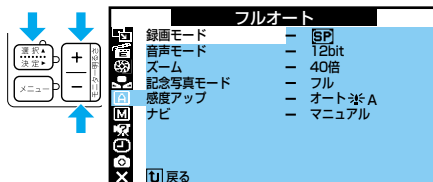
フレームモード

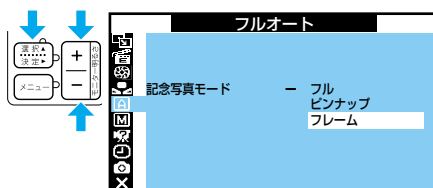
## 静止画の見せ方を変更する

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

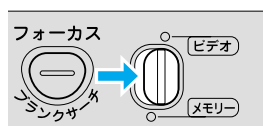
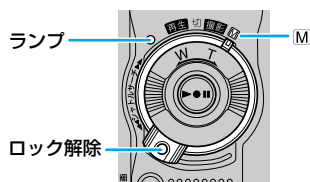
② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「M」の位置に合わせる

**4** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

**5** 「+」・「–」ボタンを押して「A」を選び、「決定」ボタンを押す

フルオート設定メニューが表示されます。

**6** 「+」・「–」ボタンを押して「記念写真モード」を選び、「決定」ボタンを押す

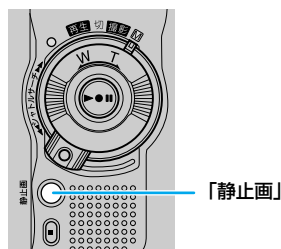
**7** 「+」・「–」ボタンを押して使用する記念写真モードを選び、「決定」ボタンを押す

**8** 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

# ビデオテープに静止画を撮る［記念写真モード］

## ビデオテープに静止画を記録する

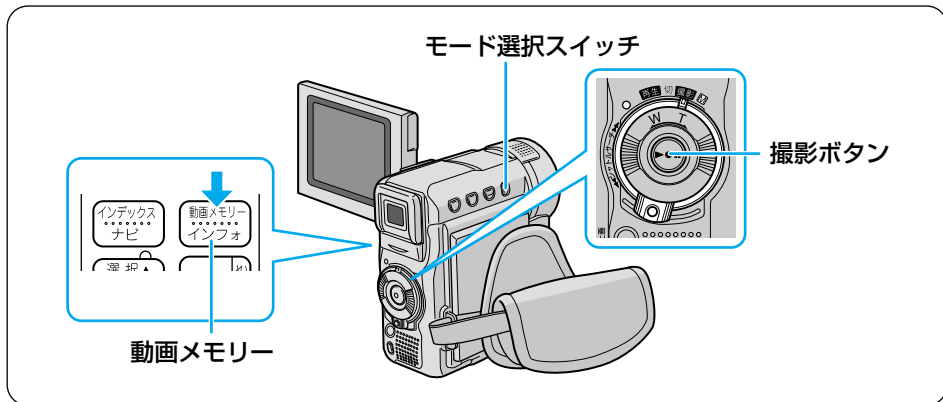
**1** モード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**2** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる

**3** 「静止画」ボタンを押す

液晶画面の映像が約６秒間停止し、指定したモードで音声とともにテープに記録されます。

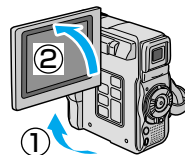
- 押し続けると、約１秒ごとに連写します。
- ビデオの撮影停止中でも、ビデオテープに静止画を記録することができます。

- 記録選択設定を「➡📼／➡Ⓜ」に変更すると、ビデオテープへの記録と同時にメモリーカードにも静止画が記録されます（☞P.166）。
- ビデオ再生中の映像に記念写真モードの効果を加えることもできます。「📼➡Ⓜ コピー設定」（☞ P.123）を「切」にしてご使用ください。
- ビデオの撮影中に静止画を記録するときは、フラッシュは発光しません。

- 静止画撮影ができないときは、静止画ボタンを押したときに「PHOTO」が点滅します。
- プログラム AE（☞ P.112）の中には、静止画撮影時に働かないものがあります。このようなときは、プログラム AE アイコンが青く点滅してお知らせます。

# メモリーカードに動画を撮る［動画メモリー］

撮影した動画をメモリーカードに記録できます。（撮影ごとに最長３分まで記録できますが、実際に記録できる時間はメモリーカードの残り記録時間によって異なります）
撮影した動画をパソコンに取り込めば（☞P.156）、パソコン上で再生したり電子メールに添付して送るなど、いろいろな用途に使えます。

## メモリーカードに動画を記録する

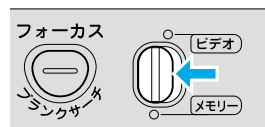
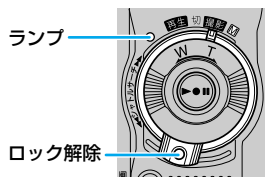
**1** **液晶画面を開く**

① 上に開く

② 90 度回転させる

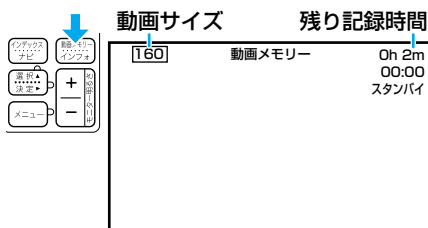
**2** **モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**

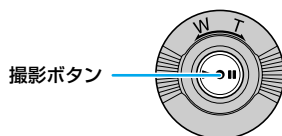
**3** **ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる**

次へ続く

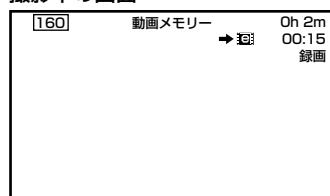
撮影・初級テクニック編

# メモリーカードに動画を撮る［動画メモリー］

## 4 「動画メモリー」ボタンを押す

画面上部に動画サイズと残り記録時間が表示されます。

## 5 撮影ボタンを押し、撮影をはじめる

撮影をはじめると同時に、の矢印が点滅して動画をメモリーカードへ取り込みはじめます。

## 6 撮影をやめるには、もう一度撮影ボタンを押す

画面に「保存中」と表示され、手順１の画面の状態に戻ります。

- 撮影を開始してから３分経った場合やカードの残り記録時間がなくなった場合は、自動的に撮影を終了して、静止画の撮影モードに戻ります。

## 7 動画の記録をやめるには、「動画メモリー」ボタンを押す

静止画の撮影モードに戻ります。

- 動画を記録しているときに、ビデオカメラのスピーカーの音量を変更しても、動画に記録される音量は変化しません。

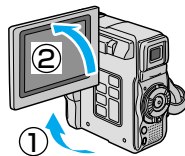
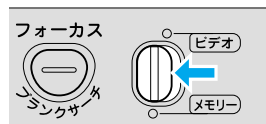
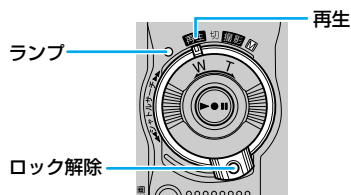
- 動画圧縮方式はMPEG4に対応しており、パソコンではWindows Media™ Player（Windows版、Macintosh版ともにVer6.4以降）を使用して再生できます。詳しくはソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

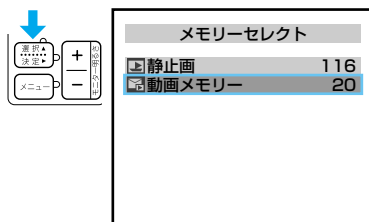
※Windows Media™は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

# 動画を再生する

## *1* 液晶画面を開く

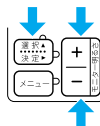
① 上に開く

② 90 度回転させる

## *2* モード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

## *3* ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

## *4* 「選択」ボタンを押す

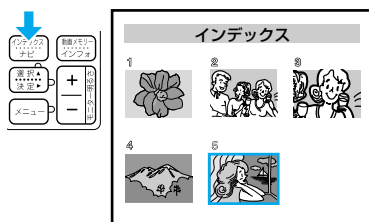
メモリーセレクト画面が表示されます。

## *5* 「+」・「−」ボタンを押して「動画メモリー」を選び、「決定」ボタンを押す

動画の画面が表示されます。



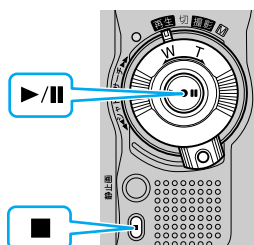
次へ続く

# メモリーカードに動画を撮る [動画メモリー]

## 6 「インデックス」ボタンを押す

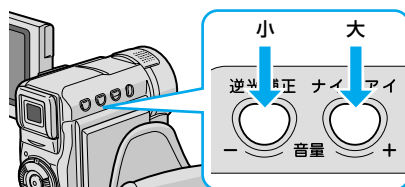
動画インデックス画面が表示されます。

## 7 「+」・「−」ボタンを押して再生したい動画を選び、「決定」ボタンを押す

選択した動画の画面が表示されます。

## 8 「▶/II」ボタンを押して再生する

- 動画の再生を途中でやめるときは、「■」ボタンを押します。

### スピーカーの音量を調節するには

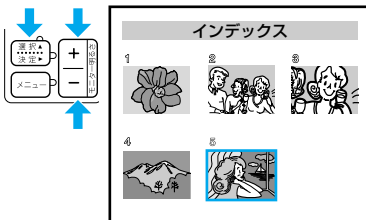
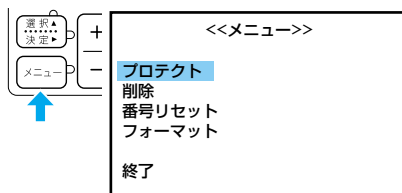
動画の再生中に「音量＋」・「音量−」ボタンで、スピーカーの音量を調節できます。

- 大きくする → 「音量＋」ボタン
- 小さくする → 「音量−」ボタン

### 他の動画を再生したいときは

「インデックス」ボタンを押し、手順７～８を繰り返します。

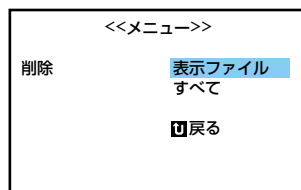
## 動画を削除するには

**1** 「動画を再生する」の手順７で、「+」・「–」ボタンを押して削除したい動画を選び、「決定」ボタンを押す

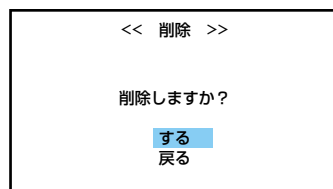
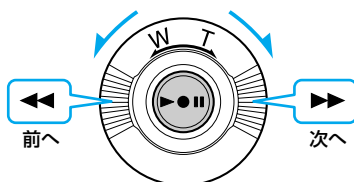
選択した動画の画面が表示されます。

**2** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

**3** 「+」・「–」ボタンを押して「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「すべて」が表示されます。

**4** 「+」・「–」ボタンを押して「表示ファイル」を選び、「決定」ボタンを押す

削除画面が表示されます。

**5** 「+」・「–」ボタンを押して「する」を選び、「決定」ボタンを押す

動画が削除されます。

次へ続く

**6** **他の動画も削除したいときは、「シャトルサーチ」ダイヤルを回して削除する動画を選ぶ**

**7** **動画の削除を終了するときは、「戻る」が選ばれていることを確認して「決定」ボタンを3回押す**

**8** **静止画などの操作を行いたいときは、「選択」ボタンを押す**

メモリーセレクト画面が表示されます。

### すべての動画を削除するときは

手順4で「すべて」を選んでください。表示された画面で「する」を選んで「決定」ボタンを押すと、動画がすべて削除されます。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、動画は削除できません（☞P.41）。
- プロテクトした動画は、上記の操作で削除できません（☞P.158）。プロテクトした動画を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞P.160）。

ご注意

- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、ACアダプターをお使いになることをお勧めします。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した動画は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

# 頭出しをするためのデータを記録する［DV ナビ］

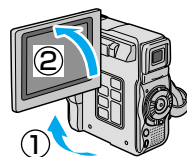
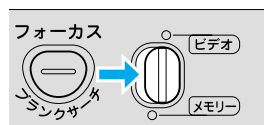
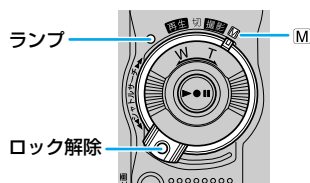
頭出しをするためのデータをメモリーカードに記録しておくと、再生時に撮影開始位置の頭出しが簡単にできます。頭出しするためのデータ（頭出しデータ）を記録するには、撮影時に自動的に記録する方法と、「ナビ書込み」ボタンを押して記録する方法があります。あとで再生しながら頭出しデータを追加することもできます（☞P.120）。
カセットテープとメモリーカードの両方が入っていないと、頭出しデータは記録できません。あらかじめ、両方が入っていることを確認してください。

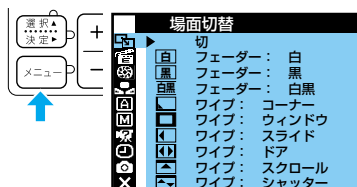
## 自動的に記録するように設定する

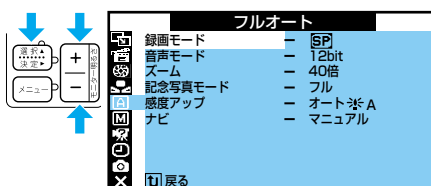
出荷時の設定では、撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押したときだけ頭出しデータを記録します（☞P.94）。撮影時に自動的に記録するには、フルオート設定メニューで設定を変更します。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

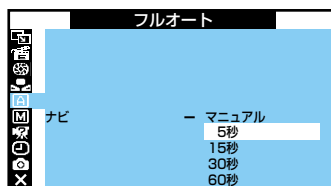
② 90 度回転させる

**2** モード選択スイッチを「ビデオ」に合わせる

**3** ロック解除ボタンを押したまま電源ダイヤルを回し、「Ⓜ」の位置に合わせる

**4** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

次へ続く

## 5 「+」・「–」ボタンを押して「A」を選び、「決定」ボタンを押す

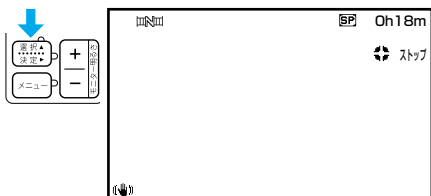
フルオート設定メニューが表示されます。

## 6 「+」・「–」ボタンを押して「ナビ」を選び、「決定」ボタンを押す

「マニュアル」「5秒」「15秒」「30秒」「60秒」が表示されます。

## 7 「+」・「–」ボタンを押して秒数を選び、「決定」ボタンを押す

- 詳しくは、次ページの「秒数の選びかた」をご覧ください。

## 8 「決定」ボタンを2回押して撮影画面に戻る

画面上部に「 」マークが表示されます。

- マークが点滅している間は頭出しデータの記録ができません。点灯に変わるまでお待ちください。
- しばらくたってもマークが点滅しているときは、メモリーカードが入っていないことを示します。メモリーカードを入れてください（☞P.39）。

## 秒数の選びかた

撮影を開始しても頭出しデータはすぐには記録されず、手順７で設定した秒数よりも長く撮影したときにだけ記録されます。次の２つの例を参考に、使い方に合わせて選択してください。

**例１：どの場面も頭出しできるようにしたいとき**
５秒に設定すると比較的短い場面でも頭出しデータが記録されます。そのため、ほとんどの場面をナビ機能で見つけだせます。
短い場面をたくさん撮影する場合は、大容量のメモリーカードを使用してください。

**例２：メモリーカードの容量を節約したいとき**
短い場面をたくさん撮影する場合、すべての場面の頭出しデータがメモリーカードに記録されると、頭出しデータでメモリーカードが一杯になることがあります。60秒に設定すると長さが60秒以上の比較的長い場面の頭出しデータだけが記録され、メモリーカードの容量を節約できます。

**例３：特定の場面だけ頭出しできれば良いとき**
「マニュアル」に設定すると、場面の長さに関わらず、撮影停止の後に「ナビ書込み」ボタンを押した場面だけ頭出しデータを記録します。記録する場面を選べるので頭出しデータの数が少なくなり、再生するときに頭出しがより簡単になります。メモリーカードの容量の節約にもなります。

# 頭出しをするためのデータを記録する［DV ナビ］

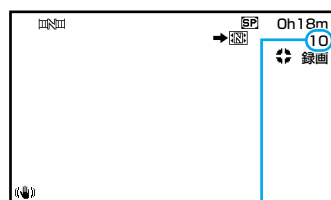
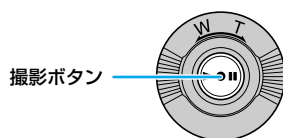
## 撮影する

### 自動的に記録する

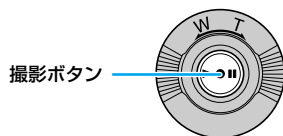
「自動的に記録するように設定する」の手順7で「5秒」～「60秒」に設定した場合、撮影時に頭出しデータが自動的に記録されます。

**1 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する**

撮影を開始してから設定した秒数がたつと「[N]」マークが画面に表示され、頭出しデータが記録されます。

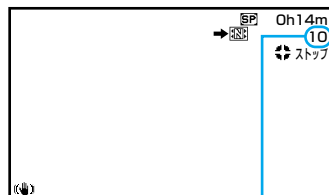
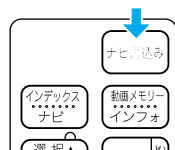
- 撮影時間が設定した秒数に満たない場合、頭出しデータは記録されません。
- メモリーカードに記録できる頭出しデータが10以下になると、画面に残数が表示されます。

### 撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押して記録する（出荷時の状態）

撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押して頭出しデータを記録します。

**1 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する**

**2 もう一度撮影ボタンを押して、撮影を停止する**

## 3 「ナビ書込み」ボタンを押す

「N」マークが表示され、頭出しデータが記録されます。

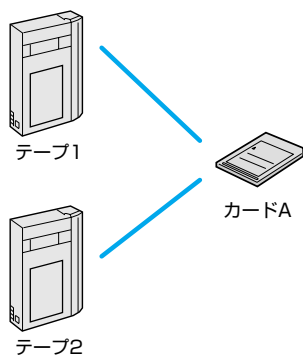
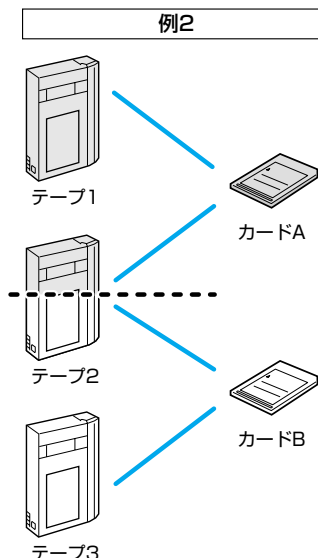
- メモリーカードに記録できる頭出しデータが 10 以下になると、画面に残数が表示されます。

頭出しデータの残数表示

## 頭出しをする

テープの再生中または停止中に、「ナビ」ボタンを押します（☞P.119）。

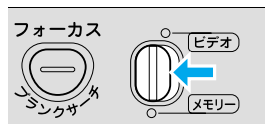
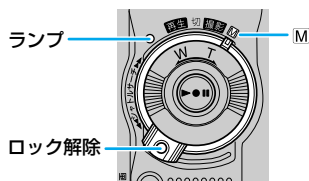
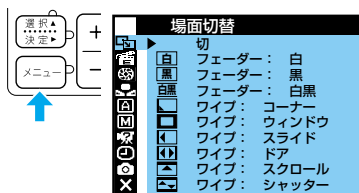
撮影・初級テクニック編

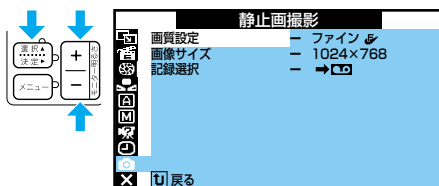
# 頭出しをするためのデータを記録する［DVナビ］

- 他社製のビデオカメラ、およびDVナビ機能がないビデオカメラで撮影されたビデオテープでは、頭出しを追加できないことがあります。
- DVナビを使用するときは無記録部分（テープに何も記録されていない部分）を作らないようにしてください。誤動作の原因になります。
- 頭出しデータを記録されたテープの上に新しく撮影しても、前に撮影した頭出しデータはメモリーカードに残っています。頭出しデータ（ナビ画像）を削除してから撮影してください（☞P.121）。
- 液晶画面に黄色の「カード表示」（☞P.205）が点滅するときは、カード情報を読み込んでいます。このときは頭出しデータは記録されませんが、カード読み込み完了後のデータを記録します。
- 撮影後に、テープのお好きな位置を選んで頭出しデータを追加することもできます（☞P.120）。ただし、他社製のビデオカメラ、およびナビ機能がないビデオカメラで撮影されたビデオテープでは、頭出しをすることができません。
- 「記録選択」（☞P.166）を「➡📼／➡🅼」に変更しているときは、静止画の撮影残枚数が表示されます。頭出しデータの残数は表示されません。
- 例１のように、１本のテープには１枚のメモリーカードが対応するようにご使用になることをお勧めします。
  １本のテープの撮影途中にメモリーカードを入れ替えると、例２のようにテープ２にカードＡとカードＢの２枚のメモリーカードが対応することになります。そのため、テープ２の前半を頭出しするときはビデオカメラにカードＡを入れ、テープ２の後半を頭出しするときはカードＢに入れ替えなくてはならなくなります。

# 静止画のサイズや画質を変更する

静止画のサイズには、640 × 480 ドット、1024 × 768 ドットの２種類があります。また、２種類のそれぞれに高画質のファインと、たくさんの枚数が撮影できるスタンダードがあります。
出荷時は 1024 × 768 ドットのファインに設定されていますので、静止画の用途や目的に合わせて設定を変更してください。

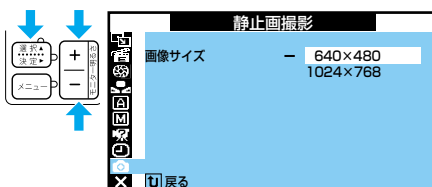
## 静止画のサイズを変更する

**1** **モード選択スイッチを「メモリー」に合わせる**

**2** **「Ⓜ」の位置に合わせる**

**3** **「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する**

**4** **「+」・「−」ボタンを押して「📷」を選び、「決定」ボタンを押す**

静止画撮影設定メニューが表示されます。

**5** **「画像サイズ」を選び、「決定」ボタンを押す**

「640 × 480」「1024 × 768」が表示されます。

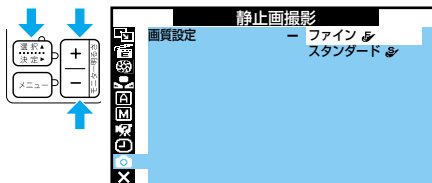
次へ続く

**6** 使用する静止画のサイズを選び、「決定」ボタンを押す

**7** 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

## 静止画の画質を変更する

**1** 「静止画のサイズを変更する」の手順４で「画質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

「ファイン」「スタンダード」が表示されます。

**2** 使用する画質を選び、「決定」ボタンを押す

**3** 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

- 撮影画面では、ファインモードは 、スタンダードモードは と表示されます（☞ P.205）。

# 撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

## フラッシュの状態を設定する

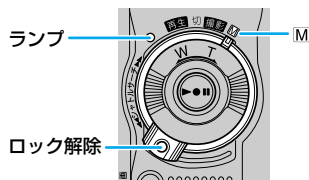
静止画撮影時のフラッシュの設定は、４種類のモードから選択できます。

**切** ･･････････････････フラッシュは発光しません。
**オート** ･････････････周囲が暗いときに、自動的に発光します。通常は、このモードに設定します。
**オート◉** ･････････被写体の目が赤く撮影されるのを抑えます。
**入** ･･････････････････フラッシュを必ず発光させます。

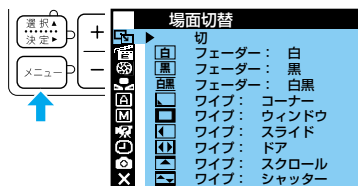
上記の設定は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定したときのみ有効です。「撮影」に設定すると、「オート」に戻ります。

### フラッシュを必ず発光させる

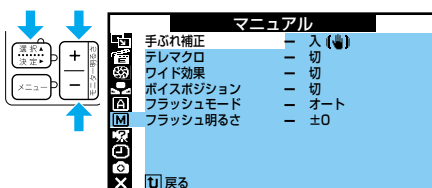
被写体にあたる光が強く、被写体の陰影がつきすぎるときは、フラッシュを使って静止画を撮影すると陰影を抑える効果があります。また、人の顔を撮影するときにフラッシュを使うと、光の反射で生き生きとした瞳を表現できます。このような撮影をするときは、フラッシュを必ず発光させるように設定します。

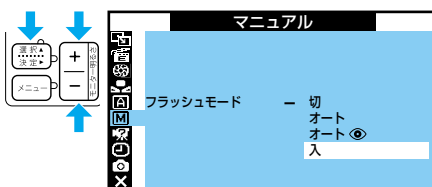
**1** 「Ⓜ」の位置に合わせる

**2** 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

撮影・上級テクニック編

次へ続く

# 撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

**3** 「＋」・「－」ボタンを押して「M」を選び、「決定」ボタンを押す

マニュアル設定[M]メニューが表示されます。

**4** 「フラッシュモード」を選び、「決定」ボタンを押す

**5** 「入」を選び、「決定」ボタンを押す

**6** 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

ご注意
- 至近距離では、フラッシュを人に向けて発光させないでください。

- **離れた被写体を撮影するときは**
  フラッシュの光で映像が白っぽくなるのを防ぐため、フラッシュ発光時にビデオカメラは自動的に画面を暗くして撮影します。そのため、フラッシュの光が届かないと静止画は逆に暗くなります。約2m以上離れた被写体を撮影するときは、「切」に設定してフラッシュを発光させないでください。

- **フラッシュが発光しない**
  ビデオ(動画)の撮影中は発光しません。
  画面に⚡が表示されないときは発光しません。
  明るさが十分な場合など、状況によっては発光しません。(☞P.99)
- **⚡が点滅し、画面にノイズがでる**
  フラッシュの充電中です。充電が完了して、⚡が点灯してから撮影してください。
- **フラッシュが2度発光する**
  オート👁に設定すると、1度目は赤目軽減のため、2度目は撮影のために発光します。

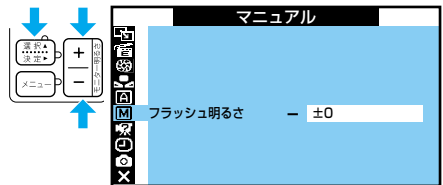
## フラッシュの明るさを調節する

撮影した静止画でフラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、フラッシュの明るさを調節します。

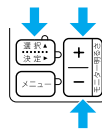
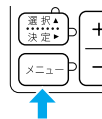
### 1 「フラッシュを必ず発光させる」(☞ P.99) の手順１～３を行う

マニュアル設定[M]メニューが表示されます。

### 2 「フラッシュ明るさ」を選び、「決定」ボタンを押す

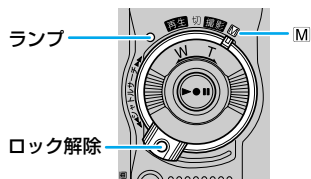
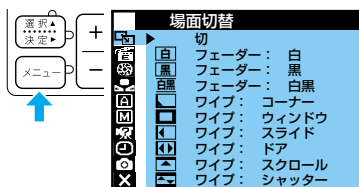
数値を変更できるようになります。

### 3 「＋」・「−」ボタンを押して数値を変更し、「決定」ボタンを押す

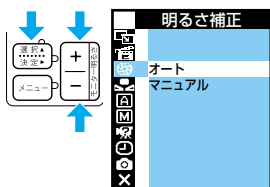
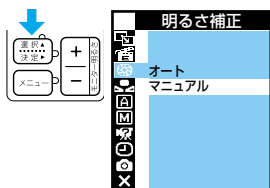
明るくする →「＋」ボタン(＋３まで)

暗くする →「−」ボタン(−３まで)

### 4 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

- 被写体や撮影場所が変わったときは、手順３で「±０」に設定し、フラッシュの明るさを確認してください。

## 画像の明るさを調整する［明るさ補正］

太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるときは、「逆光補正」ボタン（☞P.75）やプログラムAEメニューの「スポットライト」機能（☞P.112）を使用すると簡単に明るさを調整できます。
しかし、周囲の明るさによっては、「逆光補正」ボタンや「スポットライト」機能では最適な結果を得られないことがあります。より詳細に調整したいときは、次の手順で設定してください。

**1** 「M」の位置に合わせる

**2** 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

**3** 「+」・「−」ボタンを押して「▣」を選び、「決定」ボタンを押す

明るさ補正メニューが表示されます。

**4** 「マニュアル」を選び、「決定」ボタンを押す

## 5 「+」・「–」ボタンを押して数値を変更し、「決定」ボタンを押す

明るくする →「+」ボタン(+6まで)

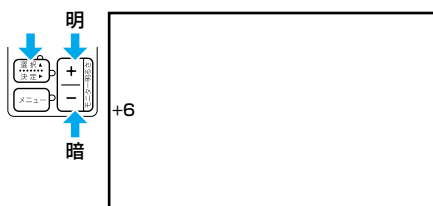
暗くする　→「–」ボタン(–6まで)

明

暗

+6

撮影画面に戻ります。

- 「+3」は、「逆光補正」ボタンと同じ効果です。
- 「–3」は、プログラムAEメニューの「スポットライト」機能と同じ効果です。

### 一定の明るさで撮影するには

動きのある被写体を撮影するときやズーム操作を行うときには、画面の明るさを一定に保ちたいことがあります。このようなときは次の操作をしてください。

## 1 上の手順5で数値を変更したあと、「決定」ボタンを2秒以上押す

画面に🅻と表示されます。

- ここで数値を変更することもできます。数値を変更した場合は、再び「決定」ボタンを2秒以上押します。

## 2 もう一度「決定」ボタンを押す

表示が🄻に変わり、明るさが固定されます。

### 自動調節に戻すには

前ページの手順4で「オート」を選択してください。

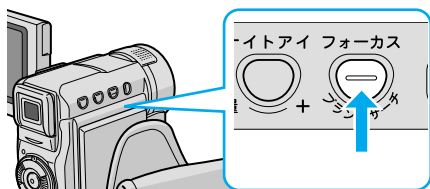
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、明るさの調節を一時的に自動調節に戻すことができます。

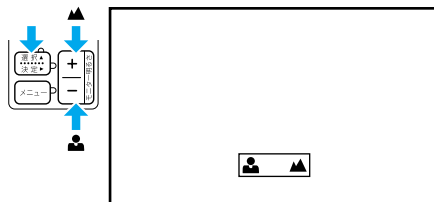
# 撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

## ピントを手動で合わせる［マニュアルフォーカス］

このビデオカメラは、約５センチ（☞P.54）から無限遠まで自動的にピントを合わせるオートフォーカス機能を備えています。ただし、画面中央の被写体にピントを合わせるため、被写体が画面端にいるときは間違った距離にピントが合ってしまうことがあります。また、被写体や周囲の条件によっては、オートフォーカス機能が正しく動作しないこともあります。
このようなときは、ピントを手動で合わせてください。

**1** 「Ⓜ」の位置に合わせる

**2** 「フォーカス」ボタンを押す

**3** 「+」・「−」ボタンを押して、ピントを合わせる

- ピントを合わせたい被写体が
  遠くにある　→「+」ボタン（▲）
  近くにある　→「−」ボタン（👤）

**4** 「決定」ボタンを押す

ピントが固定されます。

### オートフォーカスに戻すには

「フォーカス」ボタンを２回押します。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、一時的に自動調節（オートフォーカス）に戻ります。

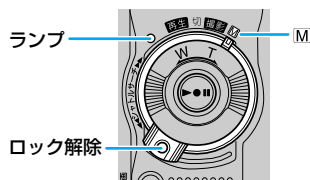
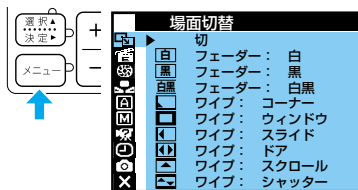
- ズーム操作をするときは、ピントを合わせる前に望遠（T）側に設定しておき、ピントを合わせてから広角（W）側に調節するとピントがずれません。
- **こんなときに手動でピントを合わせます**
  - 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
  - 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
  - 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
  - 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

# 画像の色合いを調節する［白バランス］

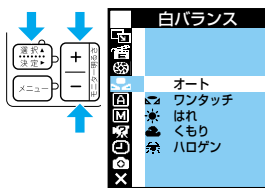
ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候や撮影用ライトなど、光源の状態によっては自然な色合いを再現できないことがあります。
液晶画面やファインダーで色合いが不自然なときは、白バランスを変更して撮影してください。白バランスの設定は、５種類のモードから選択できます。

**オート** ・・・・・・・・・・自動的に色のバランスを調節します。
**ワンタッチ** ・・・・被写体の色をより正しく撮影したいときに選択します（☞P.107）。
**はれ** ・・・・・・・・・・晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
**くもり** ・・・・・・・・曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
**ハロゲン** ・・・・・・撮影用ライトなどの照明の下で撮影するときに選択します。

上記の設定は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定したときのみ有効です。「撮影」に設定しているときは「オート」と同じ動作をします。

## 1 「Ⓜ」の位置に合わせる

## 2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

## 3 「+」・「−」ボタンを押して「」を選び、「決定」ボタンを押す

白バランスメニューが表示されます。

次へ続く

# 撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

**4** モードを選び、「決定」ボタンを押す

- 「 ワンタッチ」を選択するときは、次ページの「白バランスを正確に設定する」を参照してください。

**5** 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

## 白バランスを自動調節に戻すには

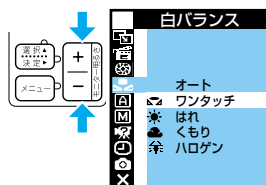
手順４で「オート」を選びます。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、一時的に自動調節（オート）に戻ります。

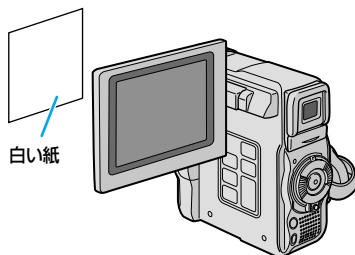
## 白バランスを正確に設定する

白バランスを調節すると、被写体をより正しい色で撮影できます。

**1** 「画像の色合いを調節する」(☞P.105)の手順１～３を行う

白バランスメニューが表示されます。

**2** 「+」・「–」ボタンを押して「ワンタッチ」を選ぶ

**3** ビデオカメラと被写体の間に白い紙を置き、画面全体に表示する

- 裏の透けない紙(コピー用紙など)をお使いください。

**4** 「決定」ボタンを押しつづけ、「」の点滅が止まったら指を離す

白バランスが記憶されました。紙を外してください。

**5** 「決定」ボタンを２回押して、撮影画面に戻る

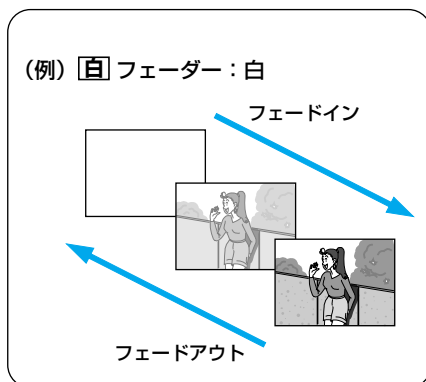
- 被写体に当たっている光源によって画像の色合いも変わります。被写体に当たっている光源が変わったときは、再度白バランスを調節してください。
- 設定した白バランスは、再度白バランスを設定するまで有効です。

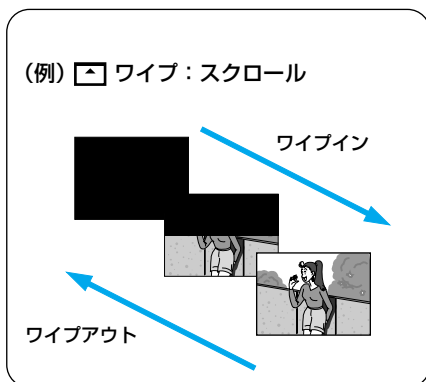
# 場面の切り替え部に効果を入れる

## 場面切替の種類［フェーダー］［ワイプ］

ビデオの場面と場面のつなぎ目に、効果を入れて変化をつける方法を説明します。まず、映像がどのようにつながるのかをイラストを使って説明します。

### 1）フェーダー効果

撮り始めは画面が徐々に浮かび上がり（フェードイン）、撮り終わりは徐々に消えていきます（フェードアウト）。

### 2）ワイプ効果

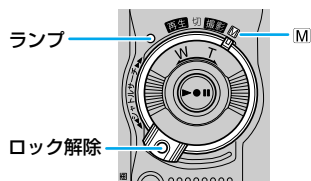
撮り始めは画面がある方向に向かってすべり込むように映し出され（ワイプイン）、撮り終わりは逆の方向に向かって消えていきます（ワイプアウト）。

場面切替には、次の９種類の効果があります。

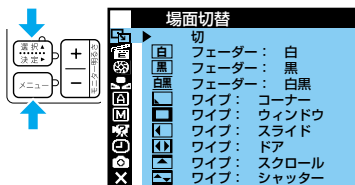
| アイコン | 機能名称 | 効　果 |
|---|---|---|
| — | **切** | 「場面切替」を使用しないときに選択します。 |
| 白 | **フェーダー：白** | 白い画面でフェードイン、フェードアウトします。 |
| 黒 | **フェーダー：黒** | 黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。 |
| 白黒 | **フェーダー：白黒** | 白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。 |
|  | **ワイプ：コーナー** | 黒い画面の右上から左下に向かって映像が徐々にワイプインし、左下から右上に向かってワイプアウトします。 |
|  | **ワイプ：ウィンドウ** | 黒い画面の中央から外に向かって映像が徐々にワイプインし、画面の外から中央に向かってワイプアウトします。 |
|  | **ワイプ：スライド** | 黒い画面の右から左に向かって映像が徐々にワイプインし、左から右に向かってワイプアウトします。 |
|  | **ワイプ：ドア** | 黒い画面の中央から左右にドアを開けるように映像が徐々にワイプインし、閉めるようにワイプアウトします。 |
|  | **ワイプ：スクロール** | 黒い画面の下から上に向かって映像が徐々にワイプインし、上から下に向かってワイプアウトします。 |
|  | **ワイプ：シャッター** | 黒い画面の中央から上下に向かって映像が徐々にワイプインし、上下から中央に向かってワイプアウトします。 |

# 場面の切り替え部に効果を入れる

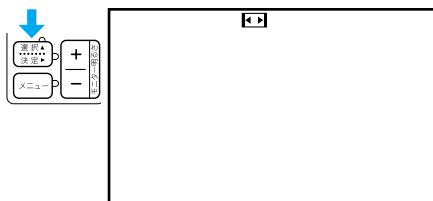
## 場面切替を設定する

場面切替の効果を設定する方法を説明します。

**1** 「M」の位置に合わせる

**2** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

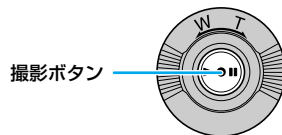
場面切替メニューが表示されます。

**3** 「+」・「−」ボタンを押して使用する効果を選び、「決定」ボタンを押す

**4** 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

選択した効果のアイコンが画面の上部に表示されます。

## 撮影する

**1** **撮影ボタンを押して、撮影を開始する**

設定した場面切替の効果が挿入されます。

- 違う場面切替の効果を使いたいときは、前ページの手順２から設定をし直してください。

### 場面切替を解除するには

前ページの手順３で「切」を選んでください。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、一時的に場面切替が解除されます。

撮影・上級テクニック編

- **アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。**
- **場面切替設定とプログラムAE設定（☞P.112）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、プログラムAE設定と一緒に使えない場面切替があります。
  場面切替設定アイコンが青く点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

# 映像に変化をつける［プログラムAE］

## プログラムAEの種類

次にあげる10種類のプログラムAEを使って、映像に変化をつけて撮影できます。

| アイコン | 機能名称 | 効　果 |
|---|---|---|
| ── | 切 | 「プログラムAE」を使用しないときに選択します。 |
| 1/60 | シャッター1/60 | シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。 |
| 1/100 | シャッター1/100 | シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ） |
|  | スポーツ（1/250～1/4000） | 被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。 |
|  | スノー | 晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞P.75）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。 |
|  | スポットライト | スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。 |
|  | 夜景 | 夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます（☞P.105）。ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。 |
|  | セピア | 古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞P.167）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。 |
| B/W | 白黒 | 映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。 |

| アイコン | 機能名称 | 効　果 |
|---|---|---|
|  | 映画効果 | 早いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。<br>（ビデオモードのみ） |
|  | ストロボ | コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。<br>（ビデオモードのみ） |

## プログラム AE を設定する

プログラム AE を設定する方法を説明します。

**1** 「Ⓜ」の位置に合わせる

ランプ
Ⓜ
ロック解除

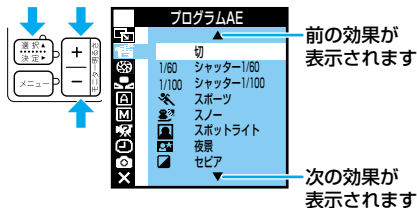
**2** 必要に応じてモード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

- 「メモリー」では使えない効果があります。

**3** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

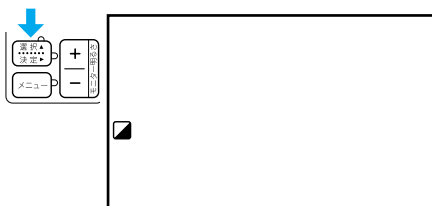
**4** 「+」・「−」ボタンを押して「」を選び、「決定」ボタンを押す

プログラム AE メニューが表示されます。

撮影・上級テクニック編

# 映像に変化をつける［プログラム AE］

**5** 使用するプログラム AE を選び、決定する

**6** 「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

画面にプログラム AE の効果が加えられ、画面の左側にアイコンが表示されます。

## プログラム AE を解除するには

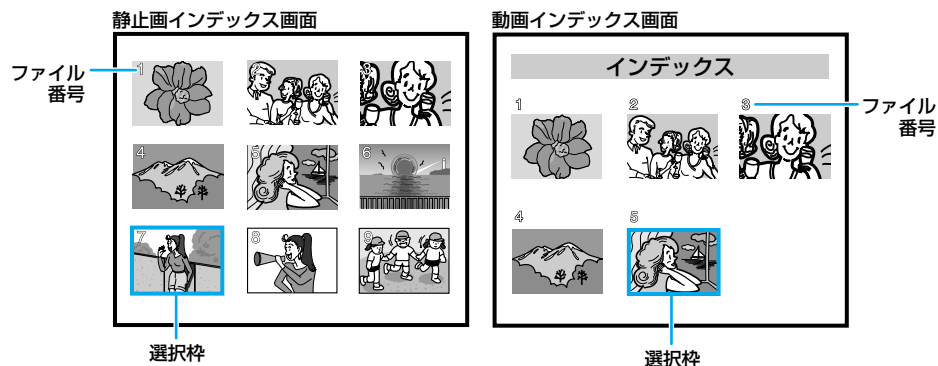
手順５で「切」を選んでください。
電源ダイヤルを「撮影」の位置に合わせると、一時的にプログラム AE が解除されます。

- **アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は使用できません（☞ P.182）。**
- **プログラム AE 設定と場面切替設定（☞ P.108）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えないプログラム AE があります。プログラム AE 設定アイコンが青く点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **シャッターモードを使うときは**
  シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100 の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。
- **スポーツモードを使うときは**
  高速スピードで撮影するために、通常より画面が暗くなります。
  明るい場所で撮影してください。

# メモリーカードの内容を一覧表示する

ここでは、メモリーカード内のファイル（静止画、動画）を一覧表示したり、ファイルの情報を表示したりする方法を説明します。カセットテープの頭出しデータを一覧表示するには「頭出しをする[DVナビ]」（☞P.119）をご覧ください。

## インデックス画面

メモリーカードの内容を一覧表示します。インデックス画面には、「静止画」と「動画」の２つがあります。
「静止画」、「動画」のインデックス画面は再生したい静止画・動画を選ぶときに使用します。
表示方法と操作については「インデックス画面の使いかた」（☞P.117）をご覧ください。

**ファイル番号**　：メモリーカードに記録した順に番号が表示されます。
**選択枠**　：「+」・「–」ボタンを押すと枠線が移動します。ファイルを選ぶときには、この枠線を目的の静止画や動画に移動します。

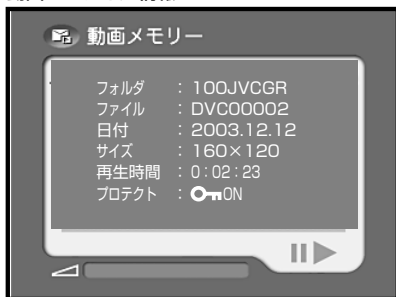
再生を工夫しよう編

# メモリーカードの内容を一覧表示する

## ファイル情報

静止画や動画を表示しているときには、それぞれのファイル情報（日付や画像サイズなど）を確認することができます。
表示方法と操作方法については、次の「インデックス画面の使いかた」をご覧ください。

静止画のファイル情報

動画のファイル情報

**フォルダ**　：メモリーカード内のフォルダ名が表示されます。
**ファイル**　：ファイル名が表示されます
**日付**　：撮影した日付、またはファイルを作成した日付が表示されます。
**サイズ**　：画像サイズが表示されます。
**画質（静止画のみ）**　：記録した静止画の画質が表示されます。
画質モードには、画質の良い順にファインとスタンダードの2種類があります（☞P.97、166）。
**再生時間（動画のみ）**　：ファイルを再生したときの再生時間が表示されます。
**プロテクト**　：ファイルにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、「ON」と表示されます（☞P.158）。

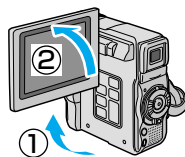
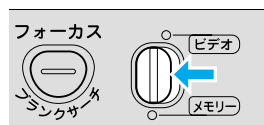
- ほかのビデオカメラで撮影した静止画の場合、画質が「―――」と表示されることがあります。

## インデックス画面の使いかた

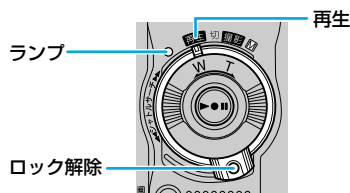
ここでは、静止画のインデックス画面を例にとって説明します。

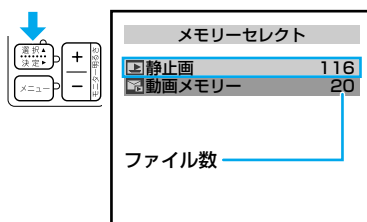
### 1 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

### 2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

### 3 「再生」の位置に合わせる

液晶画面に静止画か動画のどちらかが表示されます。

- 操作したいファイルが表示されている場合は、このまま手順６に進みます。

### 4 「選択」ボタンを押す

メモリーセレクト画面が表示されます。

### 5 「+」・「–」ボタンを押して「静止画」を選び、「決定」ボタンを押す

静止画が画面に表示されます。

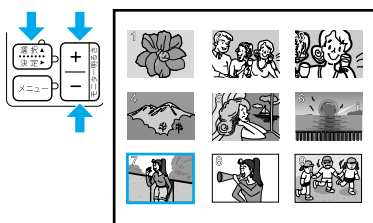
### 6 「インデックス」ボタンを押す

静止画インデックス画面が表示されます。

次へ続く

## 7 「+」・「–」ボタンを押して枠線を再生したい静止画に合わせ、「決定」ボタンを押す

選んだ静止画が画面全体に表示されます。

- 「シャトルサーチ」ダイヤルを回すと、ページ単位で表示を切り替えられます。
- 操作するファイルの種類（動画、静止画）を選び直すときは、手順４に戻って操作します。

## 8 ファイル情報を確認するには、「インフォ」ボタンを押す

ファイル情報が表示されます。

- ファイルの表示画面に戻るには、もう一度、「インフォ」ボタンを押します。
- インデックス画面でファイルを選んでいるときに「インフォ」ボタンを押すことでも、ファイル情報を表示できます。

### ファイルを削除するには

削除するファイルを手順７で選び、「決定」ボタンを押します。以後の操作については「動画を削除するには」(☞ P.89)をご覧ください。

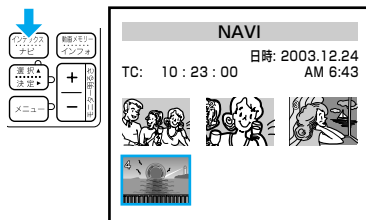
# 頭出しをする［DVナビ］

撮影時に記録した頭出しデータ（☞P.91）を使って、見たいシーンの頭出しをすることができます。

- 頭出しデータは、ビデオ撮影時にセットされていたメモリーカードに記録されています。頭出しおよび頭出しデータを追加するには、カセットテープに撮影したときにセットしていたメモリーカードが必要です。

## 1 テープの再生中または停止中に、「ナビ」ボタンを押す

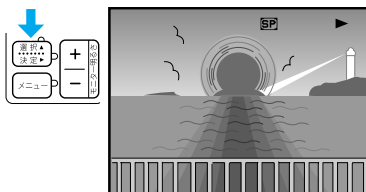
ナビインデックス画面が表示されます。

- 再生中の場合は、再生が自動的に停止します。

## 2 「+」・「−」ボタンを押して頭出しをしたい場面を選ぶ

- 「シャトルサーチ」ダイヤルを回すと、ナビインデックス画面のページを切り替えられます。
- 場面の選択をキャンセルするには、もう一度「ナビ」ボタンを押します。

## 3 「決定」ボタンを押す

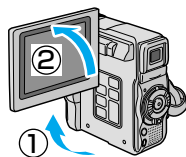
自動的に頭出しを行い、再生を開始します。

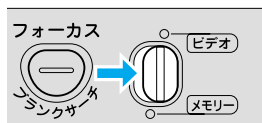
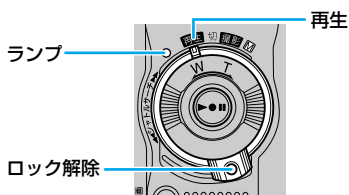
- 頭出しをキャンセルするには、「■」または「▶」ボタンを押します。

- 記録した頭出しデータの位置と、頭出し再生したときの位置には、誤差がでることがあります。
- メモリーカード内の「NAVI」フォルダを、パソコンを使ってほかのメモリーカードにコピーしても、コピーしたメモリーカードでは頭出しはできません。

# 頭出しをする［DV ナビ］

## 頭出しするためのデータを追加する

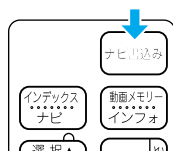
**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

**2** スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**3** 「再生」の位置に合わせる

**4** ビデオを再生し、頭出しを行いたい場面で「ナビ書込み」ボタンを押す

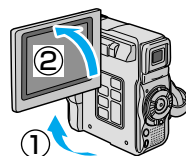
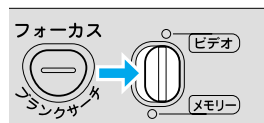
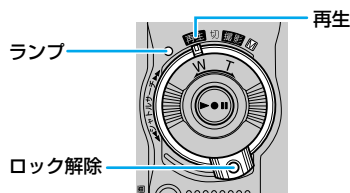
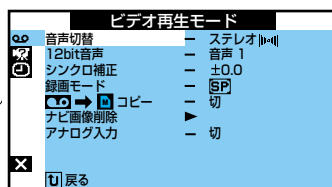
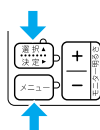
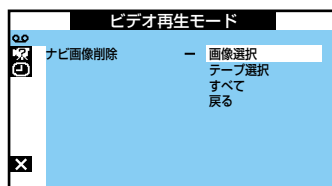
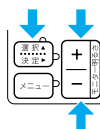
- ビデオを再生するには（☞ P.61）

選択した場面が頭出しをするためのデータとしてメモリーカードに記録されます。

- 他社製のビデオカメラ、および DV ナビ機能がないビデオカメラで撮影されたビデオテープでは、頭出しを追加できません。

## 頭出しデータを削除する

**1** 液晶画面を開く

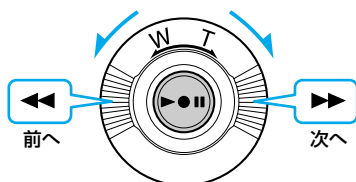
① 上に開く

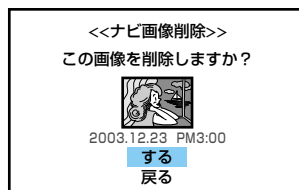
② 90 度回転させる

**2** スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**3** 「再生」の位置に合わせる

**4** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

**5** 「+」・「–」ボタンを押して「ナビ画像削除」を選び、「決定」ボタンを押す

**6** 「画像選択」を選び、「決定」ボタンを押す

削除画面が表示されます。

- 「画像選択」のかわりに「テープ選択」を選ぶと、同じビデオテープから作成したデータをすべて削除できます。

次へ続く

**7** 「シャトルサーチ」ダイヤルを回して、削除する画像を選択する

**8** 「する」を選び、「決定」ボタンを押す

選択した画像のデータが削除されます。

**9** 他のデータも削除したいときは、手順７〜８を繰り返す

**10** 「戻る」が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを４回押す

再生画面に戻ります。

## すべての頭出しデータを削除したいときは

手順６で「すべて」を選びます。表示された画面で「する」を選んで「決定」ボタンを押すと、メモリーカードの中にあるすべての頭出しデータが削除されます。

ご注意

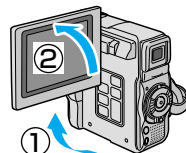
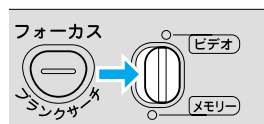
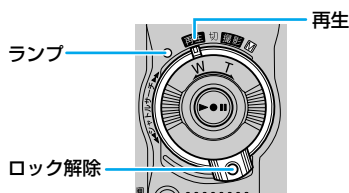
- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、頭出しデータを削除できません（☞P.41）。
- 本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをお勧めします。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
  また、ACアダプターをお使いになることをお勧めします。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した頭出しデータは元に戻せません。間違えて削除した場合は「頭出しするためのデータを追加する」（☞P.120）の手順でもう一度設定してください。

# 映像をコピーする

## テープからメモリーカードに映像をコピーする

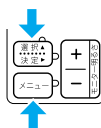
ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードに静止画としてコピーできます。

**1** 液晶画面を開く

① 上に開く

② 90 度回転させる

**2** スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

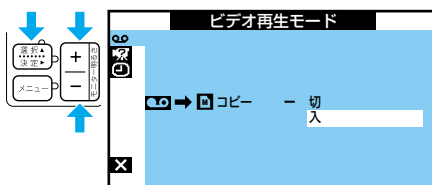
**3** 「再生」の位置に合わせる

**4** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

**5** 「+」・「–」ボタンを押して「 → コピー」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「入」が表示されます。

次へ続く

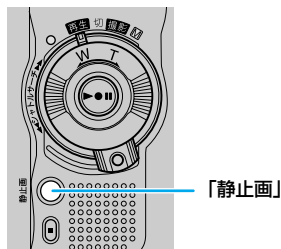
再生を工夫しよう編

**6** 「入」を選び、「決定」ボタンを押す

**7** 「決定」ボタンを2回押して再生画面に戻る

**8** ビデオを再生し、コピーしたい場面で一時停止する

- ビデオを操作するには（☞P.61）
- 再生中でもコピーできます。

**9** 「静止画」ボタンを押す

選択した場面がメモリーカードにコピーされて静止画になります。

- コピーした画像サイズは640×480ドットになります。
- メモリーカードには画面に表示されている画像がコピーされます。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。手順9の前にリモコンを使って再生演出効果を加えてください（☞ P.129）。

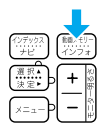
# テープからメモリーカードに動画をコピーする［動画メモリー］

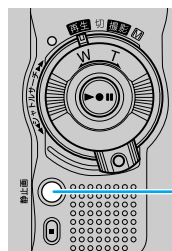
ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードに動画としてコピーします。（一度に最長３分までコピーできますが、実際にコピーできる時間はメモリーカードの残り記録時間によって異なります）
コピーした動画をパソコンに取り込めば（☞P.156）、パソコン上で再生したり電子メールに添付して送るなど、いろいろな用途に使えます。

## 1 ビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞P.61）

## 2 「動画メモリー」ボタンを押す

「スタンバイ」「“静止画”ボタンを押すとカードへ記録します」と表示されます。

また、画面の上部に残り記録時間が表示されます。

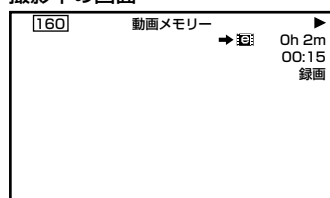
- コピーを中止するには、もう一度「動画メモリー」ボタンを押すか、「■」ボタンを押します。

## 3 コピーしたい場面で「静止画」ボタンを押す

画面の▣の矢印が点滅し、さらに「録画」と表示され、テープから動画がコピーされます。

- 撮影を開始してから３分経った場合やメモリーカードの残り記録時間がなくなった場合は、自動的にビデオが停止し、ビデオの再生モードに戻ります。

撮影中の画面

次へ続く

再生を工夫しよう編

## 4 コピーをやめるには、もう一度「静止画」ボタンを押す

画面に「保存中」と表示され、手順２の画面に戻ります。

- さらにコピーを続けるときは、手順３～４を繰り返します。

## 5 操作を終了したいときは、「■」ボタンを押す

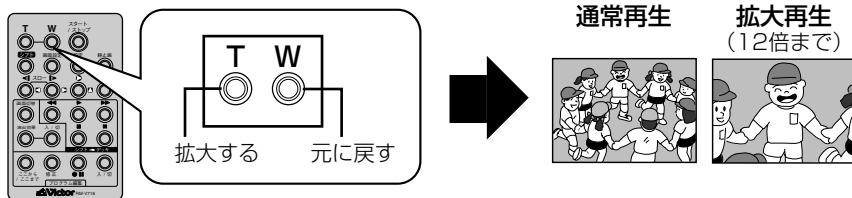
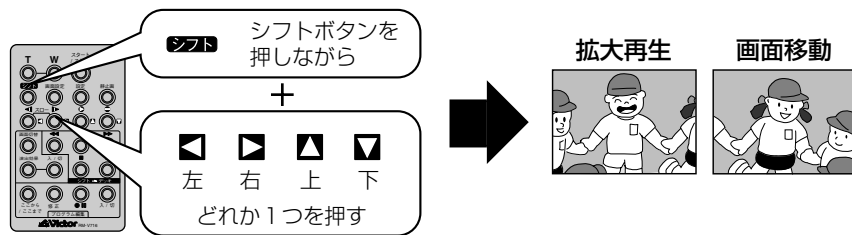
- 動画圧縮方式はMPEG4に対応しており、パソコンではWindows Media™ Player（Windows版、Macintosh版ともにVer6.4以降）を使用して再生できます。詳しくはソフトウェア取扱説明書をご覧ください。
  ※Windows Media™は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- メモリーカードにはタイムコードや日時表示などのメッセージ類はコピーされません（☞ P.130、132）。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順３の前にリモコンを使って再生演出効果を加えてください（☞ P.129）。
- コピーした動画をパソコンに取り込むには（☞ P.156）

# 静止画やビデオの映像を加工する

## 静止画の一部を拡大する［静止画再生ズーム］

静止画の再生中に画面を拡大するには、付属品のリモコンを使用します。

**1** **拡大するには、再生中にリモコンの「T」ボタンを押す**

- 元に戻す　→「W」ボタン

**2** **拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押したまま「◀」「▶」「▲」「▼」ボタンを押す**

再生を工夫しよう編

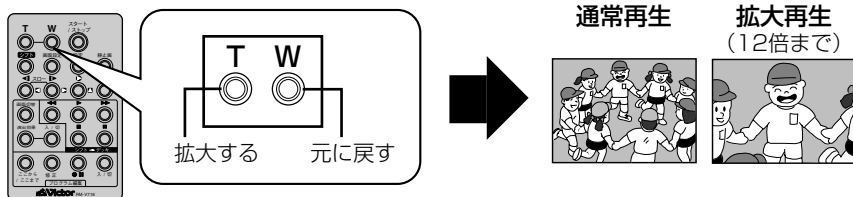
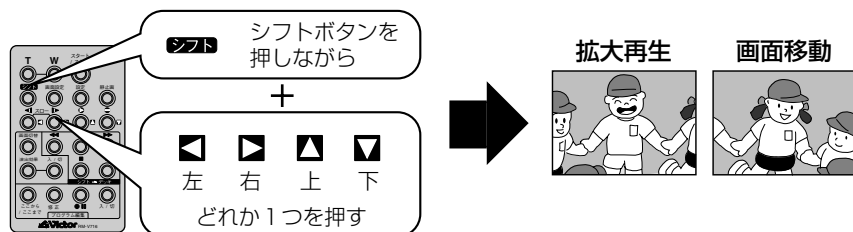
- 拡大をやめたいときは通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。シャトルサーチダイヤルを回して、違う画像にいったん切り換えて、拡大をやめることもできます。

- 拡大すると、映像は少し粗くなります。

## ビデオの映像の一部を拡大する［ビデオ再生ズーム］

ビデオの再生中に画面を拡大するには、付属品のリモコンを使用します。

### 1 拡大するには、再生中にリモコンの「T」ボタンを押す

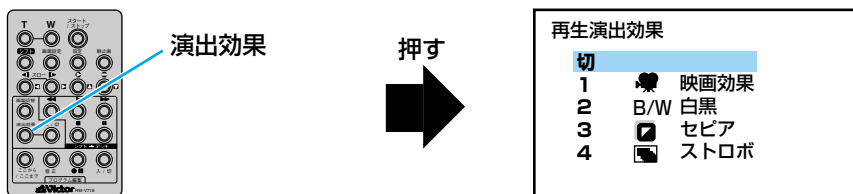
- 元に戻す　→「W」ボタン
- 一時停止中やスロー再生中も拡大できます。

### 2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押したまま「◀」「▶」「▲」「▼」ボタンを押す

- 拡大をやめたいときは通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押したあとに再生ボタンを押します。

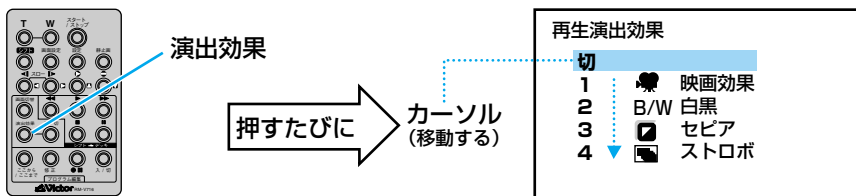
- 拡大すると、映像は少し粗くなります。

# 再生時の映像に変化をつける［再生演出効果］

再生中のビデオ映像にプログラムAEの効果を加えるには、付属品のリモコンを使用します。再生時にプログラムAEの効果を加えて楽しむほか、画像をセピア色や白黒に変えてメモリーカードにコピーできます（☞P.123、125）。

## 1 再生中にリモコンの「演出効果」ボタンを押す

再生演出効果メニューが表示されます。

## 2 「演出効果」ボタンを押して効果を選ぶ

- ボタンを押すたびにカーソルが移動します。目的の効果に合わせてください。

選んで約2秒後にメニューが消えます。再生中の映像には効果が加わっています。



- リモコンの演出効果「入／切」ボタンで、選んだ再生演出効果をいつでも入れたり切ったりできます。

# 日時の表示を切り替える

ビデオを撮影すると、撮影した日時がテープに記録されます。ビデオを再生するときに、撮影した日時を表示させることができます。

## 再生日時表示の種類

次の３種類から選択できます。お買い上げ時は、「切」に設定されています。

| | 撮影 | 再生 |
|---|---|---|
| オート | 電源オンから５秒間表示 | ●再生開始から５秒間表示<br>●日付が変わると５秒間表示 |
| 入 | 常に表示 | |
| 切 | な し | |

ここでは、撮影した日時を再生時に常に表示するように設定します。

**1** 「再生」の位置に合わせる

- 「Ⓜ」の位置に合わせても設定できます。
- 「再生」の位置に合わせたときの内容と別々に設定されます。

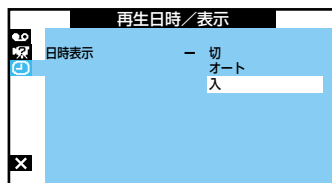
**2** 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

**3** 「+」・「–」ボタンを押して「🕘」を選び、「決定」ボタンを押す

再生日時／表示設定メニューが表示されます。

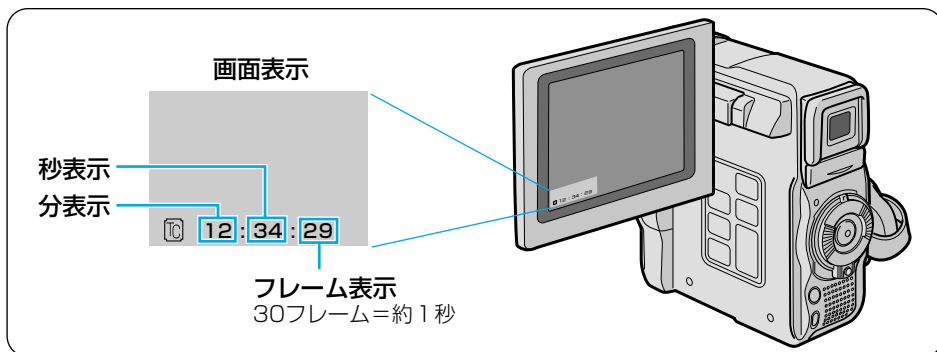
## 4 「日時表示」を選び、決定する

「切」「オート」「入」が表示されます。

## 5 「入」を選び、決定する

## 6 「決定」ボタンを２回押して再生画面に戻る

# タイムコード表示を設定する

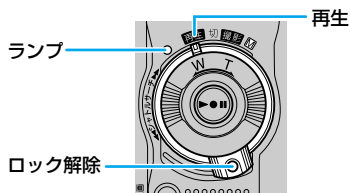
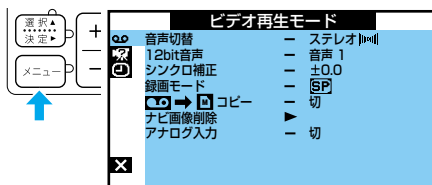
## タイムコードとは

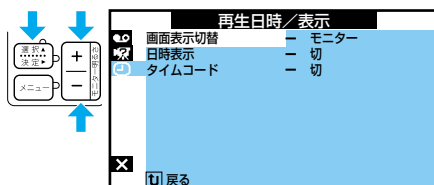
撮影中、1コマ1コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録します。ビデオの撮影、再生、編集の際にタイムコードを表示すると、映像の位置を確かめる目安になります。

- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は分と秒のみ表示されます。

## タイムコード表示を切り替える

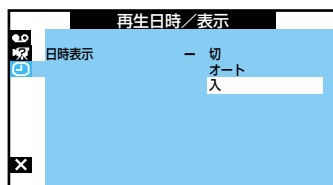
ビデオ再生時にタイムコードを表示する方法を説明します。

### 1 「再生」の位置に合わせる

- 「M」の位置に合わせても設定できます。
- 「再生」の位置に合わせたときの内容と別々に設定されます。

### 2 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

**3** 「+」・「−」ボタンを押して「🕘」を選び、「決定」ボタンを押す

再生日時／表示設定メニューが表示されます。

**4** 「タイムコード」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「入」が表示されます。

**5** 「入」を選び、「決定」ボタンを押す

**6** 「決定」ボタンを２回押して再生画面に戻る

画面左下にタイムコードが表示されます。

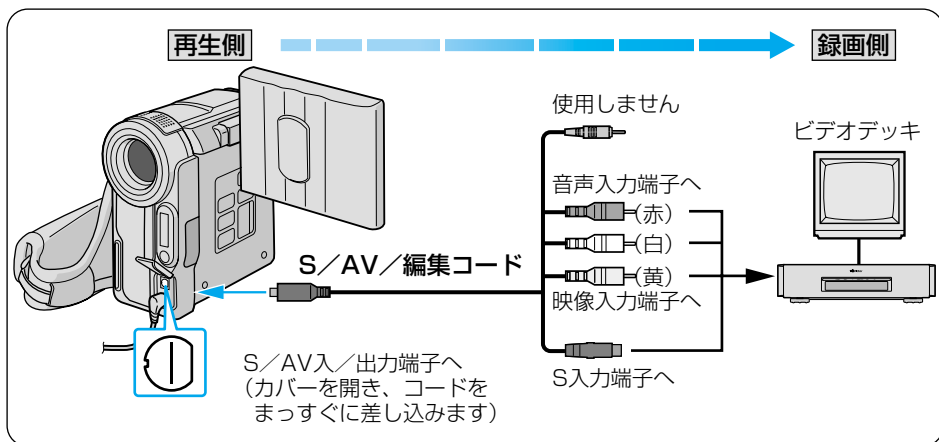
## タイムコードと無記録部分

「無記録部分」とは、テープに何も録画されていない部分のことです。ここから撮影を開始すると、タイムコードは必ず「00:00:00」から記録されます。
同じタイムコードが２カ所以上に存在すると、自動編集時に誤動作する原因となります。また、無記録部分からナビで頭出しすることはできません。

**次の状態のときは、無記録部分から撮影しないように、前に撮影した映像の終わりを確かめてから撮影してください。**
- 途中まで撮影したテープを使うとき
- 再生したことのあるテープを使うとき
- カセットカバーを開閉したとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき

# ビデオをダビングする

## ビデオデッキへダビングする

ビデオカメラで撮影したテープから、ビデオデッキのテープへダビングできます。S入力端子付きのビデオデッキに接続すると、より高画質の映像をダビングできます。

### 1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.68）

### 2 S ／ AV ／編集コードを、ビデオデッキの入力端子とビデオカメラに接続する

- ビデオデッキにS入力端子があるときは、 S入力端子も接続します。
- 必ず、付属品のコードを使用してください。

### 3 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.61）

### 4 ダビングを開始したいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

録画を開始します。

### 5 ダビングを終了したいところで、ビデオデッキの停止ボタンを押す

録画を終了します。

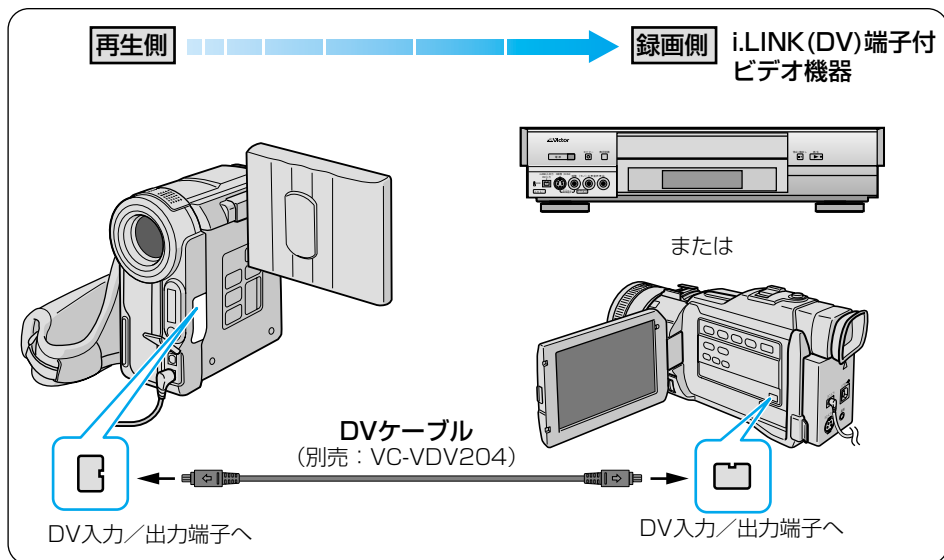
## 画面の文字や記号を隠すには

再生日時／表示設定メニューで、次のように設定してください（☞P.161）。

- 画面表示切替 → モニターまたは切
- 日時表示 → 切
- タイムコード → 切

- ACアダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。ACアダプターを使って操作することをお勧めします。
- ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。
- カットしたい映像があるときはビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。

## デジタルでダビングする

DV 端子付きビデオ機器をお持ちの場合、DV ケーブルを使ってダビングできます。デジタル信号でダビングするため、画質と音質はほとんど劣化しません。

### 1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.68）

### 2 DV ケーブルを、ビデオカメラの「DV 入力／出力」端子と DV 端子付きビデオ機器の DV 入力端子に接続する

### 3 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.61）

### 4 ダビングを開始したいところで、DV 端子付きビデオ機器の録画ボタンを押す

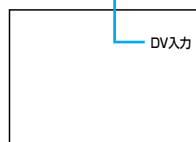
録画を開始します。

## 5 ダビングを終了したいところで、DV 端子付きビデオ機器の停止ボタンを押す

録画を終了します。

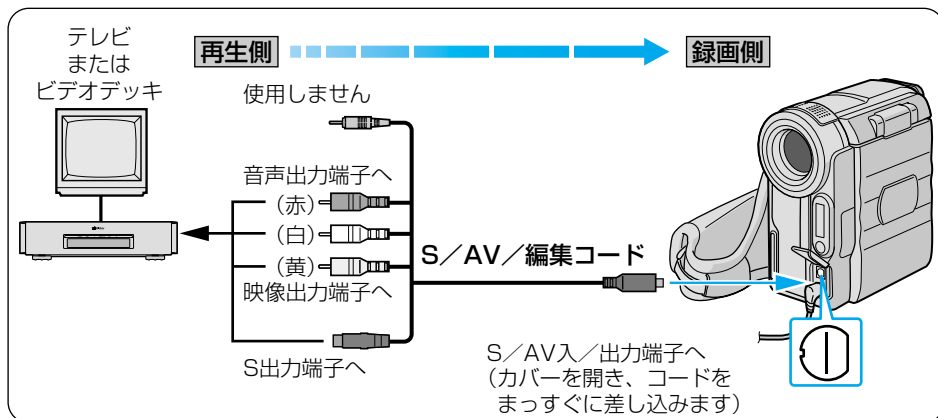
### 本機を録画側として使うには

DV入力画面表示

1 電源ダイヤルを「再生」の位置に合わせる。
2 録画モードを選ぶ（☞P.164）。
3 再生側の DV 機器を「再生」モードにする。
4 リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、画面上に「DV 入力」表示が出て録画停止状態になります。
5 録画停止状態でリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画を開始して、表示が回転します。
6 再びリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押すと、録画停止状態になり、表示の回転が停止します。
7 通常の再生モードに戻るには「■」ボタンを押します。

- 再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。
- 本機を録画側として使う場合、液晶画面に再生側の映像が表示されないときは、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「切」に設定してください。（☞P.203）

- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。AC アダプターを使って操作することをお勧めします。
- ご使用になる DV 端子付きビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。
- 再生時に「場面切替」「再生演出効果」「再生ズーム」「記念写真」「タイムコード」を設定していても DV 出力端子からは、テープの通常再生映像しか出力しません。
  これらの演出を録画したいときは、S ／ AV ／編集コード使ってダビングしてください（☞P.134）。

## ビデオ機器やテレビからダビングする

ビデオデッキなどのDV端子を持たないビデオ機器やテレビからも、ビデオカメラへダビングできます。

### 1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する

- ACアダプターの取り付け（☞P.68）

### 2 S／AV／編集コードを、ビデオ機器やテレビの出力端子とビデオカメラに接続する

- ビデオ機器やテレビにS出力端子があるときは、S出力端子も接続します。
- 必ず、付属品のコードを使用してください。

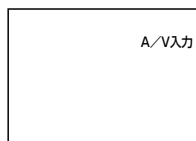
### 3 電源ダイヤルを「再生」の位置に合わせ、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「A／V入力」または「S入力」に設定する（☞ P.203）

- ビデオ機器やテレビのS出力端子に接続したときは「S入力」に、その他のときは「A／V入力」に設定します。

### 4 ビデオ機器の電源を入れる

- 画面に映像を出します。

## 5 ビデオカメラのリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

画面に「A ／ V 入力」または「S 入力」と表示され、録画停止状態になります。

## 6 ビデオデッキでビデオを再生する

## 7 ダビングを開始したいところで、リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

録画を開始して、表示が回転します。

## 8 ダビングを終了したいところで、もう一度ビデオカメラのリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

録画を終了して、表示の回転が停止します。

## 9 通常の再生モードに戻るには「■」ボタンを押す

### ダビングしたテープを再生するには

電源ダイヤルを「再生」の位置に合わせ、再生ボタンを押します。

- ACアダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。ACアダプターを使って操作することをお勧めします。
- ご使用になるビデオ機器やテレビの取扱説明書もご覧ください。
- ダビングしたビデオテープをテレビで見るには（☞P.69）。

- アナログ入力時、ご使用のビデオ機器や再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
- 「アナログ入力」を「A ／ V 入力」または「S 入力」に設定したまま再生すると、ご使用のビデオ機器や再生するテープにより映像が乱れることがあります。

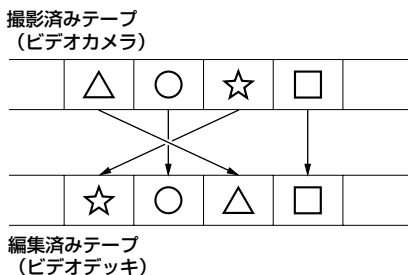
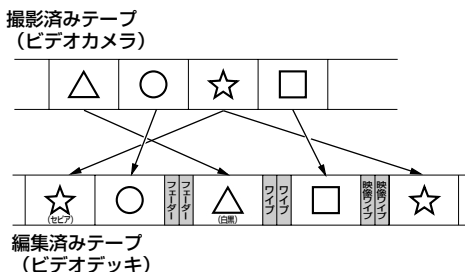
# ビデオを編集する

## 自動で編集する

撮影済みのビデオからお好きな場面を８つまで選び、ビデオデッキのテープに自動的にダビングできます。次の機能と合わせて使うと、テレビドラマや映画のようなビデオを作成できます。

**アフレコ編集**　：ナレーションや音声を追加します（☞P.152）。
**場面切替効果**　：場面と場面のつなぎ目に効果を加えます（☞P.108）。
**プログラム AE**　：映像に変化をつけます（☞P.112）。

### 知っておきたい自動編集のしくみ

**普通に自動編集したときは**
撮影済みのビデオの中から最大８つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

**場面切替やプログラム AE の効果を入れて自動編集したときは**
自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものにプログラム AE の効果をつけてダビングすることができます。場面切替やプログラム AE 効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

## ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

自動編集では、付属品のリモコン（☞P.31）でご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。

### 1 ビデオデッキの電源を切る

### 2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する

### 3 「リモコンメーカー設定表」（次ページ）とメーカー名を対応させる

### 4 リモコンの「設定」ボタンを押したまま、設定表の「①」に書かれているボタンを押す

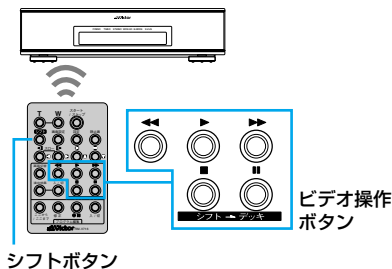
- 「設定」ボタンを押したまま、「リモコンのボタン 1」を押し、「設定」ボタンの指を離さずに「リモコンのボタン 2」を押します。

ビデオデッキの電源が入り、登録が完了します。

### 5 ビデオデッキの電源が入らない場合は、「②」「③」...の組み合わせのボタンを押す

#### リモコンでビデオデッキを操作するには

「シフト」ボタンを押したまま、各操作ボタンを押します。
ビデオデッキのリモコン受光部に向けて操作してください。

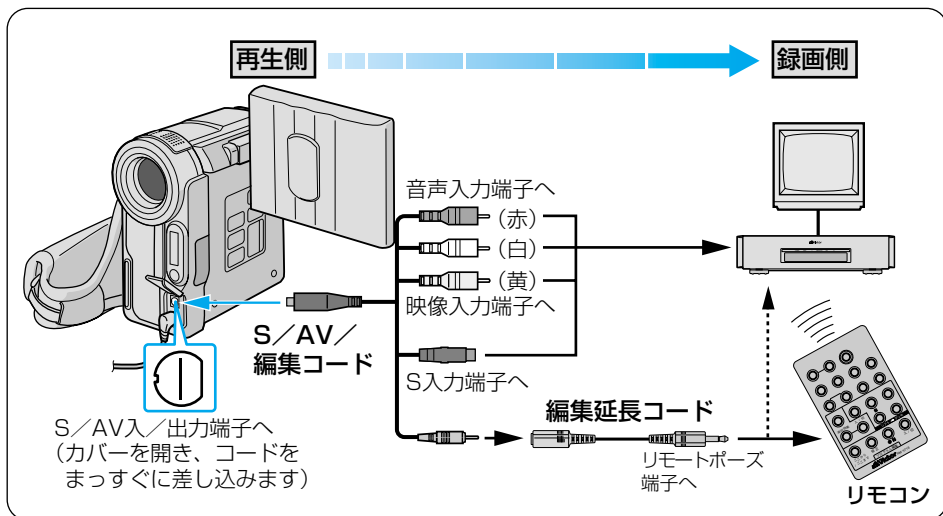
ビデオを編集してみよう編

# ビデオを編集する

## リモコンメーカー設定表

| メーカー名 | リモコン信号 | リモコンのボタン1 | リモコンのボタン2 |
|---|---|---|---|
| ビクター | ① | ●❚❚（ビデオ準備） | ◀◀（巻戻し） |
| | ② | ●❚❚（ビデオ準備） | ■（停止） |
| | ③ | ●❚❚（ビデオ準備） | （シフト） |
| アカイ | ① | ■（停止） | ▶▶（早送り） |
| | ② | ■（停止） | ▶（再生） |
| | ③ | （ここから/ここまで） | （ここから/ここまで） |
| サンヨー | ① | ■（停止） | ▶（再生） |
| | ② | （シフト） | ❚❚（一時停止） |
| | ③ | （シフト） | （プログラム編集入/切） |
| | ④ | （ここから/ここまで） | ●❚❚（ビデオ準備） |
| シャープ | ① | ◀◀（巻戻し） | ❚❚（一時停止） |
| | ② | ◀◀（巻戻し） | （プログラム編集入/切） |
| ソニー | ① | ■（停止） | ❚❚（一時停止） |
| | ② | ■（停止） | （プログラム編集入/切） |
| | ③ | （シフト） | ●❚❚（ビデオ準備） |
| | ④ | （シフト） | ◀◀（巻戻し） |
| 東芝 | ① | ■（停止） | ●❚❚（ビデオ準備） |
| | ② | ■（停止） | ◀◀（巻戻し） |
| NEC | ① | （シフト） | （ここから/ここまで） |
| | ② | （シフト） | （修正） |
| 日立 | ① | ■（停止） | ■（停止） |
| | ② | ■（停止） | （シフト） |
| フナイ | ① | （ここから/ここまで） | （シフト） |
| 松下 | ① | ◀◀（巻戻し） | （シフト） |
| | ② | ◀◀（巻戻し） | （ここから/ここまで） |
| | ③ | ◀◀（巻戻し） | ◀◀（巻戻し） |
| | ④ | ●❚❚（ビデオ準備） | ▶（再生） |
| | ⑤ | ◀◀（巻戻し） | （修正） |
| 三菱 | ① | ■（停止） | （ここから/ここまで） |
| | ② | ■（停止） | （修正） |
| LG | ① | ◀◀（巻戻し） | ◀◀（巻戻し） |
| SAMSUNG | ① | ●❚❚（ビデオ準備） | ▶（再生） |

- **リモコンの乾電池がなくなったときは**
  設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。
- **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
  機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

## 好きな場面を選んでダビングする

ここでは、ビデオから編集したい場面を選び、ビデオデッキのテープへ自動的にダビングする方法を説明します。
場面と場面の間に場面切替の効果を使う方法と、場面にプログラムAEの効果を使う方法については、操作手順の間の メモ で説明します。自動編集に慣れてからお読みください。

**1** **ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを取り付け、S／AV／編集コードでビデオデッキと接続する**

- ACアダプターの取り付け（☞P.68）
- ビデオデッキと接続するには（☞P.134）

**2** **S／AV／編集コードの編集端子を編集延長コードに接続し、編集延長コードをリモコンに接続する**

- 付属品の編集延長コードを使用してください。

**3** **ビデオカメラでビデオを再生する**

- ビデオを再生するには（☞P.61）

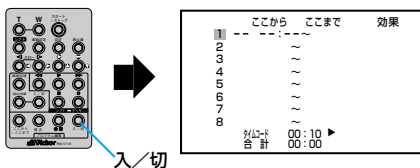
液晶画面とテレビに映像が表示されます。

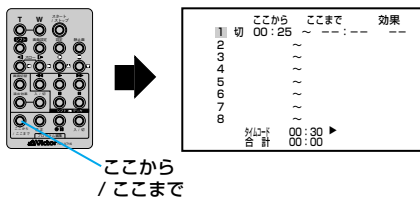
次へ続く

●**画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。再生日時／表示設定メニューで次のように設定して、メッセージを消してから自動編集してください（☞ P.161）。
（自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。

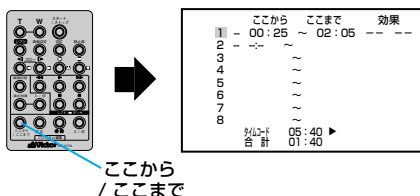
- **画面表示切替 →モニター、または切**
- **日時表示 →切**
- **タイムコード →切**

## 4 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向け、「入／切」ボタンを押す

液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。自動編集表示画面を消すには「入／切」ボタンを押します。

## 5 ダビングを開始したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

開始場面のタイムコードが表示されます。

●**場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞ P.108）**
リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。フェーダーやワイプを使用できます。
ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

## 6 ダビングを終了したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

終了場面のタイムコードが表示されます。

- **場面の撮り終わりに変化を付けたいときは（☞P.108）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。
  ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。
- **映像そのものに変化を付けたいときは（☞P.112）**
  リモコンの「演出効果」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

## *7* 手順５～６を繰り返して、場面を登録する

- ８つまで登録できます。

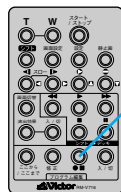
- 場面の始めに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの左側に表示されます。場面の終わりに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの右側に表示されます。場面に再生演出効果を設定したときは、設定した効果のアイコンが「効果」に表示されます。何も設定していないときは「−−」が表示されます。

## *8* ビデオカメラのテープを巻き戻し、タイムコード（例 00:25 より前）付近まできたら一時停止する

## *9* リモコンをビデオデッキのリモコン受光部に向け、「●II」ボタン（ビデオ準備ボタン）を押す

ビデオデッキが録画一時停止の状態になります。

- リモコンで録画一時停止の状態にならないときは、ビデオデッキ本体を操作してください。

次へ続く

## 10 リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す

自動編集が始まり、ビデオデッキのテープに映像がダビングされます。ダビングが終わると、ビデオカメラが停止の状態になり、ビデオデッキは録画一時停止の状態になります。

## 11 リモコンの「入／切」ボタンを押して自動編集画面を消す

## 12 ビデオカメラとビデオデッキを停止する

自動編集が終了します。

- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正」ボタンを押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- **ビクターのリモートポーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは**
  S／AV／編集コードをビデオカメラの編集端子と、ビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます（☞P.143）。このとき、リモコンは使用しません。
- **ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。**

- **こんなときは自動編集できません**
  - 同じタイムコード（☞P.132）が２つ以上存在するテープではタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - 編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - 編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社製ビデオデッキの場合約５分以内）を超えるときは、自動編集できません。
  - リモコンのプログラム編集「入／切」ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容がすべて消えてしまいます。
  - 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
  - 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。

# より正確に自動編集する［シンクロ補正］

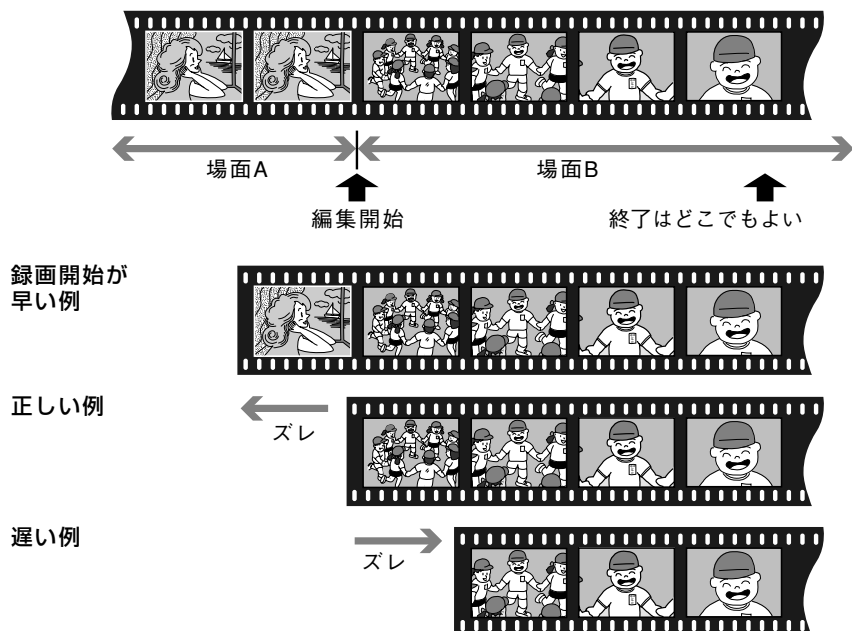
ビデオデッキには反応の早いものと遅いものがあります。自動編集でビデオカメラの再生とビデオデッキの録画を同時に開始しても、録画開始のタイミングがズレたために前の場面が残っていたり、場面の最初が欠けていたりすることがあります。
ズレを防ぐには、録画のタイミングをあらかじめ補正します。

## 録画タイミングのズレを確認する

映像の区切りと時間の経過が判りやすいビデオを用意し、これを自動編集してみます。編集後にビデオデッキのテープを再生して、指定したタイミングからどの程度ズレてダビングが開始されているか確認します。

### 1 場面を１つだけ自動編集する

- 自動編集するには（☞P.140）
- 編集を開始する場面には、映像の変化が判りやすいところを選んでください。

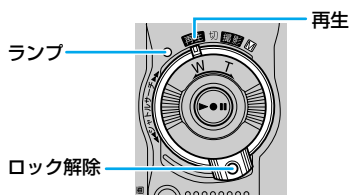
次へ続く

## 2 ビデオデッキのテープを巻き戻し、再生する

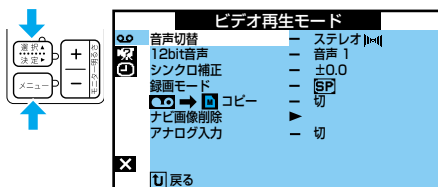
## 3 録画のタイミングのズレ（秒）を確認する

- **自動編集を行う前に**
  数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

# 録画タイミングのズレを補正する

録画のタイミングがズレていたときは、ビデオカメラでタイミングのズレを補正します。

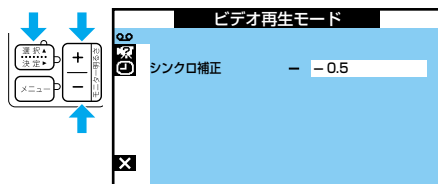
## 1 「再生」の位置に合わせる

## 2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

## 3 「シンクロ補正」を選び、「決定」ボタンを押す

## 4 「+」・「–」ボタンを押して数値を設定し、「決定」ボタンを押す

- ビデオデッキの録画開始が
  **早い** → −値にする
  **遅い** → ＋値にする

  (例)ビデオデッキの録画が 0.5 秒早く開始している場合、「–」ボタンを押して「− 0.5」に設定します。

- 設定範囲は− 1.3 〜＋ 1.3 秒です。

## 5 「決定」ボタンを 2 回押して再生画面に戻る

ビデオを編集してみよう編

- **補正しても録画タイミングが合わないときは**
  ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

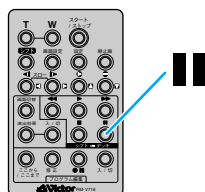
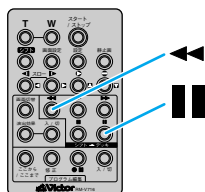
# ビデオに映像を追加する［インサート編集］

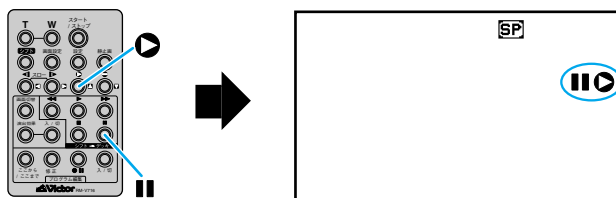
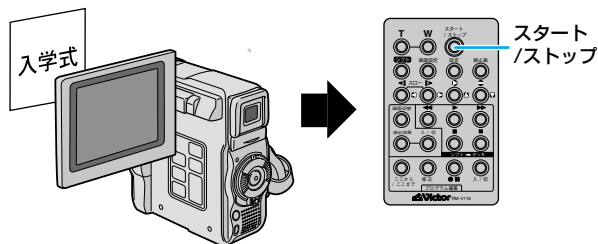
録画モードSPで録画済のテープに、あとでタイトルなど別の場面を挿入できます。インサート編集を行う前に、タイトルを書いた紙などを用意してください。インサート編集には、付属品のリモコンを使用します（☞P.31）。

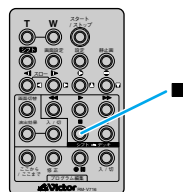
## 1 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞P.61）

## 2 インサート編集を終える場面で一時停止する

- 終える場面のタイムコードを確認してください。
- タイムコード表示が出ていないときは（☞P.132）

## 3 「◀◀」ボタンを押してインサート編集を開始する場面まで巻き戻し、「❚❚」ボタンを押す

## 4 「❚❚」ボタンを押したまま、「▶」ボタンを押す

液晶画面に「❚❚▶」アイコンが表示されます。

## 5 インサートするタイトルなどをカメラに映るようにして「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す

## 6 手順２で確認したタイムコードの位置で、「スタート／ストップ」ボタンを押してインサートを終了する

## 7 「■」ボタンを押して、インサート編集を終了する

- **挿入する画面にプログラムAEの効果を加えたいときは**
  インサート編集を行う前に、プログラムAEを設定してください（☞P.112）。
- **インサート編集したあとの映像と日時は**
  新しい映像と日時が上書きされます。

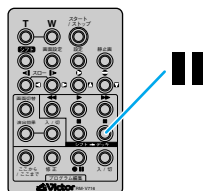
- **画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞P.209）**
  LPモードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

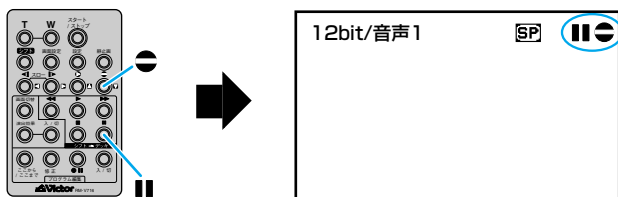
# ビデオに音声を追加する [アフレコ編集]

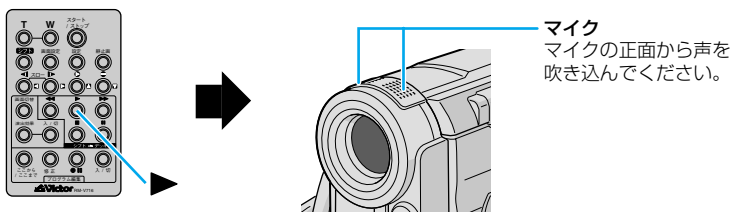
撮影したビデオには、あとでナレーションを追加したり、吹き替え音声を録音したりできます。アフレコ編集には、付属品のリモコンを使用します（☞P.31）。

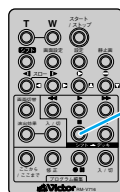
## 1 ビデオカメラでビデオを再生する

- ビデオを再生するには（☞P.61）

## 2 アフレコ編集をしたいところで一時停止する

## 3 「❚❚」ボタンを押したまま、「⊖」ボタンを押す

液晶画面に「❚❚ ⊖」アイコンが表示されます。

## 4 「▶」ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かって音声を吹き込む

アフレコ編集が始まり、音声が記録されます。

## 5 「■」ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

● 再生時にアフレコした音声を聞くには、「音声切替」の設定を変更してください（☞P.154）。

● **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
リモコンの「❚❚」ボタンを押します。ビデオが一時停止状態になります。リモコンの「■」ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから編集を再開してください。

● **外部機器を使ってアフレコ編集したいときは**
外部機器をS／AV入／出力端子に接続して、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「A／V入力」または「S入力」に設定してください（☞ P.203）。

● **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは**
LPモードで撮影したテープ、または16bitの音声を記録したテープにはアフレコ編集できません。

● **テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

ビデオを編集してみよう編

# 再生時の音声を切り替える

## 音声切替と12bit 音声

アフレコ編集したビデオでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）の再生を選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、左右どちらかの音声のみを再生することもできます。

### アフレコ音声の切り替え［12bit 音声］

撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定します。

- **音声１**　：撮影時の音声
- **音声２**　：アフレコ音声
- **ミックス**　：撮影時の音声とアフレコ音声（同時に再生）

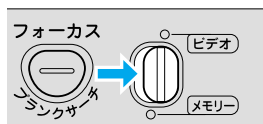
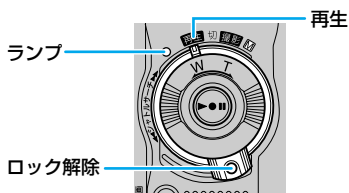
### ステレオ音声の切り替え［音声切替］

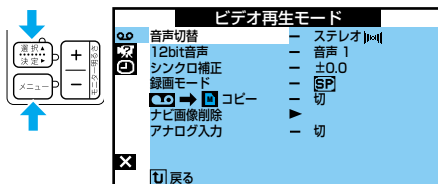
ビデオの音声をステレオまたは左右どちらかのみで再生するか設定します。

- **ステレオ**　：ステレオ（左右どちらも再生）
- **音声（L）**　：左の音声のみ
- **音声（R）**　：右の音声のみ

## 音声切替の操作

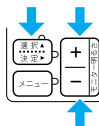
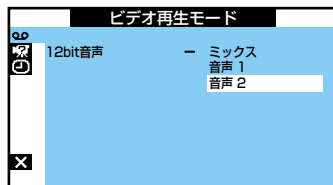
ここでは、アフレコ音声をステレオで再生するように設定してみます。

**1** スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

**2** 「再生」の位置に合わせる

## 3 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「決定」ボタンを押す

ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。

## 4 「音声切替」が「ステレオ」に設定されていることを確認する

- 「音声(L)」または「音声(R)」になっている場合は、「ステレオ」に変更してください。

## 5 「+」・「–」ボタンを押して「12bit音声」を選び、「決定」ボタンを押す

「ミックス」「音声 1」「音声 2」が表示されます。

## 6 「音声 2」を選び、「決定」ボタンを押す

## 7 「決定」ボタンを2回押して再生画面に戻る

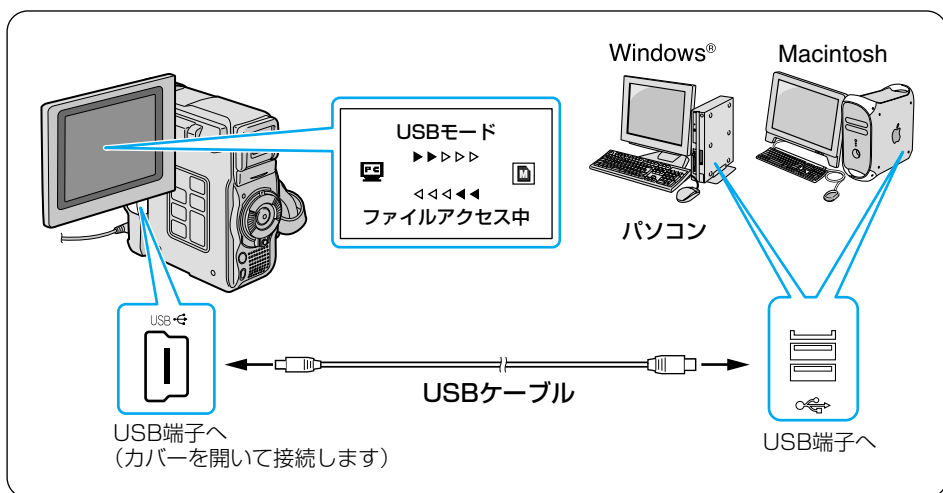


- ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます(早送り/巻戻し再生中は自動判別できません)。

# 映像をパソコンで利用する

## USB ケーブルで接続する

付属品のソフトウェア CD-ROM からお使いのパソコンにソフトウェアをインストールすると、USB ケーブルを使用して、メモリーカードに記録した静止画や動画を取り込むことができます。

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- ソフトウェア CD-ROM や USB ケーブルの取り扱い、および接続時の本機の操作については、ソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

ご注意

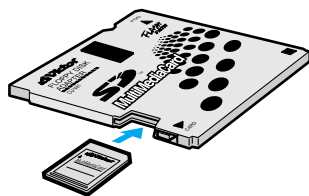
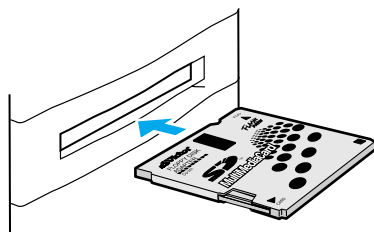
- 本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをお勧めします。
- 画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は USB ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
- USB ケーブルを USB ハブに接続して正常に動作しないときは、パソコン本体の USB 端子と接続してください。
- USB ケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカード（付属品のメモリーカードを除く）をご使用になる場合は、ご使用の前に本機でメモリーカードを初期化（フォーマット）してください（☞ P.179）。ビデオカメラとパソコンを USB ケーブルで接続したときに、ファイルのコピーができないことがあります。
- USB ケーブルでパソコンと接続してビデオを再生するときは、次の機能をご利用になれません。
  DV ナビ機能（☞ P.119）、テープからメモリーカードへのコピー（☞ P.123）、動画メモリー記録（☞ P.125）

## フロッピーアダプターまたは PC カードアダプターで読み込む

別売の PC カードアダプター（CU-V51）やフロッピーディスクアダプター（CU-V41）、USB リーダー／ライター（CU-V70）を使うとメモリーカードに記録した静止画や動画を取り込むことができます（3 種類ともに SD メモリーカード・マルチメディアカードに対応しています）。
ここでは、フロッピーディスクアダプターを使ってパソコンに取り込む方法を説明します。

### 1 メモリーカードを取り出す

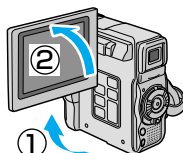
- メモリーカードを取り出すには
（☞ P.41）

### 2 メモリーカードをフロッピーディスクアダプターに差し込む

### 3 パソコンのフロッピーディスクドライブに差し込む

### 4 パソコンで、フロッピーディスクからハードディスクへファイルをコピーする

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- PC カードアダプター、フロッピーディスクアダプター、USB リーダー／ライターの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

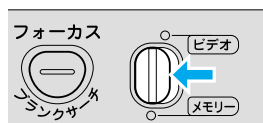
# ファイルを削除できないようにする[プロテクト]

## メモリーカードのファイルにプロテクトをかける

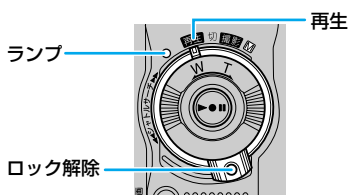
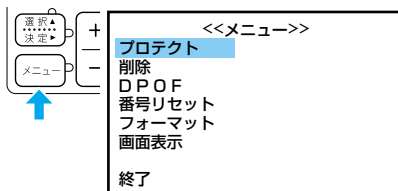
間違えて削除しないように、大切なファイルにはプロテクトをかけることをお勧めします。
プロテクトをかけたファイルは削除されません。メモリーカードに保存されている静止画、動画に、それぞれプロテクトをかけることができます。
ここでは、静止画にプロテクトをかける方法を例にとって説明します。

### 1 液晶画面を開く

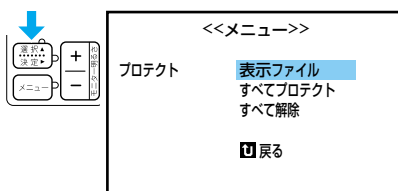
① 上に開く

② 90 度回転させる

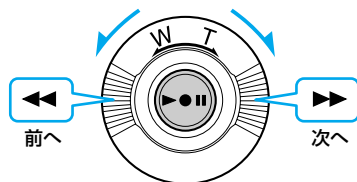
### 2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

### 3 「再生」の位置に合わせる

液晶画面に静止画が表示されます。

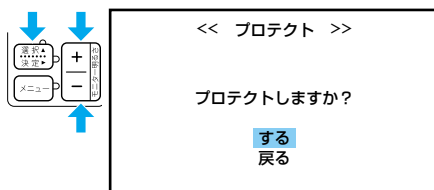
- 静止画が表示されないときは（☞P.67）

### 4 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

### 5 「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「すべてプロテクト」「すべて解除」が表示されます。

## 6 もう一度「決定」ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

## 7 「シャトルサーチ」ダイヤルを回して、プロテクトをかける静止画を選ぶ

## 8 「+」・「–」ボタンを押して「する」を選び、「決定」ボタンを押す

静止画がプロテクトされ、静止画中央に「🔑」マークが表示されます。

- 他の静止画もプロテクトしたいときは、手順７～８を繰り返します。

## 9 「決定」ボタンを３回押す

再生画面に戻ります。

### すべての静止画をプロテクトしたいときは

手順５で「すべてプロテクト」を選び、決定します。表示された画面で「する」を選んで「決定」ボタンを押すと、すべての静止画がプロテクトされます。

- SD カードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルにプロテクトをかけることはできません（☞ P.41）。
- 動画にも、同様にしてプロテクトをかけることができます。前ページの手順４を行う前に「選択」ボタンを押し、表示された画面で動画を選んで、決定してください。

- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

## ファイルのプロテクトをはずす

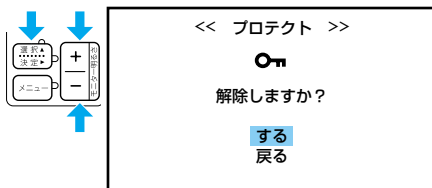
ここでは、静止画のプロテクトを解除する方法を例にとって説明します。

### 1 「メモリーカードのファイルにプロテクトをかける」（☞ P.158）の手順１～６を行う

プロテクト画面が表示されます。

### 2 プロテクトをはずしたい静止画を選び、「決定」ボタンを押す

静止画中央の「O┳」マークが消えます。

- 他の静止画もプロテクトをはずしたいときは、同じ操作を繰り返します。

### 3 「決定」ボタンを３回押す

再生画面に戻ります。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルのプロテクトをはずすことはできません（☞ P.41）。
- 動画のプロテクトも、同様にしてはずすことができます。前ページの手順４を行う前に「選択」ボタンを押し、表示された画面で動画を選んで、決定してください。

# 画面の表示方法を変更する

ダビングや編集をするときには、画面の文字や記号を隠すことをお勧めします。ここでは、画面の日時表示やメニュー表示を隠す方法と、そのほかの日時／表示設定メニューの項目について説明します。

## 撮影日時／表示設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせ、「メニュー」、「+」・「–」、「決定」ボタンで設定する。

| 項　目 | 設定項目 | 機　能 |
|---|---|---|
| 画面表示切替 | モニター | ＴＶやビデオデッキに、文字や記号を出力しない |
| | モニター/TV | ＴＶやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する |
| 日時表示 | 切 | 表示しない |
| | オート | 電源を入れたときなどに５秒間表示する |
| | 入 | 常に表示する（☞ P.130） |
| タイムコード | 切 | 表示しない |
| | 入 | 表示する（☞ P.132） |
| 年月日時計合わせ | 年月日、時刻 | 日時を設定する（☞ P.46） |

※：最初の設定値は、▬▬ で表示してあります。

## 再生日時／表示設定メニュー

電源ダイヤルを「再生」に合わせ、「メニュー」、「+」・「–」、「決定」ボタンで設定する。

| 項　目 | 設定項目 | 機　能 |
|---|---|---|
| 画面表示切替 | 切 | 画面、TV、ビデオデッキに、文字や記号を出力しない |
| | モニター | ＴＶやビデオデッキに、文字や記号を出力しない |
| | モニター/TV | ＴＶやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する |
| 日時表示 | 切 | 表示しない |
| | オート | 電源を入れたときなどに５秒間表示する |
| | 入 | 常に表示する（☞ P.130） |
| タイムコード | 切 | 表示しない |
| | 入 | 表示する（☞ P.132） |

※：最初の設定値は、▬▬ で表示してあります。

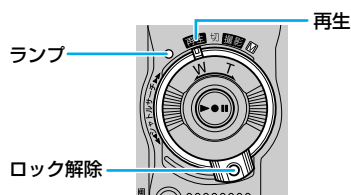
# 画面の表示方法を変更する

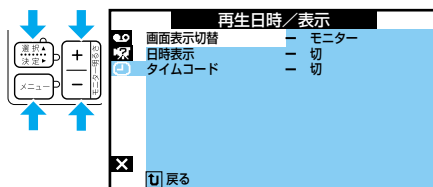
- 「画面表示切替」と「日時表示」と「タイムコード」は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に合わせたときと「再生」に合わせたときの内容が、別々に設定されます。
- 「日時表示」の設定はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます（☞ P.31）。ダビング中に日時表示を隠すのに便利です。

- 画面表示切替が「モニター」または「切」に設定されていても、「日時表示」や「タイムコード」が「入」に設定されていると、日時やタイムコードは画面に表示されます。
  これらをダビングしたくないときは、再生日時／表示設定メニューで「日時表示」や「タイムコード」の設定を「切」にしてください（☞ P.163）。

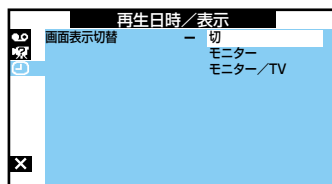
# 日時／表示設定メニューの設定方法

メニューの操作方法を説明します。例として、再生中に「画面表示切替」の設定を「切」に変更します。

## 1 「再生」の位置に合わせる

## 2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「+」・「−」ボタンを押して「🕘」を選び、「決定」ボタンを押す

再生日時／表示設定メニューが表示されます。

## 3 「画面表示切替」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」「モニター」「モニター／TV」が表示されます。

## 4 「切」を選び、「決定」ボタンを押す

## 5 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

# 撮影設定を変更する

## フルオート用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「撮影」と「M」の両方で効果がある項目について説明します。

### フルオート設定メニュー

電源ダイヤルを「M」に合わせ、「メニュー」、「+」・「-」、「決定」ボタンで設定する。

| 項　目 | 設定項目 | 特　徴 | 参　照 |
|---|---|---|---|
| **録画モード**<br>テープの撮影時間を1.5倍にする | SP | アフレコ編集・インサート編集可能 | P.150<br>P.152 |
| | LP | 撮影時間がSPモードの1.5倍 | |
| **音声モード**<br>アフレコ可能なモードで録音する | 12bit | アフレコ編集可能 | P.152 |
| | 16bit | 高音質で録音 | |
| **ズーム**<br>ズーム倍率の上限を設定する | 16倍 | 光学ズーム（画質が劣化しない） | P.54 |
| | 40倍 | デジタルズーム | |
| | 200倍 | デジタルズーム | |
| **記念写真モード**<br>静止画の演出方法を設定する | フル | 全面に静止画を表示する | P.82 |
| | ピンナップ | 白フチと影をつける | |
| | フレーム | 白フチをつける | |
| **感度アップ**<br>撮影の感度を設定する | 切 | 自然のままの明るさ | P.165 |
| | AGC | 電気的に感度アップ | |
| | オート A | 映像の明るさを自動的に調節 | |
| **ナビ**<br>頭出しデータを記録する | マニュアル | 「ナビ書込み」ボタンを押したときに記録する | P.91<br>P.94 |
| | 5秒、15秒、30秒、60秒 | 設定した秒数がたつと自動的に記録する | |

※：最初の設定値は、　　　で表示してあります。

## 各項目の補足説明

### 録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをお勧めします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。

### 音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12bit」に設定して撮影してください。一方、「16bit」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。
- 従来のビクター製ビデオカメラでは、12bit 音声を 32KHz 音声、16bit 音声を 48KHz 音声と表現しています。

### ズーム

- 16 倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、16 倍以上は映像をデジタル処理するため、映像品質が少し劣化します。

### 記念写真モード

- ビデオテープに挿入する静止画の演出方法を、3 種類から選択できます（☞ P.82）。

### 感度アップ

- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- 「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

### ナビ

- メモリーカードに記録されるデータは、1 件につき約 4KB です。

## 静止画撮影設定メニュー

電源ダイヤルを「M」に合わせ、「メニュー」、「+」・「−」、「決定」ボタンで設定する。

| 項　目 | 設定項目 | 特　徴 | 参　照 |
|---|---|---|---|
| **画質設定**<br>静止画の画質を設定する | ファイン | 高画質（撮影枚数が少ない） | P.97 |
| | スタンダード | 撮影枚数が多い | |
| **画像サイズ**<br>静止画の画像サイズを設定する | 640×480 | | P.97 |
| | 1024×768 | | |
| **記録選択**<br>静止画の記録方法を設定する | ➡テープ | テープのみに記録する | — |
| | ➡テープ／➡M | テープとカード両方に記録する | |

※：最初の設定値は、[網掛け]で表示してあります。

### 各項目の補足説明

**画質設定**

- ファインモードでは、画像の圧縮率が低いため、高画質になります。スタンダードよりもデータサイズが大きくなります。

**画像サイズ**

- 1024 × 768 ドットは、640 × 480 ドットよりも画像のサイズが大きくなるため、データサイズも大きくなります。

**記録選択**

- ビデオテープに静止画を撮るときに、静止画をメモリーカードにも記録するかどうかを選択できます（☞P.84）。
- 「➡テープ／➡M」に設定し、ビデオカメラにテープが入っていないときには、メモリーカードにのみ記録されます。

# マニュアル用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「M」を選択したときに効果がある項目について説明します。

## マニュアル設定メニュー

電源ダイヤルを「M」に合わせ、「メニュー」、「+」・「−」、「決定」ボタンで設定する。

| 項　目 | 設定項目 | 特　徴 | 参　照 |
|---|---|---|---|
| **手ぶれ補正**<br>手ぶれ補正を設定する | 切 | | P.168 |
| | 入 | 手ぶれによる映像のブレを低減する | |
| **テレマクロ**<br>接写を設定する | 切 | 1mまで接近して撮影できる | P.54 |
| | 入 | T側で60cmまで接近可能 | |
| **ワイド効果**<br>ワイドテレビに合わせた画面にする | 切 | | P.168 |
| | シネマ | 映画風に上下に黒い帯が入る | |
| | ワイド | ワイドテレビと同じ横長の画面になる | |
| **ボイスポジション**<br>録音される雑音を軽減する | 切 | 自然な音声を録音する | − |
| | 入 | 風による雑音を軽減して録音する | |
| **フラッシュモード**<br>フラッシュの発光条件を設定する | 切 | フラッシュを発光させない | P.99 |
| | オート | 自動でフラッシュが発光する | |
| | オート（赤目軽減マーク） | 赤目を抑える | |
| | 入 | フラッシュが必ず発光する | |
| **フラッシュ明るさ**<br>フラッシュの明るさを設定する | +3〜±0〜−3 | | P.101 |

※：最初の設定は、（網掛け）で表示してあります。
※：電源ダイヤルが「撮影」のときは（網掛け）の設定で動作します。

# 撮影設定を変更する

## 各項目の補足説明

### 手ぶれ補正

- 三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- 手ぶれが大きいとき、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき、映像をデジタル処理するときは補正できないことがあります。
- 手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「((✋))」表示が点滅、または表示が消えます。

### ワイド効果

- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは**
  ワイド映像は、縦長の映像が映ります。シネマ映像は、上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで再生するときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。ビデオカメラのS／AV 入／出力端子とワイドテレビを、S／AV／編集コードで接続してください。テレビのS2 端子に接続すると、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビのS1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2 またはS1 端子がないときは、S 端子に接続してください。自動判別はできません。ワイドテレビで見やすい映像に調節してください。（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像の切り換わりを判別できません。

### フラッシュモード

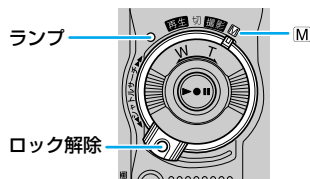
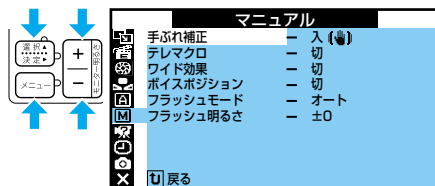
- 周囲が暗いときに、自動的にフラッシュが発光されます。
- 「切」に設定すると、フラッシュは発光しません。

### フラッシュ明るさ

- 撮影した静止画でフラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、フラッシュの明るさを調節します。

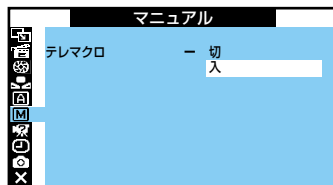
## 設定のしかた

例として、テレマクロの設定を「入」に変更します。

**1** 「M」の位置に合わせる

**2** 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「+」・「–」ボタンを押して「M」を選び、「決定」ボタンを押す

マニュアル設定メニューが表示されます。

**3** 「テレマクロ」を選び、「決定」ボタンを押す

「切」と「入」が表示されます。

**4** 「入」を選び、「決定」ボタンを押す

**5** 「決定」ボタンを2回押して撮影画面に戻る

# 操作音やランプを消す、機能デモを表示する

## システム設定メニュー

電源ダイヤルを「Ⓜ」「再生」のいずれかに合わせ、「メニュー」、「+」・「–」、「決定」ボタンで設定します。

| 項　目 | 設定項目 | 特　徴 | 参　照 |
|---|---|---|---|
| ブザー<br>操作音を消す | 切 | 操作音を消す | – |
| | ブザー | 一部の操作のみブザー音 | |
| | メロディー | 操作するごとにメロディー音 | |
| タリー<br>撮影ランプを消す | 切 | | – |
| | 入 | 撮影中にランプが点灯する | |
| リモコン<br>リモコンの信号を受け付けないようにする | 切 | リモコン操作を無効にする | P.31 |
| | 入 | リモコンで操作する | |
| デモモード<br>プログラムAEの効果をデモで確認する | 切 | | – |
| | 入 | | |
| 優先設定<br>ファインダーを優先に設定する | 液晶モニター | 液晶画面を優先的に表示 | P.51 |
| | ファインダー | ファインダーを優先的に表示 | |
| プリセット<br>すべての設定をもとに戻す | 実行 | メニュー表示を初期値に戻す | – |
| | 戻る | | |

※：最初の設定は、▒▒ で表示してあります。

### 各項目の補足説明

**タリー**

- 「入」では、撮影中であることを撮影ランプを点灯させてお知らせします。
- 「切」では、撮影ランプを点灯させません。

**デモモード**

- カセットテープを入れずに電源を入れると、液晶画面にビデオカメラの機能デモを表示します。
- 機能デモの表示中にズームなどの操作を行うと、一時的に機能デモの表示を停止し、約３分後に再開されます。
- 通常はデモモードを「切」にしてご使用ください。「入」のままにしていると、設定できない機能があります。

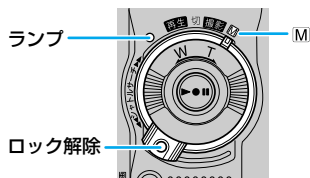
**優先設定**

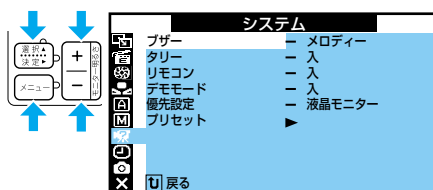
- 液晶画面を開いて、ファインダーも引き出したとき、どちらが優先して映像や記号、文字を表示するかを設定します。

# 設定のしかた

例として、デモモードの設定を「切」に変更します。

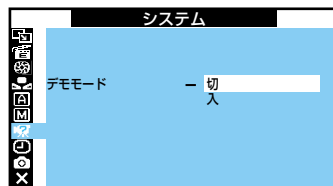
## 1 「Ⓜ」の位置に合わせる

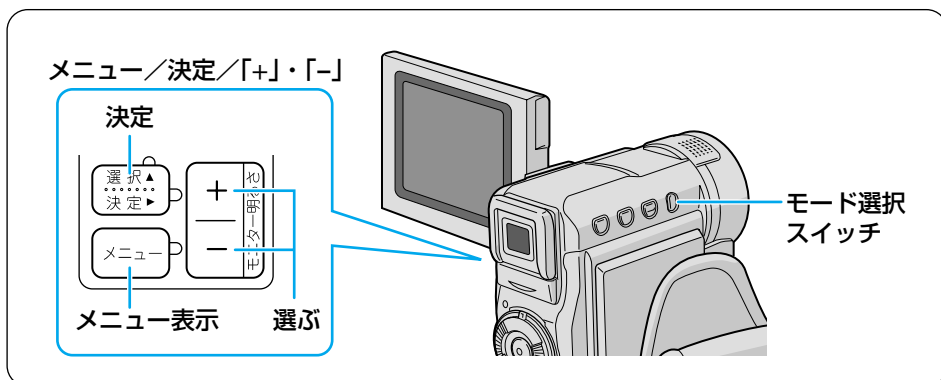
- 「再生」の位置に合わせても設定できます。

## 2 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示し、「+」・「–」ボタンを押して「 」を選び、「決定」ボタンを押す

システム設定メニューが表示されます。

## 3 「デモモード」を選び、「決定」ボタンを押す

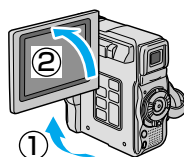
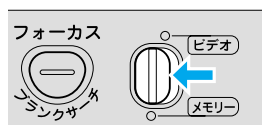
「入」と「切」が表示されます。

## 4 「切」を選び、「決定」ボタンを押す

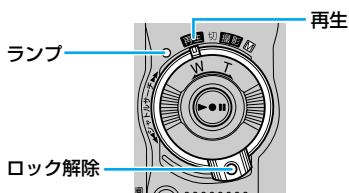
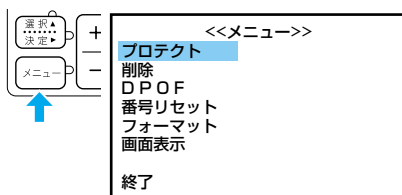
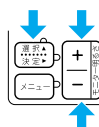
## 5 「決定」ボタンを２回押して撮影画面に戻る

# プリント情報を設定する［DPOF 設定］

自動プリントするための情報を記録する DPOF(Digital Print Order Format)規格に対応しています。
DPOF 設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像を DPOF 設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞P.123）。

## すべての静止画を 1 枚ずつプリントするよう設定する

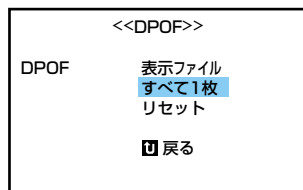
### 1 液晶画面を開く

① 上に開く
② 90 度回転させる

### 2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

### 3 「再生」の位置に合わせる

液晶画面に静止画が表示されます。

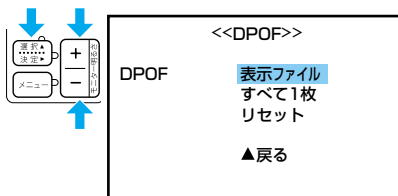
- 静止画が表示されないときは
  （☞P.67）

## 4 「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示する

## 5 「+」・「−」ボタンを押して「DPOF」を選び、「決定」ボタンを押す

「表示ファイル」「すべて1枚」「リセット」などが表示されます。

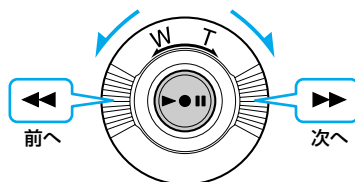
## 6 「すべて1枚」を選び、「決定」ボタンを押す

DPOF画面が表示されます。

## 7 「する」を選び、「決定」ボタンを押す

再生画面に戻ります。

## 静止画とプリント枚数を選んで設定する

**1** 「すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する」(☞P.172)の手順６で「表示ファイル」を選び、「決定」ボタンを押す

DPOF 画面が表示されます。

**2** 「シャトルサーチ」ダイヤルを回してプリントしたい静止画を選ぶ

**3** 「+」・「–」ボタンを押して「00」を選び、「決定」ボタンを押す

枚数設定を変更できるようになります。

- すでに枚数が設定されている場合は、「00」のかわりに設定されている枚数が表示されています。

**4** 枚数を設定し、「決定」ボタンを押す

- 最大 15 枚まで設定できます。

**5** 他の静止画もプリントしたいときは、手順２～４を繰り返す

## 6 「戻る」が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを押す

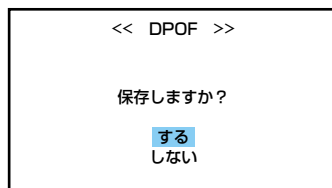
設定の保存を確認する画面が表示されます。

## 7 「する」を選び、「決定」ボタンを押す

設定が保存され、再生画面に戻ります。

<< DPOF >>

保存しますか？

する
しない

### 枚数をすべて０枚に戻すには

「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」の手順６で「リセット」を選びます。すべての静止画が０枚に設定されます。

ご注意

- 操作中は電源を抜かないでください。静止画像ファイルが壊れる場合があります。安全のため、DPOF 設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。

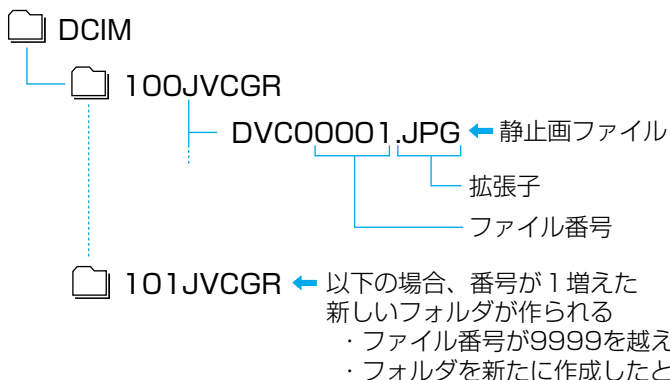
- 静止画が 1000 枚以上あると、DPOF 設定を行えません。

- SD カードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、DPOF 設定を保存することはできません（☞ P.41）。
- DPOF 対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。
- テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞ P.123）。

# 静止画や動画のファイル名をリセットする

静止画や動画は、撮影した順に「0001」から「9999」までの番号を持ったファイル名がつけられます。リセットを行うと、新たにフォルダを作成し、その中に「0001」から始まるファイル名をつけて保存するようになります。例えば、これまでの静止画とこれから撮影する静止画の区別をつけやすくしたいときに便利です。

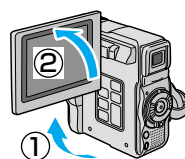
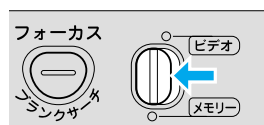
**静止画のファイル名とフォルダ名について**

静止画のファイル名は「DVC00001.JPG」「DVC00002.JPG」…の順につけられます。「DVC09999.JPG」を越えると、自動的に新しいフォルダが作成され、その中に「DVC00001.JPG」として保存されます。

- ファイル名とフォルダ名を確認するには、「インフォ」ボタンを押してファイル情報を表示します（☞ P.122）。静止画の場合は、画面右上のフォルダ番号とファイル番号から確認することもできます。

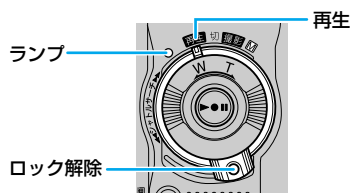
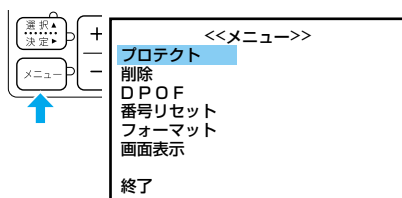
- 動画は「DCVI」フォルダの「100JVCGR」フォルダに「.ASF」という拡張子で保存されます。ファイル名やフォルダ名のつけかたは、静止画と同じです。
- 途中の番号の静止画・動画を削除したときは、その番号は使用されません。撮影した最新の静止画・動画は、常にフォルダ内で一番大きな番号を持ったファイル名がつけられます。

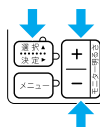
## 1 液晶画面を開く

① 上に開く

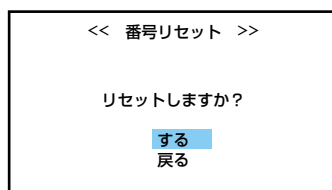
② 90 度回転させる

## 2 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

## 3 「再生」の位置に合わせる

液晶画面に静止画が表示されます。

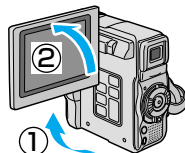
- 静止画が表示されないときは（☞P.67）
- 動画の操作を行うときは、「静止画が再生されないときは」（☞P.67）の手順２で「動画メモリー」を選んでください。

## 4 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

## 5 「+」・「−」ボタンを押して「番号リセット」を選び、「決定」ボタンを押す

番号リセット画面が表示されます。

## 6 「する」を選び、「決定」ボタンを押す

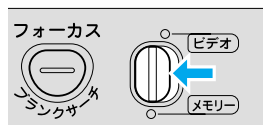
静止画の再生画面に戻ります。

設定を変えて使いこなそう編

# 静止画の再生画面表示を変更する

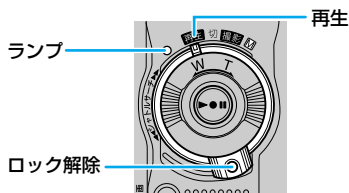
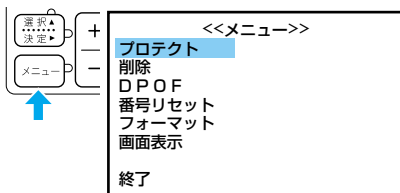
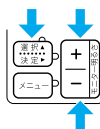
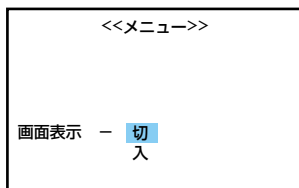
静止画の再生時に表示されるモード表示（▶）やフォルダ番号とファイル番号（100-0001など)、バッテリー表示（▭）を消すことができます。

**1** **液晶画面を開く**

① 上に開く

② 90度回転させる

**2** **スイッチを「メモリー」の位置に合わせる**

**3** **「再生」の位置に合わせる**

液晶画面に静止画が表示されます。

- 静止画が表示されないときは
（☞P.67）

**4** **「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する**

**5** **「+」・「−」ボタンを押して「画面表示」を選び、「決定」ボタンを押す**

**6** **「切」を選び、「決定」ボタンを押す**

# メモリーカードを初期化する

万一、一部のファイルが読み書きできなくなったなどの不具合が生じた場合は、メモリーカードを初期化（フォーマット）することで機能を回復できることがあります。必要に応じて、下記の手順でフォーマットを行ってください。
フォーマットするとメモリーカード内のファイル（静止画、動画、頭出しデータ）はすべて消去されます。

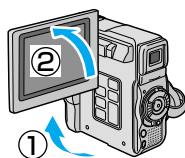
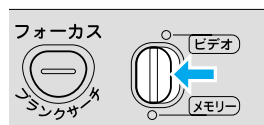
## 1 AC アダプターを取り付ける

- AC アダプターを取り付けるには（☞ P.68）

## 2 保存したいファイルがあればコピーする

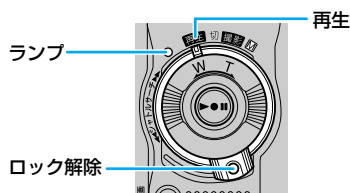
- パソコンにファイルを取り込むには（☞ P.156）
- ファイルが壊れているときは、コピーできないこともあります。

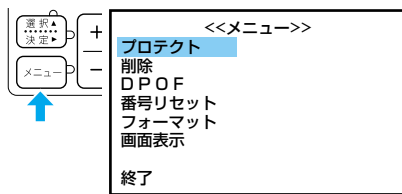
## 3 液晶画面を開く

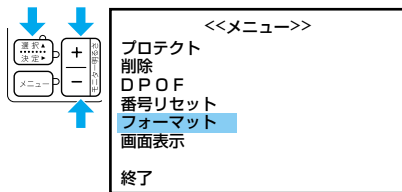
① 上に開く
② 90 度回転させる

## 4 スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

## 5 「再生」の位置に合わせる

液晶画面に静止画が表示されます。

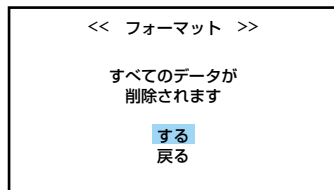
- 静止画が表示されないときは（☞ P.67）

次へ続く

# メモリーカードを初期化する

## 6 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する

## 7 「+」・「−」ボタンを押して「フォーマット」を選び、「決定」ボタンを押す

フォーマット画面が表示されます。

## 8 「する」を選び、「決定」ボタンを押す

- フォーマットをやめるには「戻る」を選びます。

メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。

ご注意

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は消去されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、フォーマットすることはできません（☞ P.41）。

- メモリーカードは精密機器です（☞ P.188）。フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

# 故障かな？と思ったら

**このビデオカメラはマイコンを使用しています。**
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

| | こんなとき | ご確認ください | 参照 |
|---|---|---|---|
| 電源 | **電源が入らない** | ● 電源コードを正しく接続してください。<br>● バッテリーを充電してください。<br>● 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出してください。 | P.68<br>P.35<br>P.44 |
| 電源 | **「日時を設定して下さい」が表示される** | ● 内蔵の時計用電池がなくなっています。AC アダプターなどの電源を 24 時間以上接続したあと日時を設定してください。 | P.46 |
| 撮影中 | **撮影できない** | ● モード選択スイッチを正しく設定してください。<br>● テープの誤消去防止用つまみを「REC」側にしてください。<br>●「テープ終り」と表示されていませんか？表示されているときは、テープを交換してください。<br>● 電源ダイヤルを「撮影」または「M」にしてください。<br>● カセットカバーを閉じてください。 | P.48<br>P.189<br>P.37<br><br>P.44<br>P.37 |
| 撮影中 | **映像が出ない** | ● 電源をもう一度入れ直してください。 | P.44 |
| 撮影中 | **メニューの機能が使えない** | ● 電源ダイヤルを「M」にしてください。 | P.44 |
| 撮影中 | **自動でピントが合わない** | ● 電源ダイヤルを「撮影」にしてください。「M」のまま撮影するときは、「フォーカス」ボタンを押して手動フォーカスを解除してください。<br>● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？<br>● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？ | P.104<br><br><br>P.192 |
| 撮影中 | **撮影中、液晶画面に日時が出ない** | ●「撮影日時／表示」設定メニューの「日時表示」を「入」にしてください。 | P.130 |
| 撮影中 | **撮影中、映像の縦に明るい線が出る** | ● 強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。 | – |
| 撮影中 | **太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする** | ● 故障ではありません。 | – |
| 撮影中 | **静止画を撮ってもフラッシュが発光しない** | ● フラッシュが充電中ではありませんか？　画面に ϟ が点滅していたら充電中です。充電には約 10 秒ほどかかる場合があります。<br>● ビデオ（動画）の撮影中ではフラッシュは発光しません。<br>●「感度アップ」が「切」のとき、プログラム AE で「夜景」を設定したときは発光しません。<br>● バッテリー残量表示が点滅しているときは、発光しません。<br>● プログラム AE の夜景を使用しているときは発光しません。 | – |

# 故障かな？と思ったら

| | こんなとき | ご確認ください | 参照 |
|---|---|---|---|
| 撮影中 | **撮影中の被写体が暗い** | ●「逆光補正」ボタンを押してください。<br>● フラッシュ発光部分を指などで覆っていませんか？　フラッシュ発光部分をよく確認して、覆わないようにしてください。<br>● 被写体までの距離が離れすぎていませんか？　フラッシュの効果は約 0.7m から 2m の範囲です。 | P.75 |
| | **撮影中の被写体が明るい** | ●「プログラム AE」の「スポットライト」を選択してください。<br>● 逆光補正を使っているときは、解除してください。<br>● 明るさ補正が「＋」側に設定されているときは、明るさ補正を解除してください。 | P.112<br>P.75<br>P.102 |
| | **撮影中の被写体の色がおかしい** | ● 照明の色や被写体に白い部分がない場合、または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。白い被写体を画面内に入れて撮影してください。 | P.107 |
| | **デジタルズームできない** | ●「メモリー」モードでは、ズームは 16 倍までしか使えません。<br>●「ズーム」が「16 倍」に設定されているときは、ズームは 16 倍までしか使えません。 | P.54<br>P.164 |
| | **手ぶれ補正が働かない** | ●「手ぶれ補正」を「入」にしてください。 | P.167 |
| | **「プログラム AE」や「場面切替」機能が使えない** | ● 電源ダイヤルを「Ⓜ」にしてください。 | P.110<br>P.113 |
| | **「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない** | ●「プログラム AE」の「セピア」や「白黒」を選択しているときは使えません。 | P.112 |
| | **「白バランス」が設定できない** | ●「プログラム AE」で「セピア」や「白黒」を選択しているときは使えません。 | P.112 |
| | **液晶画面の映像が暗い、または白くなる** | ● 液晶画面の角度や明るさを調節してください。<br>● 寒い所でご使用の場合、多少、液晶画面が暗くなります。故障ではありません。<br>● 液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。 | P.51<br>P.194 |
| | **液晶画面の裏側が熱くなる** | ● 液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の LED が熱くなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。 | － |
| | **液晶画面に表示ムラが出る** | ● 液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。 | － |
| | **液晶画面のアイコン表示が点滅または消える** | ●「場面切替」「プログラム AE」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅またはアイコンが消えます。 | P.108<br>P.112<br>P.167 |
| | **「露が付きました」と表示される** | ● メッセージが消えてから使用してください。 | P.186 |
| | **「ヘッドが汚れています」と表示される** | ● 別売のミニ DV ヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 | P.185 |

| | こんなとき | ご確認ください | 参照 |
|---|---|---|---|
| 再生中 | 液晶画面の映像が乱れる | ● テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。 | – |
| | テープの、巻戻し、早送りができない | ● 電源ダイヤルを「再生」にしてください。 | P.61 |
| | メモリーカードの再生ができない | ● モード選択スイッチを「メモリー」に合わせてから、電源ダイヤルを「再生」にしてください。 | P.66 |
| | テープは回っているが再生されない | ● テレビのチャンネルをビデオ用に設定してください。 | P.70 |
| | 映像にモザイク状のノイズが出る | ● 別売のミニ DV ヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 | P.185 |
| | 映像が映らず青い画面になる | ● 別売のミニ DV ヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 | P.185 |
| | 液晶画面に「E01」または「E02」、「E06」と表示される | ● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープに傷が付きますのでテープは取り出さないでください。 | P.194 |
| | 液晶画面に「E03」または「E04」と表示される | ● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。テープを取り出していれなおし表示が消えてからお使いください。 2、 3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。 | P.194 |
| その他 | 液晶画面の映像が暗い | ● 寒い場所でビデオを再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。<br>● 液晶画面の明るさを調節してみてください。 | –<br>P.51 |
| | 液晶画面が見にくい | ● 直射日光下など周囲が明るいところでは液晶画面が見にくくなります。ファインダーの使用をお勧めします。 | P.52 |
| | 液晶画面に映像が表示されない | ● システム設定メニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定した状態で、ファインダーを引き出していませんか？<br>● 液晶画面の明るさを調節してみてください。<br>● 液晶画面を 180° 回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。 | P.52<br>P.170<br>P.51<br>– |
| | 液晶画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点が出る | ● 故障ではありません。 | P.188 |
| | 充電中に電源ランプが点滅しない | ● 低温（0℃以下）や高温（40℃以上）で充電していませんか？　0～40℃の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。 | P.35 |
| | テープが入らない | ● テープの向きを確かめてください。<br>● バッテリーの残量を確かめてください。 | P.37<br>P.50 |
| | メモリーカードが入らない | ● メモリーカードの向きを確かめてください。 | P.39 |

# 故障かな？と思ったら

| | こんなとき | ご確認ください | 参照 |
|---|---|---|---|
| その他 | メモリーカードの画像を削除できない | ●プロテクトを解除してください。 | P.160 |
| | 通信時エラー表示が出る | ● パソコンケーブルを正しく接続してください。<br>● ソフトを正しくインストールしてください。 | P.156 |
| | DV ケーブルで接続しているとき、操作ができない | ● 電源が入った状態で DV ケーブルを抜き差ししませんでしたか？一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。 | P.136 |
| | リモコンがきかない | ● システム設定メニューの「リモコン」が「切」になっていませんか？<br>● リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けていますか？<br>● 電池が消耗していませんか？ | P.170<br>P.31 |
| | ファインダーに映像が表示されない | ● システム設定メニューの「優先設定」を「液晶モニター」に設定した状態で、液晶画面を開いていませんか？ | P.170 |

## 映像にノイズが出たり音声が途切れたら

**ビデオヘッドが汚れると、撮影時や再生時に以下の症状が出ます。汚れがひどくなると、正常な録画や再生ができなくなりますので、ヘッドをクリーニングしてください。大切な撮影をするときは、クリーニングカセットを持ち歩かれることをお勧めします。**

- 再生すると映像にモザイク画（ブロック状のノイズ）が出たり、音声が途切れる。
- 再生すると映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- 再生しても音や映像（青い画面になる）が出ない。
- 撮影や再生をすると「⊗ ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを試して下さい」と表示される。

**クリーニングが終わったら、撮影・再生して上記の症状が消えていることを確認してください。**

ミニDVヘッドクリーナーM-DVSCLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラでM-DVSCLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します）

ミニDVヘッドクリーナー
M-DVSCL（別売）

**詳しくはM-DVSCLの取扱説明をご覧ください。**

- **クリーニングを数回しても正常に再生ができない場合**

  撮影時にヘッドが汚れていたために正常に記録できなかったと考えられます。撮影時、液晶画面やビューファインダーには記録前の映像が表示されるため、記録時の映像ノイズや音声の途切れは確認できません。新たに撮影してみて、正常に再生ができれば、ヘッドはきれいになっています。大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをお勧めします。

- **定期点検を行ってください**

  1か月に1度程度は、電源を入れてお使いになることをお勧めします。また、ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000時間を目安に定期点検に出されることをお勧めします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

# 「露が付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」といいます。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

## ■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから暖かいところに急に移動したとき。
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき。

## ■ つゆつきが発生すると

- 液晶画面に「💧露が付きました」と「💧しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。この間、カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズの内側にも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

## ■ 再び使い始めるときは

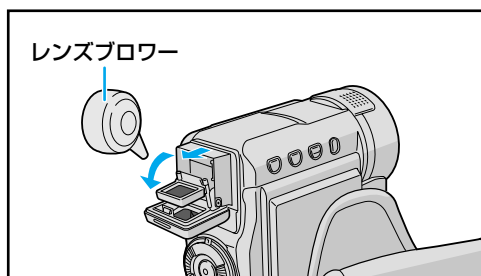
メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

## ■ つゆつきのトラブルを防ぐには

寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気が入らないように密封し、しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

## ファインダーの中にゴミが入ったら

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダーのフタを開け、市販のレンズブロワーでゴミを取ってください。
終わったらファインダーのフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。

# 使用上のご注意

## ビデオカメラについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。**
従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません。

■ **電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源ダイヤルが「切」になっていることを確認してください。**
ビデオカメラの動作中に電源をはずすと、テープやメモリーカードを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。**
長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
ときどき電源を入れて動作を点検してください。

## 液晶画面について

■ **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**
ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはテープやメモリーカードには記録されません。

## 時計用電池について

日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーやACアダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、ご購入時や、約3ヵ月間使わずに保管していると電池が放電され、日時が消えてしまうことがあります。このようなときは、ACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください（☞P.46）。日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影することはできます。

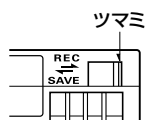
## カセットテープおよびメモリーカードについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。また、デジタルスチルカメラとしても使用できます。**

Mini DV マークのついたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。

SD マーク、または MultiMediaCard マークのついたメモリーカードをご使用ください。

■ **大切な録画を消してしまわないように注意してください。**

保管しておきたい録画済みカセットテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

■ **事前に試し撮りをしてください。**

大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ **内容の補償についてはご容赦ください。**

万一、ビデオカメラ、カセットテープおよびメモリーカードなどの不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ **権利者に無断で使用できません。**

あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ **撮影を制限している場所があります。**

鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ **モザイク状のノイズが出る場合があります。**

LPモードで録画されたカセットテープは、他のLPモードのあるデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

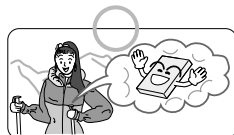
■ **カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保管してください。**

■ **メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。**

# 使用上のご注意

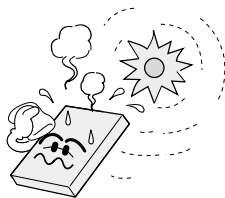
## バッテリー（充電式電池）をご活用いただくために

### ■ リチウムイオンバッテリーの特性をご理解ください。

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください。

### ■ リチウムイオンバッテリーの保管にご理解ください。

充電された状態で長期間保管すると、特性が劣化することがあります。
長期間保管する場合は、使い切った状態で保管してください。

① テープを入れずに電源を入れる
② ビデオカメラの電源が自動的に切れるまで待ってから、バッテリーを取りはずす

- 長期間保管する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保管してください。
- ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーをビデオカメラや AC アダプターから取りはずしてください。
  取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、やがて過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- ビデオカメラから取りはずしたバッテリーには、バッテリーキャップを取り付けてください。
- 涼しい所で保管してください。
- 周囲の温度が 15℃～25℃くらいの乾燥した所をお勧めします。
- 暑い所や極端に寒い所は避けてください。

リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

安全のため、充電式電池にはバッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

## ■ 充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

小型二次電池再資源センターホームページ　　http://www.jbrc.com/

ホームページがご覧になれない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

# 日常のお手入れ

## ビデオカメラの汚れを取る

**バッテリー、ACアダプターまたは電源プラグをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。**

- 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭きます。その後、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ご注意
- ベンジンやシンナーは使用しないでください。損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときは、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

## レンズや液晶画面の汚れを取る

**■ レンズの汚れを取るには**

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

**■ 液晶画面の汚れを取るには**

市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

# 保証とアフターサービス

### 保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

## 修理を依頼される場合（持込修理）

181～187ページに従って調べてください。なお異常のあるときは、電源を切り、必ずバッテリーまたはACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機、DVカセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

### ご連絡していただきたい内容

| 品名 | デジタルビデオカメラ |
|---|---|
| 型名 | GR-DX95K |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | |
| お名前 | |
| 電話番号 | （　　）　－ |

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

**愛情点検**　●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

| このような症状はありませんか | ●再生しても映像や音声が出ない。<br>●異常な臭いや音がする。<br>●水や異物が入った。<br>●その他の異常や故障がある。 |
|---|---|

➡

| ご使用を中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|

その他

# サービス窓口案内

## ビクターサービス窓口案内

**ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください**

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

**ビクターサービスエンジニアリング株式会社**

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **北海道** | | | | |
| 北海道 | 札幌S.C. | (011)898-1180 | 004-0005 | 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29 |
| | 旭川S.C. | (0166)61-3659 | 070-8012 | 旭川市神居二条3-2-15 |
| | 北見S.S. | (0157)25-8557 | 090-0037 | 北見市山下町4-7-19 |
| | 釧路S.S. | (0154)24-0797 | 085-0005 | 釧路市松浦町3-3 |
| | 帯広S.S. | (0155)24-4493 | 080-0806 | 帯広市東六条南12-11 |
| | 函館S.S. | (0138)52-5324 | 040-0001 | 函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F |
| **東北** | | | | |
| 青森 | 青森S.C. | (017)723-2261 | 030-0844 | 青森市桂木4-6-17 |
| | 八戸S.S. | (0178)44-4521 | 031-0803 | 八戸市諏訪2-2-36 |
| | 弘前S.S. | (0172)28-0165 | 036-8084 | 弘前市高田1-13-1 |
| 岩手 | 盛岡S.C. | (019)637-0121 | 020-0835 | 盛岡市津志田9地割24-1 |
| | 水沢S.S. | (0197)22-2773 | 023-0815 | 水沢市天文台通り3-12 |
| 秋田 | 秋田S.C. | (018)824-3189 | 010-0953 | 秋田市山王中園町4-1 |
| | 大館S.S. | (0186)43-0980 | 017-0874 | 大館市美園町5-6 |
| | 横手S.S. | (0182)32-8873 | 013-0064 | 横手市赤坂字大道向3-6 |
| 宮城 | 仙台S.C. | (022)287-0151 | 984-0011 | 仙台市若林区六丁の目西町7-13 |
| | 石巻S.S. | (0225)94-7711 | 986-0853 | 石巻市門脇字四番谷地8-18 |
| 山形 | 山形S.C. | (023)642-0279 | 990-2412 | 山形市松山3-12-18 |
| | 酒田S.S. | (0234)26-7145 | 998-0842 | 酒田市亀ヶ崎6-6-1 |
| 福島 | 郡山S.C. | (024)952-6331 | 963-0205 | 郡山市堤1-3 |
| | いわきS.S. | (0246)27-7991 | 973-8409 | いわき市内郷御台境町鶴巻6-1 |
| | 会津若松S.S. | (0242)38-1355 | 965-0831 | 会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号 |
| | 福島S.S. | (024)553-9437 | 960-0103 | 福島市本内字南原26-1 |
| **関東・甲信越** | | | | |
| 新潟 | 新潟S.C. | (025)242-3431 | 950-0084 | 新潟市明石1-2-19 |
| | 長岡S.S. | (0258)24-8391 | 940-0012 | 長岡市下下条2-1366-1 |
| | 上越S.S. | (025)545-1734 | 942-0081 | 上越市五智1-11 |
| 長野 | 長野S.C. | (026)221-6583 | 380-0913 | 長野市川合新田962-1 |
| | 松本S.S. | (0263)25-9165 | 390-0828 | 松本市庄内2-4-21 |
| 群馬 | 前橋S.C. | (027)255-5921 | 371-8543 | 前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱ 前橋工場第2棟 |
| 栃木 | 宇都宮S.C. | (028)638-1639 | 321-0953 | 宇都宮市東宿郷3-5-22 |
| 茨城 | 水戸S.C. | (029)246-1560 | 310-8528 | 水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱ 水戸工場技術棟1F |
| | 土浦S.S. | (029)821-8756 | 300-0813 | 土浦市富士崎1丁目10-1 |
| 山梨 | 甲府S.S. | (055)237-4016 | 400-0864 | 甲府市湯田2-11-5 |
| **千葉** | | | | |
| 千葉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | **(03)5803-2888** | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 千葉S.C. | (043)246-2588 | 261-0001 | 千葉市美浜区幸町2-1-1 |
| | 柏S.C. | (04)7175-4322 | 277-0863 | 柏市豊四季512-10-67 |
| | 浦安S.S. | (047)353-6189 | 279-0001 | 浦安市当代島2-13-27 |

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **東京** | | | | |
| 東京 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | **(03)5803-2888** | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 本郷S.C. | (03)5684-8254 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F |
| | 秋葉原S.S. | (03)3251-2128 | 101-0021 | 東京都千代田区外神田1-6-6 |
| | 練馬S.C. | (03)3993-7520 | 176-0014 | 東京都練馬区豊玉南1-19-1 |
| | 大田S.C. | (03)3727-9385 | 145-0062 | 東京都大田区北千束2-20-6 |
| | 八王子S.C. | (0426)46-6914 | 192-0045 | 東京都八王子市大和田町2-9-6 |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | CSセンター | (03)3874-5231 | 110-0003 | 東京都台東区根岸5-4-3 |
| **埼玉** | | | | |
| 埼玉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | **(03)5803-2888** | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大宮S.C. | (048)654-5241 | 331-0814 | さいたま市北区東大成町2-658-1 |
| | 熊谷S.S. | (048)553-5105 | 361-0057 | 行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B |
| **神奈川** | | | | |
| 神奈川 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | **(03)5803-2888** | 279-0001 | 千葉県浦安市当代島2-13-27 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 横浜S.C. | (045)651-0403 | 231-0028 | 横浜市中区翁町1-3-1 |
| | 川崎S.C. | (044)975-1879 | 216-0024 | 川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル） |
| | 平塚S.C. | (0463)36-2160 | 254-0065 | 平塚市南原2-4-5 |
| | 相模原S.C. | (042)776-2052 | 229-0004 | 相模原市古淵3-7-4 |
| | 横浜T.C. | (046)234-4500 | 243-0401 | 海老名市東柏ヶ谷6-19-26 |
| **静岡** | | | | |
| 静岡 | 静岡S.C. | (054)282-4141 | 422-8043 | 静岡市中田本町62-31 中田ビル1階 |
| | 沼津S.S. | (055)922-1557 | 410-0041 | 沼津市筒井町6-5 |
| | 浜松S.S. | (053)421-3441 | 435-0041 | 浜松市北島町785 |
| **東海・北陸** | | | | |
| 愛知 | 名古屋S.C. | (0568)25-3235 | 481-0041 | 西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1 |
| | 三河S.C. | (0564)51-5931 | 444-0833 | 岡崎市柱曙3-10-12 |
| | 豊橋S.S. | (0532)64-0815 | 440-0028 | 豊橋市多米東町１丁目1-1 |
| 岐阜 | 岐阜S.S. | (058)274-1947 | 500-8367 | 岐阜市宇佐南3-1-28 |
| 三重 | 三重S.S. | (0593)52-0841 | 510-0076 | 四日市市堀木2-15-2 |
| | 津S.S. | (059)229-7780 | 514-0815 | 津市大字藤方485-18 |
| 富山 | 富山S.C. | (076)425-2397 | 939-8211 | 富山市二口町4丁目1-3 |
| 石川 | 金沢S.C. | (076)269-4821 | 921-8062 | 金沢市新保本4丁目65-17 |
| 福井 | 福井S.S. | (0776)53-6916 | 910-0843 | 福井市西開発3-211 |

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0403

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| | | **近畿** | | |
| 滋賀 | 滋賀S.S. | (077)582-5812 | 524-0033 | 守山市浮気町268 |
| 京都 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | **(06)6304-5731** | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 京都S.C. | (075)644-0247 | 612-8401 | 京都市伏見区深草下川原町31番地の1 |
| 京都北部 | 福知山S.S. | (0773)22-8664 | 620-0059 | 福知山市厚東町145-2 |
| 奈良 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | **(06)6304-5731** | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 奈良S.C. | (0744)24-6271 | 634-0007 | 橿原市葛本町834-2 |
| 大阪 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | **(06)6304-5731** | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)6304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 堺S.C. | (072)254-2881 | 591-8032 | 堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪メンテナンスセンター | (06)6304-6715 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| 和歌山 | 和歌山S.S. | (073)472-6799 | 640-8323 | 和歌山市太田430-8 |
| | 田辺S.S. | (0739)22-9976 | 646-0031 | 田辺市湊1581-12 |
| 兵庫中東部 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | **(06)6304-5731** | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 神戸S.C. | (078)252-0562 | 651-0086 | 神戸市中央区磯上通3-2-16 |
| 兵庫西部 | 姫路S.S. | (0792)34-3833 | 670-0975 | 姫路市中地南町11-1 |

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| | | **中国** | | |
| 岡山 | 岡山S.C. | (086)243-1566 | 700-0926 | 岡山市西古松西町8-23 |
| 広島 | 広島S.C. | (082)243-9839 | 730-0825 | 広島市中区光南3-9-17 |
| | 福山S.S. | (084)931-6984 | 721-0973 | 福山市南蔵王町3-5-15 |
| 山口 | 山口S.C. | (083)973-3708 | 754-0022 | 吉敷郡小郡町花園町5-28 |
| | 徳山S.S. | (0834)27-1331 | 745-0042 | 徳山市野上町2-35 |
| | 下関S.S. | (0832)51-1040 | 751-0852 | 下関市熊野町2-14-23 |
| | | **四国** | | |
| 香川 | 高松S.C. | (087)866-1200 | 761-8057 | 高松市田村町205-1 |
| 徳島 | 徳島S.C. | (088)622-7387 | 770-8052 | 徳島市沖浜2-37 |
| 高知 | 高知S.S. | (088)882-0546 | 780-8122 | 高知市高須新町4-143 |
| 愛媛 | 松山S.C. | (089)923-0372 | 791-8015 | 松山市中央1-4-12 |
| | 宇和島S.S. | (0895)20-1018 | 798-0087 | 宇和島市坂下津甲407-40 |
| | | **九州・沖縄** | | |
| 福岡佐賀 | 福岡S.C. | (092)431-1261 | 812-0011 | 福岡市博多区博多駅前4-16-1 |
| | 久留米S.S. | (0942)39-3495 | 830-0038 | 久留米市西町字神浦1-1192 |
| | 北九州S.C. | (093)921-3981 | 802-0064 | 北九州市小倉北区片野2-15-12 |
| 長崎 | 長崎S.C. | (095)862-5522 | 852-8021 | 長崎市城山町9-13 |
| | 佐世保S.S. | (0956)33-5568 | 857-1166 | 佐世保市木風町1467-2 |
| 大分 | 大分S.C. | (097)543-1422 | 870-0822 | 大分市大道町4-1-2 |
| 熊本 | 熊本S.C. | (096)353-4536 | 861-4101 | 熊本市近見8-1-10 |
| 宮崎 | 宮崎S.S. | (0985)24-5401 | 880-0032 | 宮崎市霧島町3-59 |
| | 延岡S.S. | (0982)35-7077 | 882-0857 | 延岡市惣領町24-3 |
| 鹿児島 | 鹿児島S.C. | (099)282-8818 | 890-0034 | 鹿児島市田上7丁目9-8 |
| 沖縄 | 沖縄S.C. | (098)898-3631 | 901-2224 | 沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16 |
| | | **山陰** | | |
| 山陰ビクター販売（株） | | | | |
| 島根 | 松江S.C. | (0852)31-8900 | 690-0825 | 松江市学園1丁目16-39 |
| 鳥取 | 鳥取S.S. | (0857)23-2151 | 680-0911 | 鳥取市千代水1丁目22-1 |

## ●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ **JVC CANADA INC.**
・トロント〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario, M1X 1A7

アメリカ **JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA**
・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー〔973-396-1000〕
10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
・ホノルル〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス **JVC（U.K.）LIMITED**
・ロンドン〔020-8450-3282〕
JVC House, JVC BUSINESS PARK, PRIESTLEY WAY, LONDON, NW2 7BA

フランス **JVC FRANCE S.A.**
・パリ〔0825-800-811〕
BP50, 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール **JVC ASIA PTE. LTD.**
・シンガポール〔6255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

（注）・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

# 海外でお使いになるときは

## 本機は海外でも使用可能です

付属のACアダプターを使ってバッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

## コンセントの形状と使用する変換プラグ

## 現地のテレビで再生画像を見る

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- アメリカ合衆国
- プエルトリコ
- バルバドス
- キューバ
- フィリピン
- チリ
- コロンビア
- 台湾
- バミューダ
- バハマ
- カナダ
- 米領サモア
- 韓国
- コスタリカ
- メキシコ
- ニカラグア
- パナマ
- エルサルバドル
- ペルー
- グアム
- グァテマラ
- ミクロネシア
- スリナム
- ハイチ
- エクアドル
- ベネズエラ
- ミャンマー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ

- **再生できるテープは**
  日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。
- **海外で故障したときは**
  「サービス窓口案内」(☞P.194)の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。

  その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

# 主な仕様

## 一般

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 電源 | DC 11 V（ACアダプター使用時）DC 7.2 V（バッテリー使用時） |
| 消費電力 | 3.4 W（ファインダー使用時）、4.6 W（液晶画面使用時） |
| 外形寸法 | 55 mm × 102 mm × 96 mm（幅×高さ×奥行き） |
| 質量 | 本体質量　　約 450 g<br>撮影時質量　約 560 g（グリップベルト、バッテリーBN-V107-S、カセットM-DV30ME含む） |
| 許容動作温度 | 0 °C ～ 40 °C |
| 許容相対湿度 | 35 % ～ 80 % |
| 許容保存温度 | –20 °C ～ 50 °C |

## カメラ部

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 撮像素子 | 1/6型 68万画素CCD<br>撮像エリア　34万画素 |
| レンズ | F1.6<br>$f$=2.7 mm ～ 43.2 mm<br>（35 mmカメラ換算：ビデオ時：51.8 mm ～ 828.8 mm<br>静止画時：51.8 mm ～ 828.8 mm） |
| フィルター径 | 30.5 mm（ネジピッチ 0.5 mm） |
| ズーム倍率 | 光学16倍、最大200倍（デジタル使用） |
| 最低照度 | 11ルクス（ナイトアイ時：約2ルクス） |

## 液晶画面／ファインダー部

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 液晶画面 | 3型、11.2万画素　アモルファスカラー液晶 |
| ファインダー | 0.24型、11.3万画素　ポリシリコンカラー液晶 |

# 主な仕様

## デジタルビデオカメラ部

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 録画／再生方式 | DV方式（SD仕様）<br>映像：デジタルコンポーネント記録<br>音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT）、<br>　　　48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ） |
| 信号方式 | NTSC日米標準信号方式 |
| 使用カセット | ミニDVカセット |
| 録画／再生時間 | SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時） |
| 早送り／巻き戻し時間 | 約3分（DVM60テープ使用時） |

## デジタルスチルカメラ部

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 記憶メディア | SDメモリーカード、マルチメディアカード |
| 圧縮方式 | JPEG準拠 |
| 静止画画像サイズ | 1024×768ドット<br>640×480ドット |
| 動画画像サイズ | 160×120ドット |
| 静止画画質 | 2モード（ファイン／スタンダード） |
| 静止画撮影可能枚数 | 640×480ドット　（ファイン：約55枚、スタンダード：約190枚）<br>1024×768ドット　（ファイン：約24枚、スタンダード：約75枚）<br>付属のマルチメディアカード［8MB］使用時 |

撮影可能枚数は、メモリーカードの購入時のものです。
ナビの頭出しデータなどを記録すると、減少することがあります。

## 端子部

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| DV入力／出力端子 | 4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠） |
| S／AV入／出力端子 | S2映像入／出力端子<br>　アナログ入力（Y:0.8 V(p-p)～1.2 V(p-p)、75Ω　C:0.2 V(p-p)～0.4 V(p-p)、75Ω）<br>　アナログ出力（Y:1.0 V(p-p)、75Ω　C:0.29 V(p-p)、75Ω）<br><br>映像入／出力端子<br>　アナログ入力（0.8 V(p-p)～1.2 V(p-p)、75Ω）<br>　アナログ出力（1.0 V(p-p)、75Ω）<br><br>音声入／出力端子<br>　ステレオ／アナログ入力（300 mV（rms）、50 kΩ）<br>　ステレオ／アナログ出力（300 mV（rms）、1 kΩ）<br><br>編集端子 |
| USB端子 | ミニUSB-Bタイプ |

## AC アダプター（AP-V11 または AP-V13）

| 項　　目 | 仕　　様 |
|---|---|
| 電源 | AC 100V～240V, 50Hz/60 Hz |
| 入力容量 | AP-V11：26 VA（100V）　36 VA（240V）<br>AP-V13：23 VA（100V）　31 VA（240V） |
| 出力 | DC 11V⎓, 1A（充電時） |
| 許容動作温度 | 0℃～40℃（充電時は10℃～35℃） |
| 外形寸法 | AP-V11：幅 50mm　高さ 27.5mm　奥行き 70.5mm<br>（コード、ACプラグ含まず）<br>AP-V13：幅 59mm　高さ 30.5mm　奥行き 69mm<br>（コード、ACプラグ含まず） |
| 質量 | AP-V11：約 95g<br>AP-V13：約 118g |

## リモコン（RM-V717）

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 電源 | DC 3V （単4乾電池　2本） |
| 電池寿命 | 約 1年（使用頻度によりかわります。） |
| 動作距離 | 約 5m（正面軸上） |
| 許容動作温度 | 0℃～40℃ |
| 外形寸法 | 幅 54mm　高さ 19mm　奥行き 86mm |
| 質量 | 約 40g（乾電池含まず） |

## バッテリー（BN-V107-S）

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 電圧 | 7.2V⎓ |
| 容量 | 700 mAh |
| 外形寸法 | 幅 50mm　高さ 7mm　奥行き 70mm |

**●仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。**

- 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
  本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

# メニュー一覧

## 撮影時

電源ダイヤルを「M」に設定し、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。

■は初期値

| アイコン | メニュー |
|---|---|
| | **場面切替**<br>切<br>フェーダー：白<br>フェーダー：黒<br>フェーダー：白黒<br>ワイプ：コーナー<br>ワイプ：ウィンドウ<br>ワイプ：スライド<br>ワイプ：ドア<br>ワイプ：スクロール<br>ワイプ：シャッター |
| | **プログラムAE**<br>切<br>1/60 シャッター1/60<br>1/100 シャッター1/100<br>スポーツ<br>スノー<br>スポットライト<br>夜景<br>セピア<br>B/W 白黒<br>映画効果<br>ストロボ |
| | **明るさ補正**<br>オート<br>マニュアル |
| | **白バランス**<br>オート<br>ワンタッチ<br>はれ<br>くもり<br>ハロゲン |

● メニューを表示したときに、メニューの文字が消えている機能は動作しません。

# メニュー一覧

| アイコン | メニュー | サブメニュー | | |
|---|---|---|---|---|
| A | **フルオート** | | | |
| | 録画モード | SP SP | LP LP | |
| | 音声モード | 12bit | 16bit | |
| | ズーム | 16倍 | 40倍 | 200倍 |
| | 記念写真モード | フル | ピンナップ | フレーム |
| | 感度アップ | 切 | AGC | オート A |
| | ナビ | マニュアル | 5秒 | 15秒 |
| | | 30秒 | 60秒 | |
| | 戻る | | | |
| M | **マニュアル** | | | |
| | 手ぶれ補正 | 切 | 入 | |
| | テレマクロ | 切 | 入 | |
| | ワイド効果 | 切 | シネマ | ワイド |
| | ボイスポジション | 切 | 入 | |
| | フラッシュモード | 切 | オート | オート |
| | | 入 | | |
| | フラッシュ明るさ | −3〜±0〜+3 | | |
| | 戻る | | | |
| | **システム** | | | |
| | ブザー | 切 | ブザー | メロディー |
| | タリー | 切 | 入 | |
| | リモコン | 切 | 入 | |
| | デモモード | 切 | 入 | |
| | 優先設定 | 液晶モニター | ファインダー | |
| | プリセット | 実行 | 戻る | |
| | 戻る | | | |
| | **撮影日時／表示** | | | |
| | 画面表示切替 | モニター | モニター/TV | |
| | 日時表示 | 切 | オート | 入 |
| | タイムコード | 切 | 入 | |
| | 年月日時計合わせ | | | |
| | 戻る | | | |
| | **静止画撮影** | | | |
| | 画質設定 | ファイン F | スタンダード S | |
| | 画像サイズ | 640×480 | 1024×768 | |
| | 記録選択 | → | →／→ | |
| | 戻る | | | |
| × | **終　了** | | | |

## 再生時

モード選択スイッチを「ビデオ」に合わせ、電源ダイヤルを「再生」に設定したあと、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。
「メモリー再生時のメニュー」を選択するには、モード選択スイッチを「メモリー」に合わせてください。

■は初期値

| アイコン | メニュー | サブメニュー | | |
|---|---|---|---|---|
| | **ビデオ再生モード** | | | |
| | 音声切替 | **ステレオ** | 音声L | 音声R |
| | 12bit音声 | ミックス | **音声1** | 音声2 |
| | シンクロ補正 | −1.3〜 **±0.0** 〜+1.3 | | |
| | 録画モード | **SP** | LP | |
| | → コピー | **切** | 入 | |
| | ナビ画像削除 | 画像選択 | テープ選択 | すべて　戻る |
| | アナログ入力 | **切** | A/V入力 | S入力 |
| | 戻る | | | |
| | **システム** | | | |
| | ブザー | 切 | ブザー | **メロディー** |
| | タリー | 切 | **入** | |
| | リモコン | 切 | **入** | |
| | デモモード | 切 | **入** | |
| | 優先設定 | **液晶モニター** | ファインダー | |
| | プリセット | 実行 | 戻る | |
| | 戻る | | | |
| | **再生日時／表示** | | | |
| | 画面表示切替 | 切 | **モニター** | モニター/TV |
| | 日時表示 | **切** | オート | 入 |
| | タイムコード | **切** | 入 | |
| | 戻る | | | |
| | **終　了** | | | |

| メモリー再生時のメニュー | | | |
|---|---|---|---|
| | プロテクト | 削除 | DPOF※1 |
| | 番号リセット | フォーマット | 画面表示※1 |

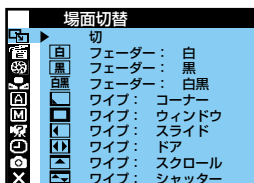
※1 ：静止画再生モード時のみ表示されます。

# メニュー一覧

## メニューの使い方

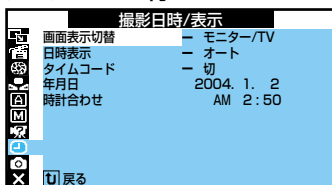
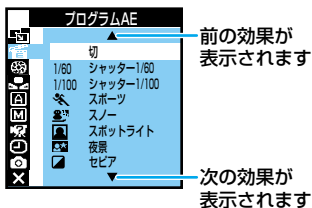
ここでは、撮影時のメニューを例に使い方を説明します。

### 1 「メニュー」ボタンを押す

次の画面が表示されます。

### 2 「+」・「–」ボタンを押してメニューを選択する

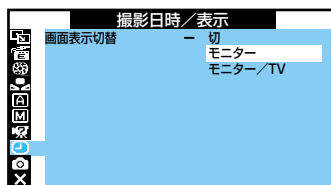
### 3 「決定」ボタンを押す

メニューの最初の項目が選択されます。

**サブメニュー有：**

**サブメニューなし：**

### 4 メニューから項目を選択する

- **サブメニューなし**
  →手順７へ進みます

### 5 「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

### 6 サブメニューの項目を選択する

### 7 「決定」ボタンを押す

### 8 元の画面に戻る

- **「終了」が選択されているとき**
  →「決定」ボタンを押します。
- **「戻る」が選択されているとき**
  →「決定」ボタンを２回押します。

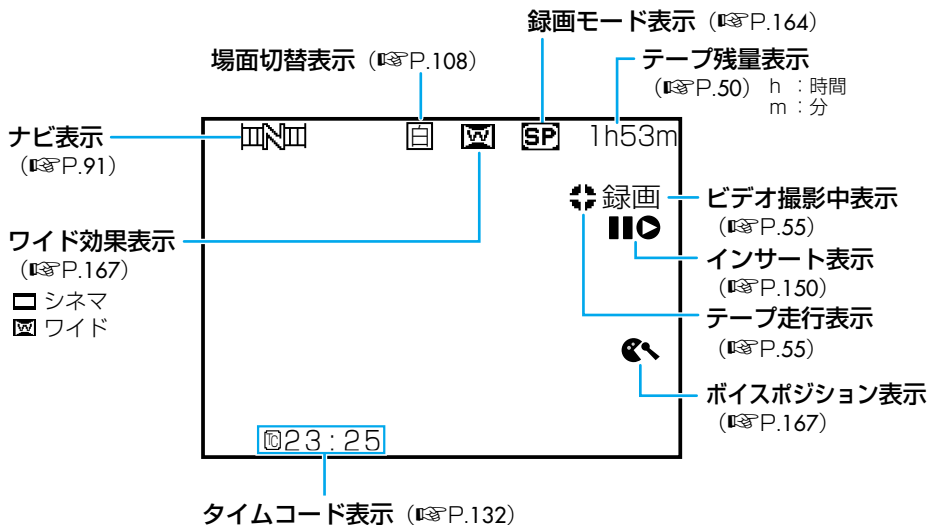
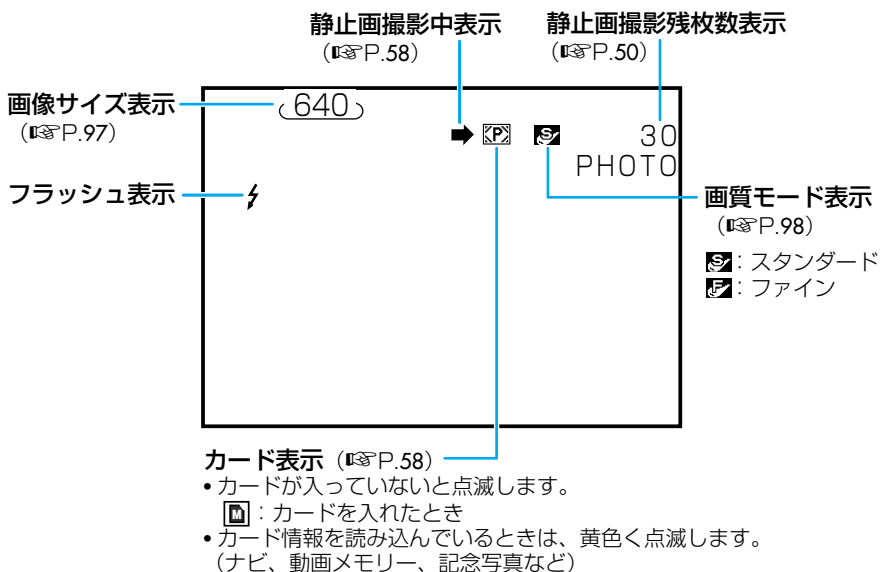
# 画面表示の見かた

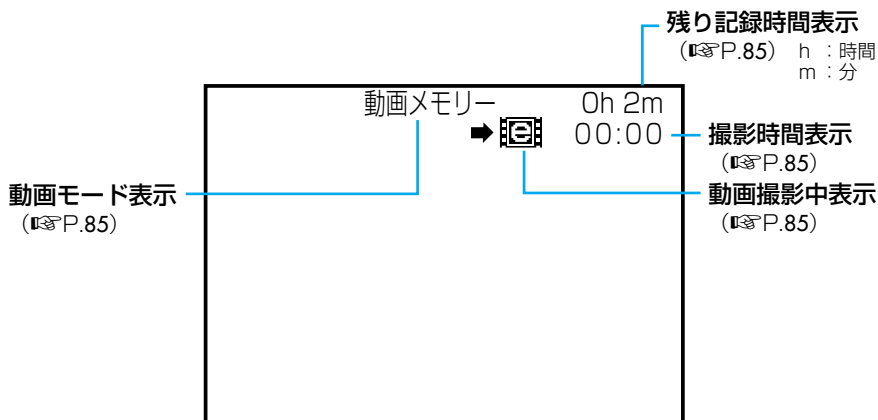
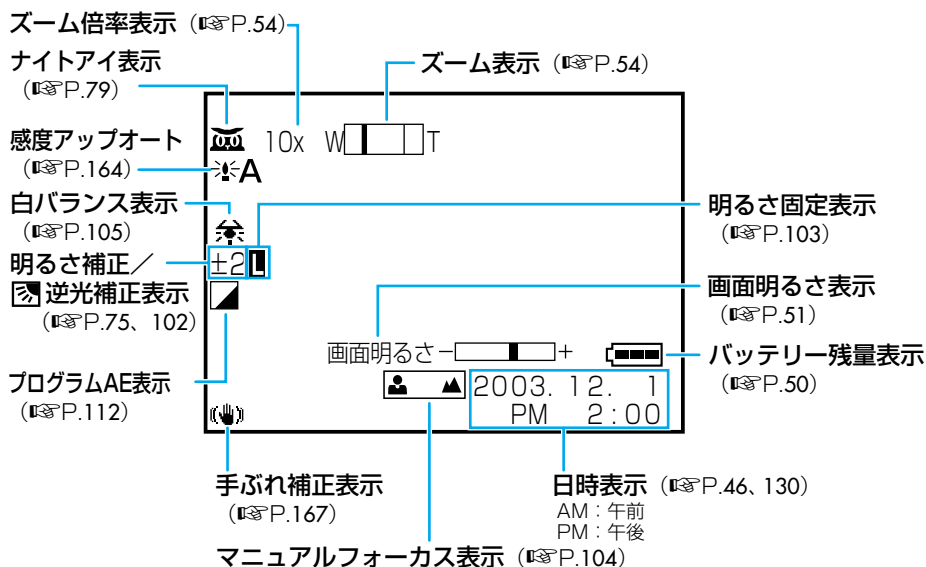
## 撮影時の表示

### ビデオ撮影時の表示

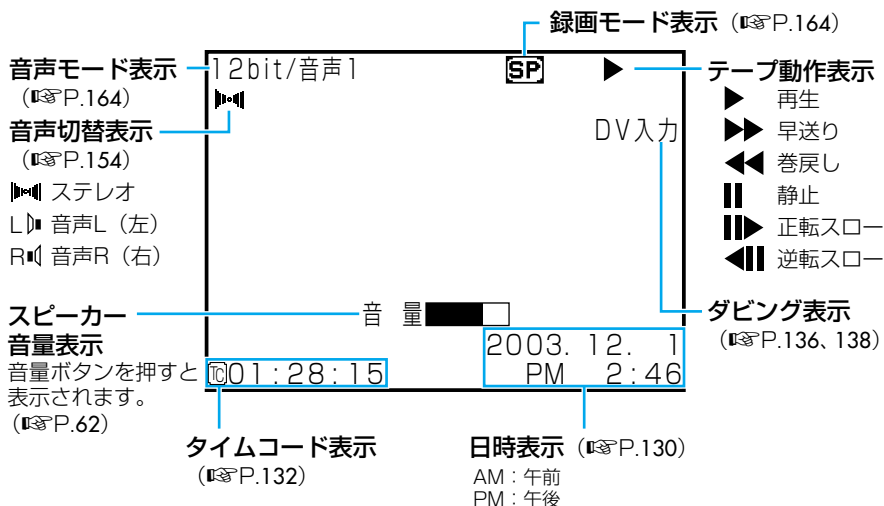
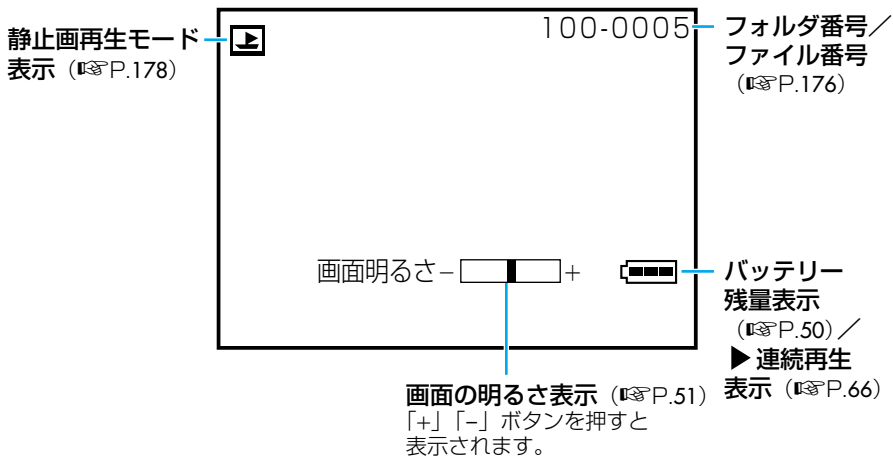
### 静止画撮影時の表示

カード表示（☞P.58）
- カードが入っていないと点滅します。
  M ：カードを入れたとき
- カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。
  （ナビ、動画メモリー、記念写真など）

索引

# 画面表示の見かた

## 動画撮影時の表示

## ビデオ／静止画／動画撮影に共通の表示

- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。
- 場面切替表示、プログラム AE 表示、白バランス表示のアイコンの詳細については、上図の参照ページまたは「メニュー一覧」(☞ P.201) を参照してください。

# 再生時の表示

## ビデオ再生

## 静止画再生

# 画面表示の見かた

## 動画再生

## 撮影／再生時の確認表示

| メッセージ | 対処 | 参照 |
|---|---|---|
| E01、E02、E06　保護回路が働きました<br>バッテリーを外して付け直して下さい | バッテリーと電源をはずして付けなおしてください<br>動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません | P.33, 35 |
| E03、E04　保護回路が働きました<br>テープを取り出し入れ直して下さい | テープを取り出して入れなおしてください<br>動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません | P.37 |
| 露が付きました<br>しばらくお待ち下さい | 1時間以上待ってください | P.186 |
| ヘッドが汚れています<br>クリーニングカセットを試して下さい | クリーニングカセットを使用してください | P.185 |
| インサート録画できません | モード選択スイッチを「ビデオ」にしてください<br>カセットのツマミが「REC」側になっていることを確認してください<br>録画モードをSPにして撮影したテープに交換してください | P.48<br>P.189<br>P.56, 150 |
| 音声 16bit(12bit) | 撮影時の音声モードを表示しています | P.154 |
| 音声アフレコできません | カセットのツマミが「REC」側になっていることを確認してください<br>録画モードをSP、音声モードを12bitにして撮影したテープに交換してください | P.189<br>P.56, 154 |
| メモリーカードエラー | メモリーカードを入れなおしてください<br>メモリーカードを初期化してください | P.39<br>P.179 |
| 静止画（動画）がありません | メモリーカードに静止画、または動画を記録してください | P.58 |
| このテープはナビ画像を作成できません | 本機で録画したテープを入れてください | P.96 |
| テープへ記録できません<br>テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい | カセットのツマミを「REC」側にしてください | P.189 |
| コピーガードがかかっています | コピーガードのかかっていないテープに交換してください | P.37 |
| 未対応のファイルです | 選択した動画、または静止画を削除してください（本機で再生できない形式のファイルです） | P.118 |
| しばらくお待ち下さい | しばらくお待ちください | – |
| テープ終り | テープを交換してください | P.37 |
| テープを入れて下さい | テープを入れてください | P.37 |
| 日時を設定して下さい | 日時を設定しなおしてください | P.46 |
| メモリー容量がありません | メモリーカードを交換するか、ファイルを削除してください | P.39, 71 |

# 画面表示の見かた

| メッセージ | 対処 | 参照 |
|---|---|---|
| **メモリーカードへ記録できません** | メモリーカードを交換するか、ファイルを削除してください<br>SD メモリーカードのライトプロテクトをはずしてください | P.39, 71<br>P.41 |
| **メモリーカードを入れてください** | メモリーカードを入れてください | P.39 |
| **メモリーカードをフォーマットして下さい** | メモリーカードを初期化（フォーマット）してください | P.179 |
| **ライトプロテクトがかかっています** | メモリーカードを交換するか、SD メモリーカードのライトプロテクトをはずしてください | P.39, 41 |
| **プロテクトがかかっています** | ファイルのプロテクトをはずしてください | P.41 |
| **このメモリーカードではできません**<br>**ナビ画像がありません** | テープを撮影したときに入れていたメモリーカードに交換してください | P.39, 91 |
| **ナビできません**<br>**検出できませんでした** | 本機で録画したテープを入れてください | P.39, 91 |
| **バッテリー残量がありません** | AC アダプターを接続してください | P.68 |
| **撮影中は変更できません** | テープへの撮影をいったん停止してから操作してください | P.55 |
| **撮影を一時停止しナビ書き込みボタンを押してください** | 録画を一時停止してから、「ナビ書込み」ボタンを押してください | P.94 |

# 五十音順索引

# 五十音順索引

## ■ら■



## ■わ■



## ■アルファベット/数字■



索引

## 製品についてのご相談や修理のご依頼は

**お買い上げの販売店にご相談ください。**

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

| 修理などのアフターサービスに関するご相談<br>**ビクターサービスエンジニアリング** | 本製品についての技術的なお問い合わせは<br>**DVご相談窓口** |
|---|---|
| 194～195ページをご覧ください。 | 電話：(045)450-2770 |

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
**お客様ご相談センター**

| 東京 | 大阪 |
|---|---|
| 電話：(03) 5684-9311<br>Fax：(03) 5684-9317<br>〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル | 電話：(06) 6765-4161<br>Fax：(06) 6765-4891<br>〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル |

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

**日本ビクター株式会社**

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12



M3D3 DSC　0503-FO-HT-SN